



調査主体：一般社団法人 日本補聴器工業会
後援：公益財団法人 テクノエイド協会
協力：EHIMA (欧州補聴器工業会)

JapanTrak 2018 調査報告

1. はじめに
2. 市場概要
3. 補聴器所有者に関する分析
4. 補聴器非所有難聴者に関する分析
5. 付属データ

Research to create value



JapanTrak（ジャパントラック）2018の目的

一般社団法人日本補聴器工業会は公益財団法人テクノエイド協会の後援とEHIMA（欧州補聴器工業会）の協力を得て、我が国において一般の人々が聞こえの不自由さ（難聴）や補聴器についてどのように考えているか、補聴器の使用状況はどうかなどについて大規模な実態調査を前回及び前々回の調査（**2012年**、**2015年**）と同様に実施した。**JapanTrak 2018**の目的は、我が国における聞こえと補聴器を取り巻く現在の諸問題を抽出し、欧米諸国の一部同様なデータとの比較も行ないつつ、もって全難聴者の生活の質（**QOL**）の向上に寄与する対策を検討し提案することにある。

日本市場の特徴

(補聴器購入者の満足度について以下の切り口から調査結果を基に分析)

【購入場所（購入方法）】

- 補聴器専門店で購入された補聴器は、他の場所（方法）で購入された補聴器のどれよりも高い全体的満足度が得られている。
- 対面販売ではないインターネットを介して購入された補聴器（集音器を含む）は、7割を超える購入者が不満足さを感じている。

【両耳装用】

- 片耳装用者の多くは、片耳装用と両耳装用の効果は同じであると考えている。
- しかし一方、全体的満足度の高さ、一日当たりの使用時間の長さ、いわゆる“タンス補聴器”の比率の低さにおいて、両耳装用は片耳装用を凌駕している。

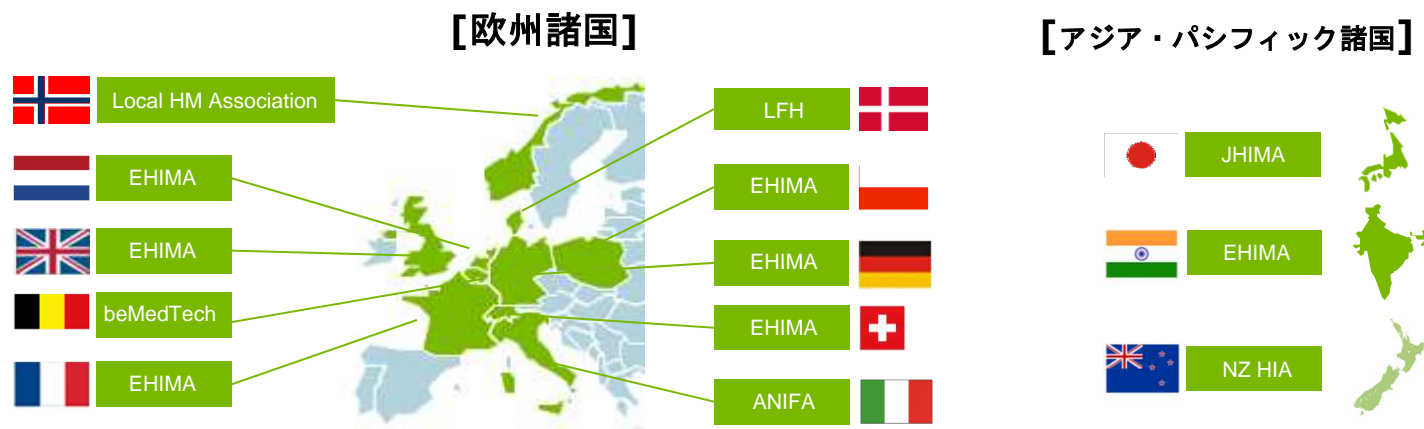
【フィッティング】

- 集音器や通販補聴器を所有する難聴者は、価格、注文の容易さ等の条件に照らし自分が購入した機器は許容範囲内にあると考えている。
- しかし一方、補聴器販売従事者によってフィッティングされ販売された補聴器は、より高い全体的満足度が得られている。

【要約】

1. はじめに

- ジャパントラック 2018 (JapanTrak 2018) はアノバム社 (スイス・チューリッヒ市) が一般社団法人日本補聴器工業会の代理として設計、実施した。
- ジャパントラック2018のサンプルサイズ:
 - 代表サンプル (ステップ 1) 基数=13,710 人 (2015 : 14,316人、2012 : 15,036人)
 - 難聴者 (ステップ 2) 基数= 1,306人 (2015 : 1,306人、2012 : 1,348人)
 - 補聴器非所有難聴者 (HL) 基数= 885 人 (2015 : 890人、2012 : 898人)
 - 補聴器所有者 (HA) 基数= 421 人 (2015 : 416人、2012 : 450人)
- ジャパントラック 2018 はユーロトラック2018の日本版である:



2. 市場概要

- 自己申告による難聴者率
 - 全体：11.3 %，18歳以上：13.2% (両比率共に2012，2015を通して大きな変動なし)
 - 両耳難聴：補聴器所有者：80%，補聴器非所有難聴者：56%
 - 聴力検査：53% (2015：51%) が過去5年間に聴力検査を受けたことがあり、ほとんどの検査は耳鼻科医あるいはかかりつけ医師が病院内で定期健康診断の機会に実施した。
- 補聴器所有率 (普及率)
 - 全体：14.4% (2015：13.5%，2012：14.1%)
 - 18歳以上：14.2% (2015：12.8%，2012：14.1%)
 - 補聴器所有者の両耳装用率：45% (2015：46%)
- 補聴器所有までの道のり
 - 難聴者の42% (2015：40%) が難聴について耳鼻科医師あるいはかかりつけ医師に相談した。
 - 耳鼻科医師あるいはかかりつけ医師から補聴器を勧められたのは14%であった (離脱割合：66% / 2015：68%)
 - かかりつけ医師への相談で15% が補聴器販売店を紹介された。17% が耳鼻科医師を紹介された。56%は特に行動する必要はないと言われた。
 - 耳鼻科医師への相談で17% が補聴器販売店を紹介された。67% は特に行動する必要はないと言われた。
- 補聴器使用による潜在的な社会的費用の削減
 - 補聴器は仕事に良い影響をもたらすと考えられている。
 - 難聴者が補聴器を使用すると睡眠の質が改善するようである。

3. 補聴器所有者に関する分析

- 補聴器の所有、利用について
 - 補聴器所有者の12% (2015 : 15% , 2012 : 12%) が補聴器購入の助成を受けた。
 - 現在所有している補聴器の43% が最近2年以内に購入されている。
 - 現在所有している補聴器の平均所有年数は 3.5 年 (2015 : 4.1年 , 2012 : 3.5 年) である。
 - 補聴器を買い替えるまでの使用期間中央値は 5 年である。
 - 平均して1日 7.6 時間 (2015 : 6.8時間 , 2012 : 5.7 時間) 補聴器を装用している。
 - 現在補聴器を所有している人の約半数 (47%) は自分の補聴器のブランド名を知っている。
- 補聴器の満足度について
 - 補聴器所有者の66% (2015 : 60%) が補聴器は期待通り、あるいは期待以上に役に立っていると回答した。しかし残りの34% (2015 : 40%) は期待以下であったと回答しており、3人に1人は不満を抱えていることになる。
 - 補聴器の全体的満足度は38% (2015 : 39% , 2012 : 36%) で、比率に大きな変化は見られない。
 - 生活面において最も聞こえが重要と考えられている状況は、「電話での会話」と「家での家族との会話」である。
- 補聴器から得られる良い影響
 - 様々な面で補聴器は大変に良い影響を与えており、特に「安心感」「会話のしやすさ」「自分自身の気持ち」において顕著である。
 - 補聴器所有者の89% (2015 : 84%) が、補聴器により何がしかは生活の質 (QOL) が向上していると述べている。

4. 補聴器非所有難聴者に関する分析

- 補聴器を所有/使用しない理由
 - 補聴器非所有難聴者のわずか7% (2015 : 9% , 2012 : 6%) しか政府による補聴器助成制度の存在を知らない。
 - 補聴器を使用しない主な理由としては、「わずらわしい」「補聴器を使用しても元の聞こえには戻らない」「難聴がそれほどひどくない」が上位を占める。
 - 上記理由の内「わずらわしい」の意味には、“耳の中の異物感” “きつい” “痛い” “大きすぎる” “日々の生活にまだ必要ない” 等が含まれる。
 - 補聴器所有者の7% が補聴器を全く使用していない。
 - 一日当たりの使用時間が0時間 : いわゆる “タンス補聴器”
 - 17%が一日1時間以下しか補聴器を使用していない。(一日当たりの使用時間が 0-1 時間)
- 社会からの拒絶感、購入の意向、購入のきっかけ
 - 補聴器所有者の75% (2015 : 68%) が補聴器のせいで人からからかわれたり、仲間外れにされたりすることはないと考えている。
補聴器を所有していない難聴者の65%(2015:55%)が難聴のせいでからかわれたり、仲間外れにされたりすることはないと考えている。
 - 補聴器を入手する際に最も影響を与える要因は、難聴の悪化、耳鼻科医師の診断である。
補聴器の価格は非所有難聴者が購入を決断する際に最も関連性がある。

【詳細】 JapanTrak 2018 調査報告

1. はじめに
2. 市場概要
3. 補聴器所有者に関する分析
4. 補聴器非所有難聴者に関する分析
5. 付属データ

調査項目

ジャパントラック 2018の新しいトピックスは赤文字で表示

*  Japan specific question 日本市場特有のトピックスは`*`で表示

1. はじめに

- ジャパントラック2018の調査関係者 並びに アンケート回答者の募集方法及び難聴者の抽出

2. 市場概要

- 難聴者比率と補聴器所有率
- 聴力検査の有無と聴力検査を受けた場所
- 補聴器所有までの道のり：情報源と離脱する割合
 - * 認定補聴器専門店、認定補聴器技能者、テクノエイド協会の認知度
- 補聴器使用による潜在的な社会的費用の削減：仕事上での優位性、うつ病、睡眠の質、**併存疾患との関連**

3. 補聴器所有者に関する分析

- 補聴器の所有、補聴器入手以前の難聴の自覚、補聴器の寿命と使用状況
 - * 補聴器を必要であると感じた年齢
 - より早期に補聴器を使用すべきであったと考えた理由
 - 推奨される補聴器購入場所（購入方法）⇒ **顧客推奨率（NPS : Net Promoter Score）**
 - アクセサリーの認知度と使用状況
 - * フィッティングのプロセス、補聴器の価格
- 補聴器の満足度と影響因子
 - * 両耳装用の効用と満足理由
 - * 満足度比較：購入場所、機器の種類（集音器、通販補聴器、対面販売補聴器）、フィッティング
- 聞こえが重要となる状況
- 補聴器から得られる良い影響、**安心・安全**、生活の質（QOL）の向上

4. 補聴器非所有難聴者に関する分析

- 補聴器を使用しない理由、補聴器はわずらわしいと考える理由
- 難聴による社会からの拒絶感と補聴器の社会的受容度の比較
- 購入の意向、購入に至る重要なきっかけ

5. 付録

- 人口動態：補聴器使用率と人口

1. はじめに

ジャパントラック2018の調査関係者

調査関係者

- ジャパントラックはユーロトラックの日本版である。
- ジャパントラックプロジェクトの主体は一般社団法人日本補聴器工業会（日補工）であるが、公益財団法人テクノエイド協会の後援を得ている。
- アノバム社（スイス・チューリッヒ市）がジャパントラックのコンセプトを開発し、アンケートを作成し、調査会社と共同で調査を実施した。最終的にアノバム社が結果の分析と資料の作成を行った。
- 欧州補聴器工業会（EHIMA）は調査アンケートの実施とその内容を承認した。
- アノバム社と日補工はユーロトラックの調査アンケート内容をジャパントラックに採用した。また、アンケートの内容と結果の日本語訳は日補工が担当した。

データの使用について

- 日補工及び会員各社は調査結果のデータ（表、グラフ、レポート）や調査の結論を自社の今後の研究や出版物等に使用出来る。それ以外の者は（社）日本補聴器工業会の承認を得なければならない。
- 生データはアノバム社が所持することとする。但し、日補工又は会員各社が調査結果のデータ（表、グラフ、レポート）や調査の結論を使用する場合は、当該データの出所を以下の通り明記しなければならない。

“Source: Anovum – JapanTrak 2018”

- 日補工及び会員各社は生データを使ったさらなる分析をアノバム社に有料で依頼することができる。

アンケート回答者の募集方法及び難聴者の抽出

(ウェイトバック集計 - 回収されたサンプルを母集団 (当調査の場合 - 国勢調査) の構成にあわせて集計する方法)

ステップ 1 : 選別インタビュー

目的 : 難聴者率と補聴器所有率の調査

方法 :

1. 全人口を反映する厳格な割り当てサンプルの抽出 (年齢・性別のバランス、地域の分散)
2. 4万人を超える調査名簿から選出
3. 選別アンケート: 自己申告による難聴の程度、補聴器使用状況と人口動態
4. 結果: 人口調査に基づいた 基数 : 13,710 人の代表サンプル

ステップ 2 : 対象者インタビュー

目的 : 補聴器満足度と補聴器非所有者に対する詳細な調査

方法 :

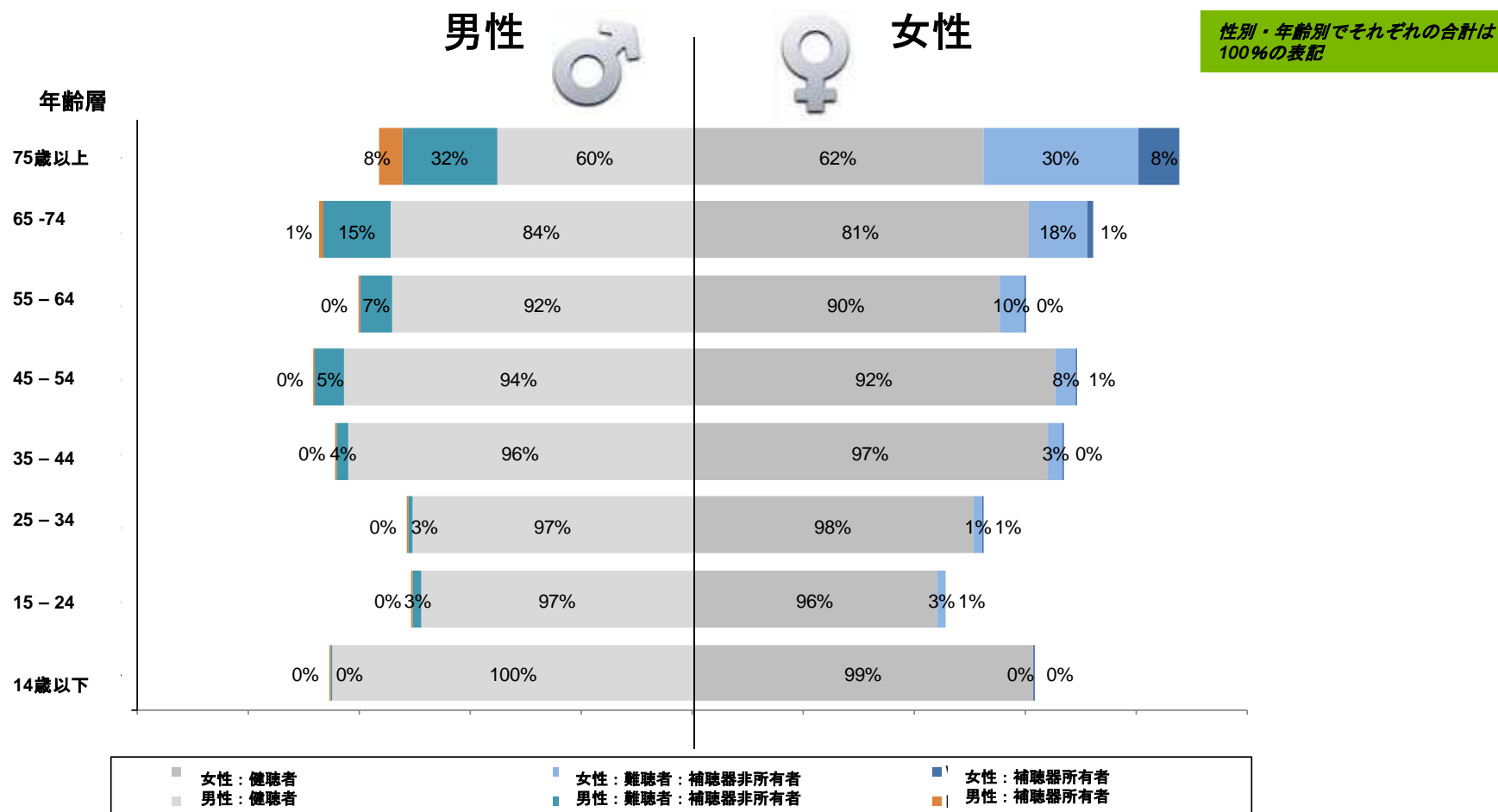
1. アンケートの主体 : 補聴器所有者と補聴器非所有難聴者
2. 選別インタビュー (ステップ1) の比率に応じたアンケート回答者を抽出
3. 結果サンプル : 基数 421人の補聴器所有者、基数 885人の補聴器非所有難聴者

2. 市場概要

難聴者率と補聴器所有率

性別 / 年齢別の難聴者及び補聴器所有者

男女共に、65歳を超えると難聴者の比率が高まり、
75歳を超えると補聴器所有者の比率が高まる傾向が見られる



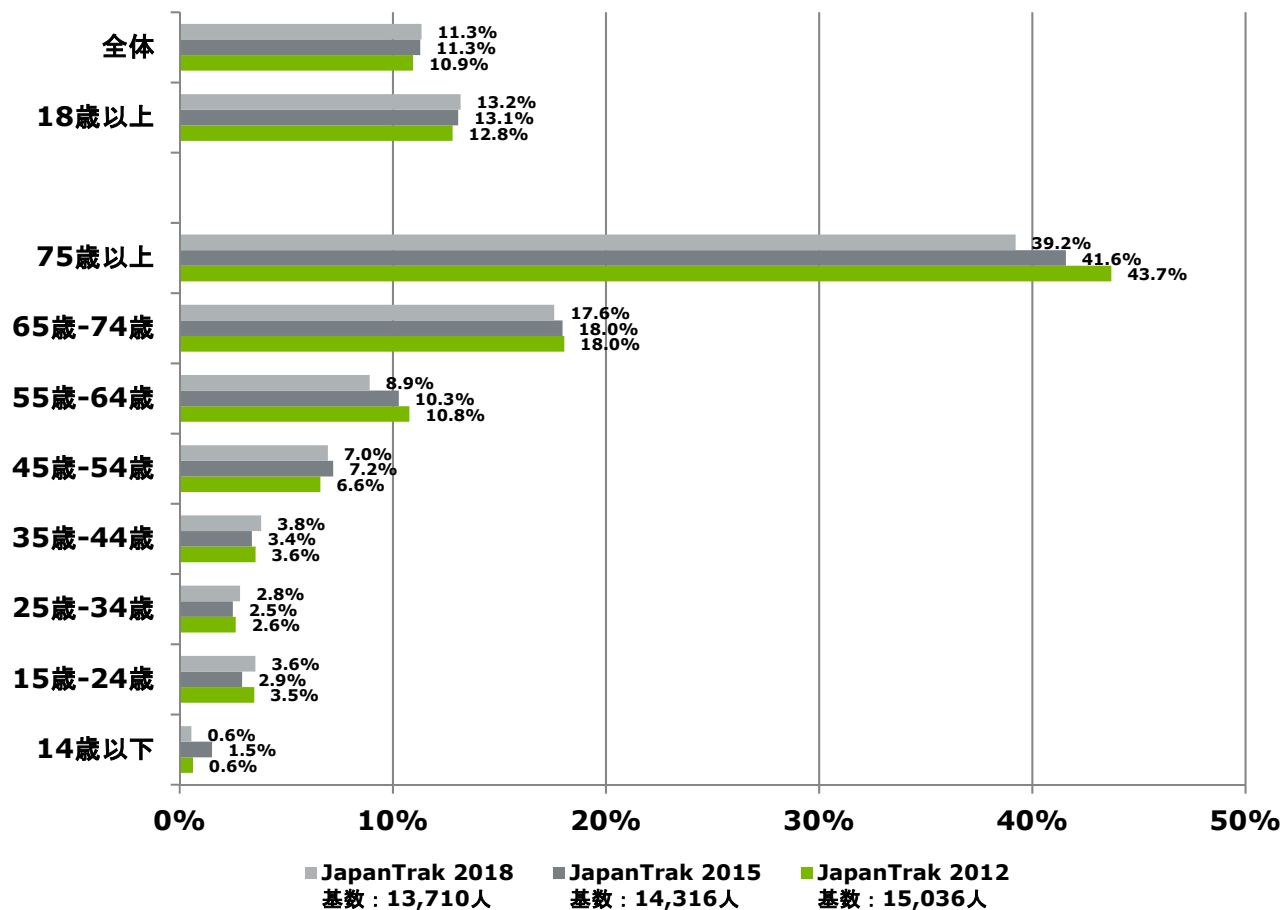
Sample based on census data 2018 projection (推定人口統計 2018年度)



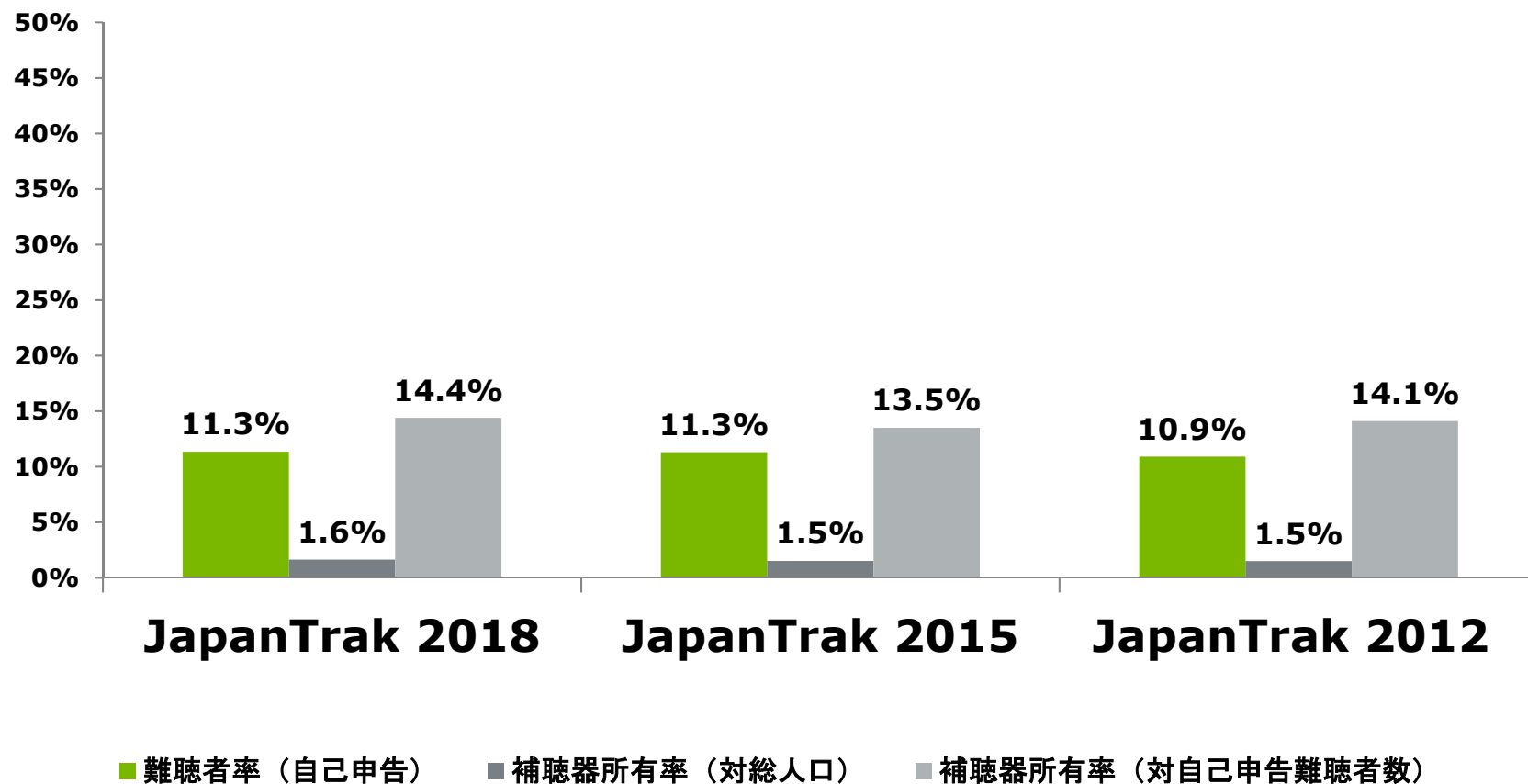
難聴者率

(難聴またはおそらく難聴だと思っている人の割合)

難聴者率 (%)

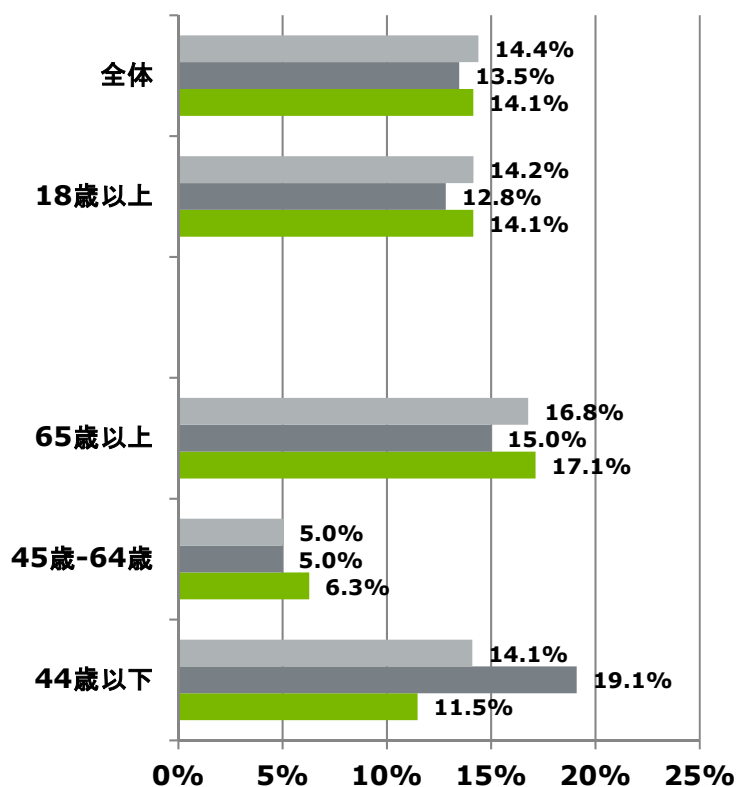


難聴者率と補聴器所有率

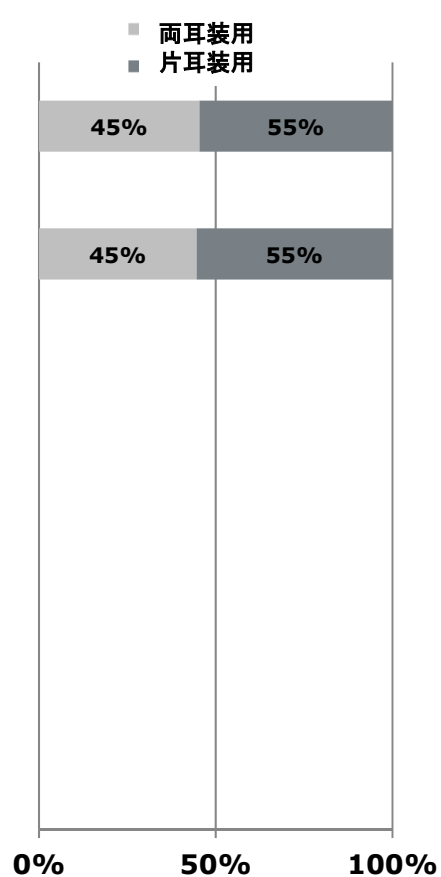


補聴器所有率： 難聴者の約**14%** が補聴器を所有、そのうち**45%**が両耳装用

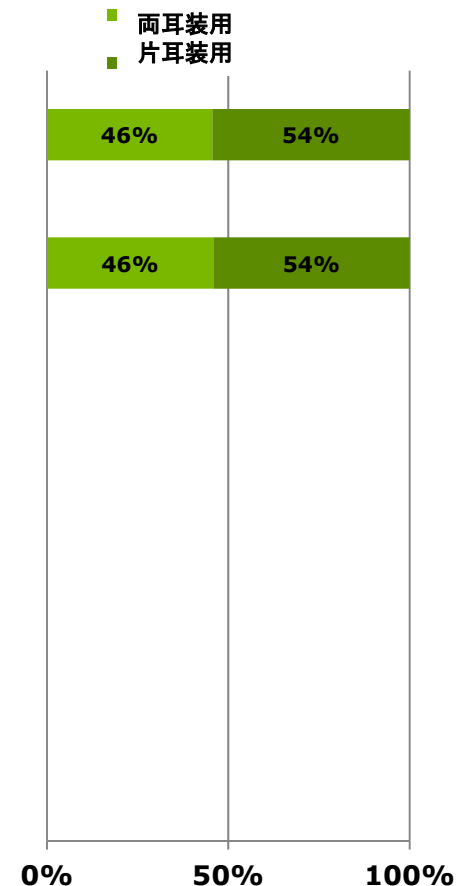
難聴者に占める割合



■ JapanTrak 2018 ■ JapanTrak 2015 ■ JapanTrak 2012
 基数：1,705人 基数：1,783人 基数：1,860人



JapanTrak 2018
 (基数：224人 - ステップ1)

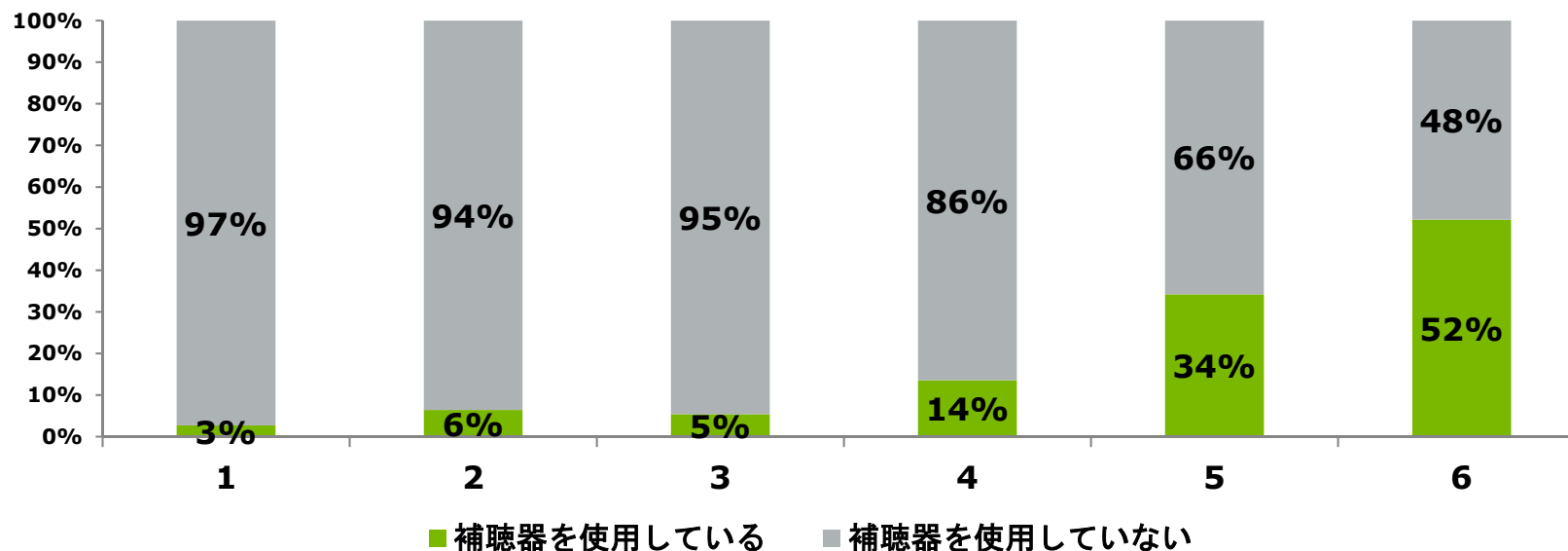


JapanTrak 2015
 (基数：218人 - ステップ1)



難聴度が高いほど補聴器使用率が高い

難聴度の低いグループ（1,2,3） 難聴度の高いグループ（4,5,6）



難聴度別に分類された6グループ

補聴器非所有者：基数：557人
補聴器所有者：基数：394人

* 6グループの構成：因子分析を行い、1つの因子「難聴の程度」を導出した。この因子には以下の質問が含まれている
(聞こえに関する以下のアンケート結果を集計し6つの聴力別のグループに分けた)

- 難聴のある耳の数(片耳又は両耳)
- 自己申告での難聴度(軽度から重度)
- 6 APHAB-ECに似たテストのスコア(1から5のスケール)
- 補聴器を使用しない時の騒音下での会話困難度

→回答者を同サイズの6グループに分類した(1グループ=サンプル中の全難聴者数の16.67%)



難聴

難聴耳及び程度: 補聴器所有者と補聴器非所有者の比較

| | 補聴器非所有者 2018: 基数: 754人 (2015: 基数: 890人) | 補聴器所有者 2018: 基数: 417人 (2015: 基数: 416人) | 補聴器所有率 (%) |
|------------|---|--|---------------|
| 難聴耳 (自己申告) | | | |
| 片耳難聴 | 44% (40%) | 20% (17%) | 8% (8%) |
| 両耳難聴 | 56% (60%) | 80% (83%) | 22% (21%) |
| 難聴程度 | | | |
| 軽度 | 42% (44%) | 24% (18%) | 10% (7%) |
| 中等度 | 52% (48%) | 51% (54%) | 15% (17%) |
| 高度 | 4% (7%) | 17% (23%) | 43%* (37%) |
| 重度 | 1% (1%) | 7% (5%) | |

人数は非加重、パーセンテージは加重。

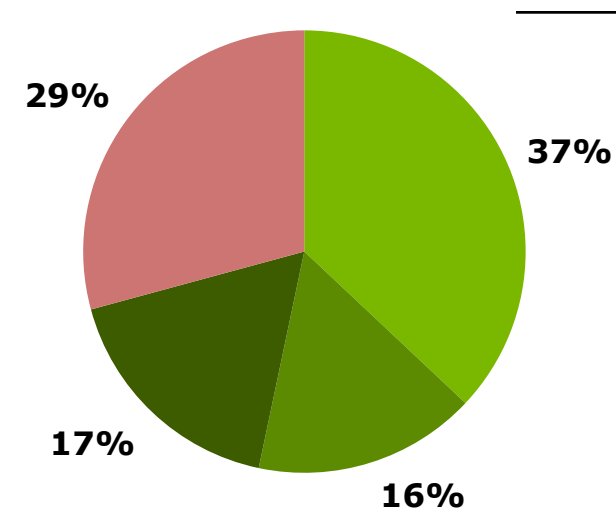
* 基数が過小なため高度と重度難聴者の補聴器所有者数を合算して算出。

聴力検査の有無と聴力検査を受けた場所

聴力検査:53%(2015:51%, 2012:49%)の人が5年以内に聴力検査を受けたことがあり、そのほとんどは健康診断で実施されている

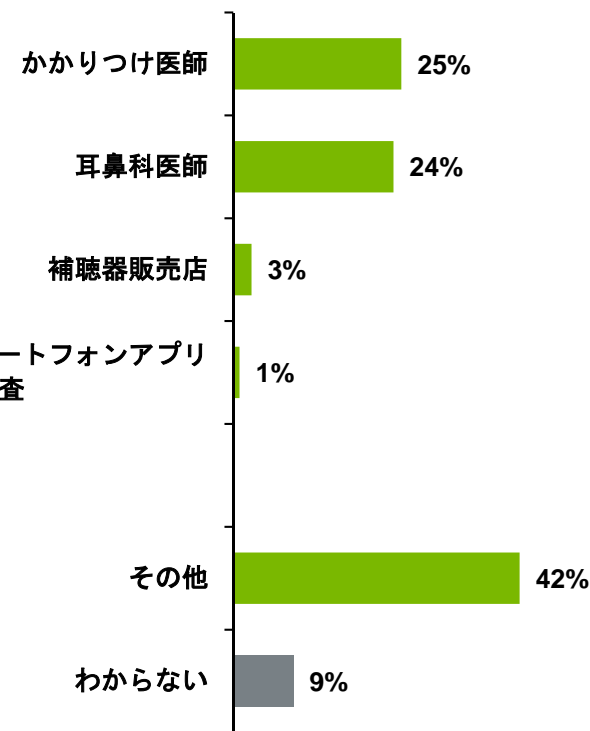
聴力検査を受けたことはありますか？

- はい、1年以内に受けました。
- はい、5年以内に受けました
- はい、5年以上前に受けました
- いいえ、受けたことはありません



基数=8,300人

どこで聴力検査を受けましたか？(5年以内)



基数= 4,580人

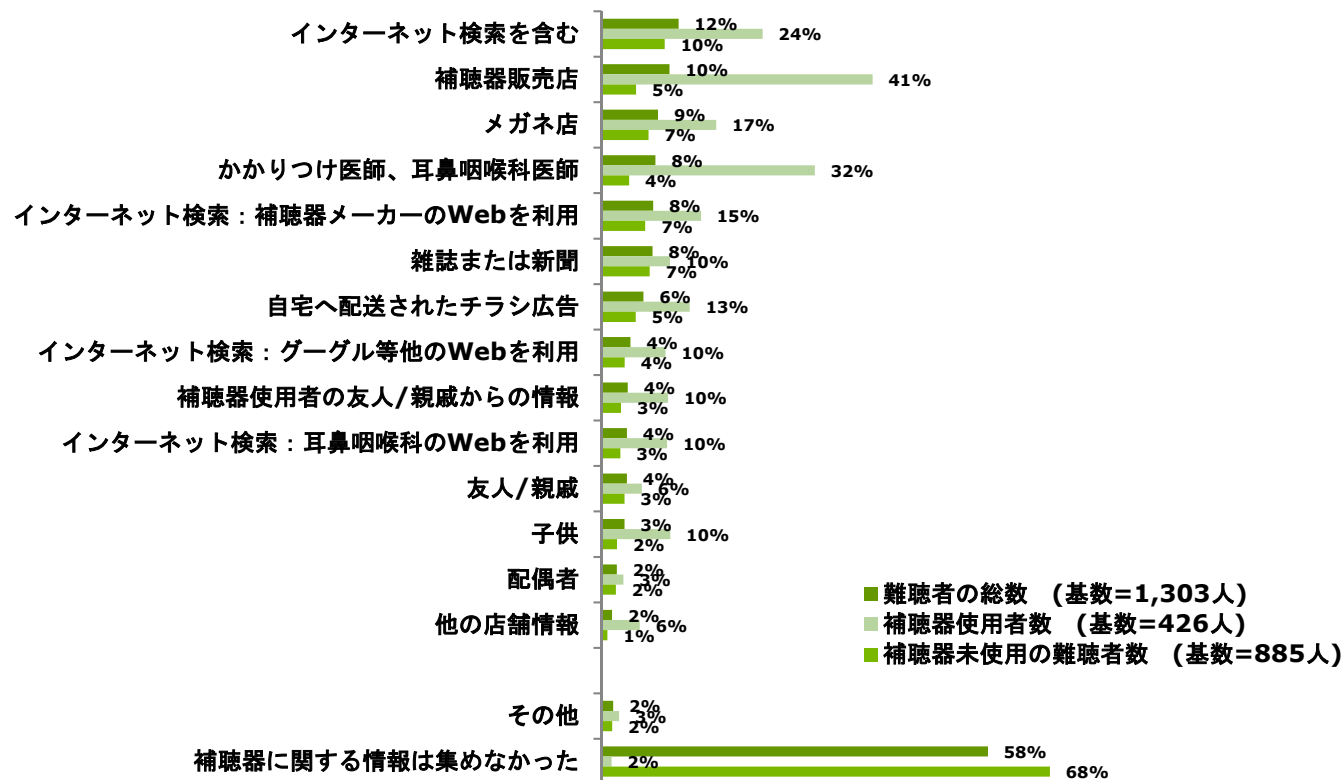
- その他のほとんどは:
1. 会社の健康診断（病院で実施）
 2. 自主的な健康診断（病院で実施）
 3. 学校で実施



補聴器所有までの道のり：離脱する割合と理由

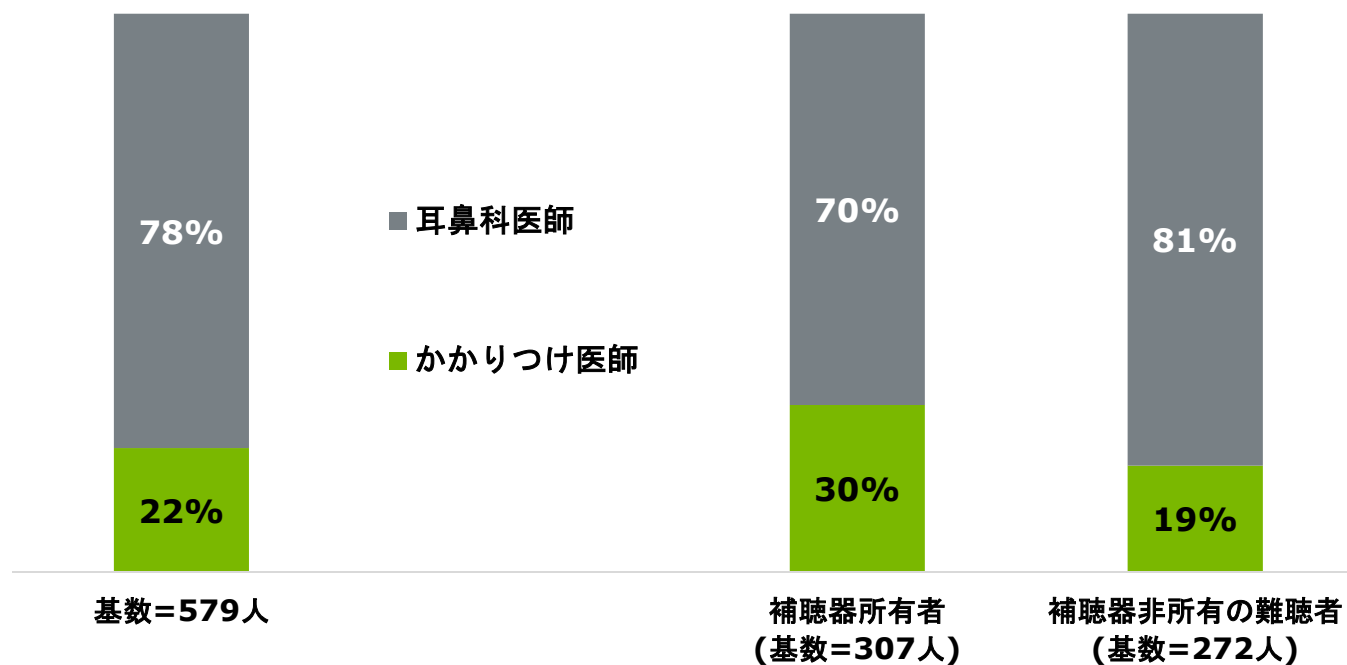
インターネット検索、補聴器販売店、医師及びメガネ店が補聴器の情報を得るための最も重要な情報源であり、主たる入口である

あなたは補聴器に関する情報をどこから得ましたか？
該当する箇所の全てに記入してください。

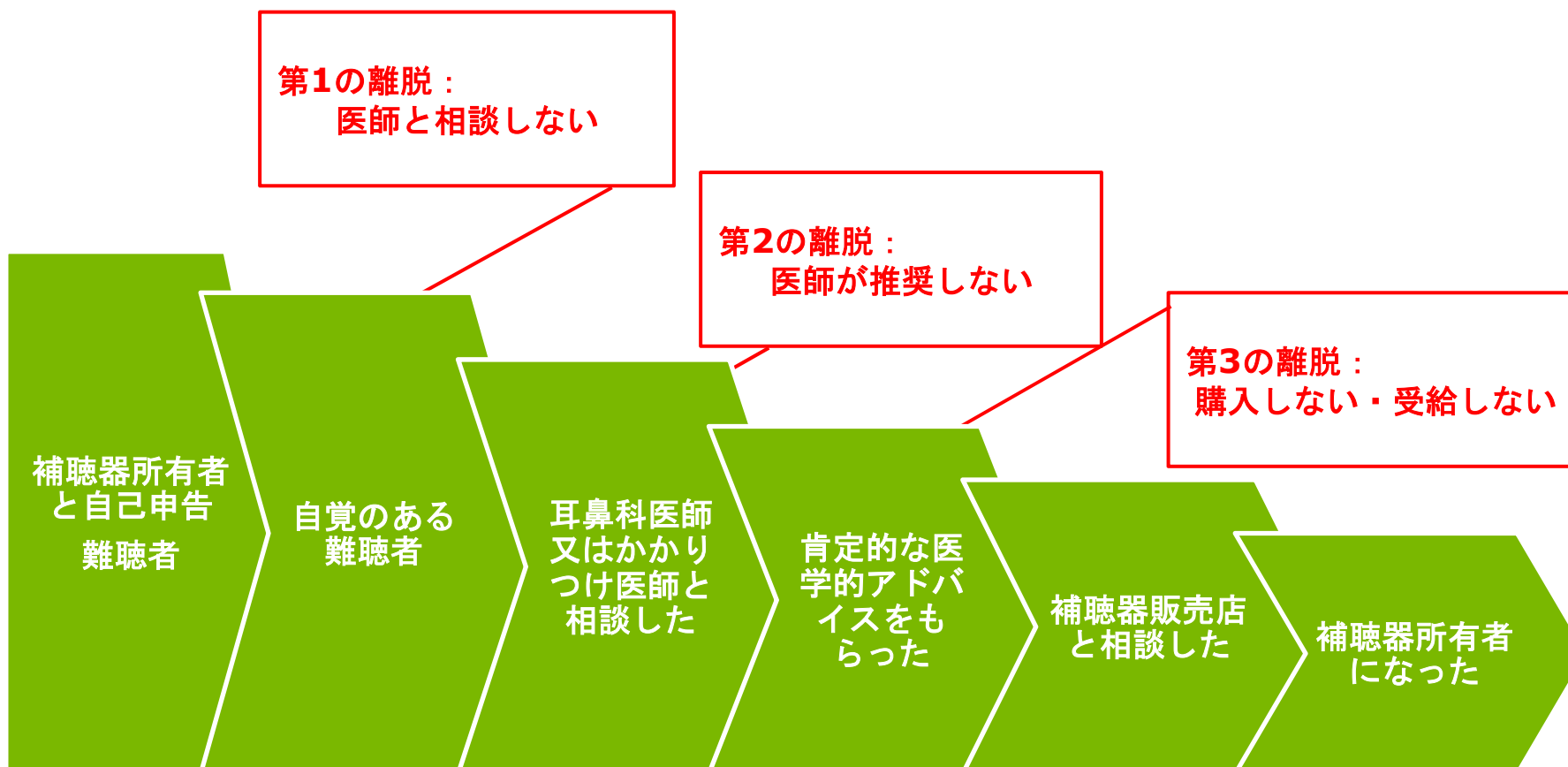


難聴について最初に相談したのは、耳鼻科医師が**78%**、 かかりつけ医師が**22%**であった

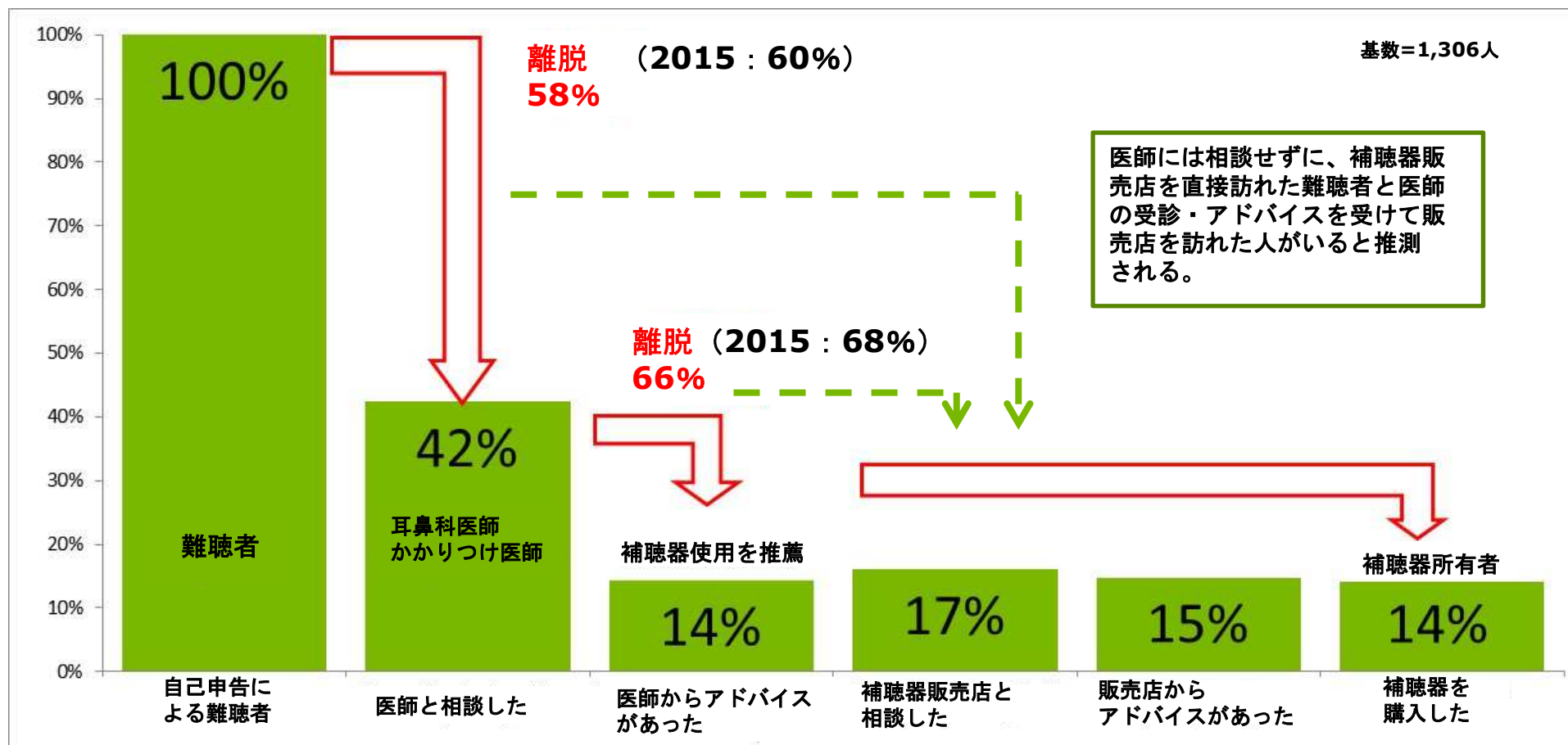
あなたが初めに難聴について相談をしたのは耳鼻科医師でしたか、
あるいは、かかりつけ医師でしたか？



補聴器所有までのルート：難聴者が補聴器を入手するまでの道のり



補聴器所有までのルート：全体像



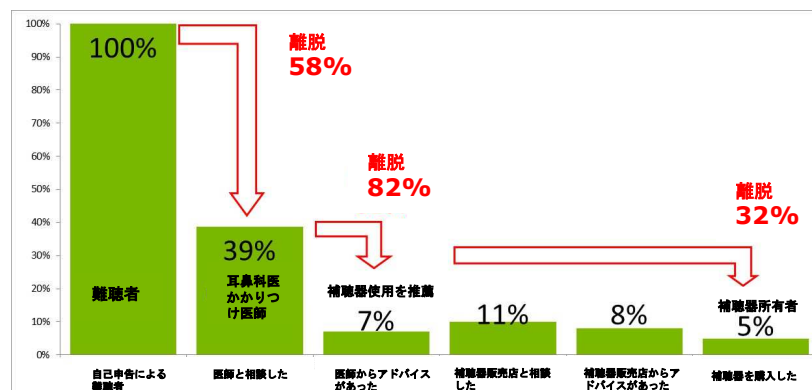
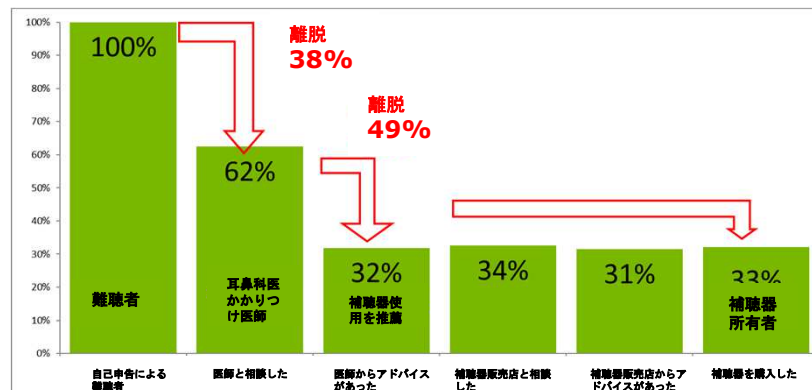
難聴度が低いグループで離脱が非常に多い

難聴度の高い上位50%のグループ*

<アンケートの難聴度の定義>

- 軽度 : 静かな場所でも小さな声が聞き取れなかったり、間違えたりする
- 中等度 : 日常生活で普通の大きさの会話を、正しく聞き取れないことが、しばしばある。大きい会話でも、正しく聞き取れないことが、しばしばある
- 高度 : 耳もとで大きな声を出して貰わないと聞き取れない
- 重度 : 耳もとで大きな声を出して貰ってもほとんど聞こえない

難聴度の低い下位50%のグループ*



基準 : 基数 = 560人/391人

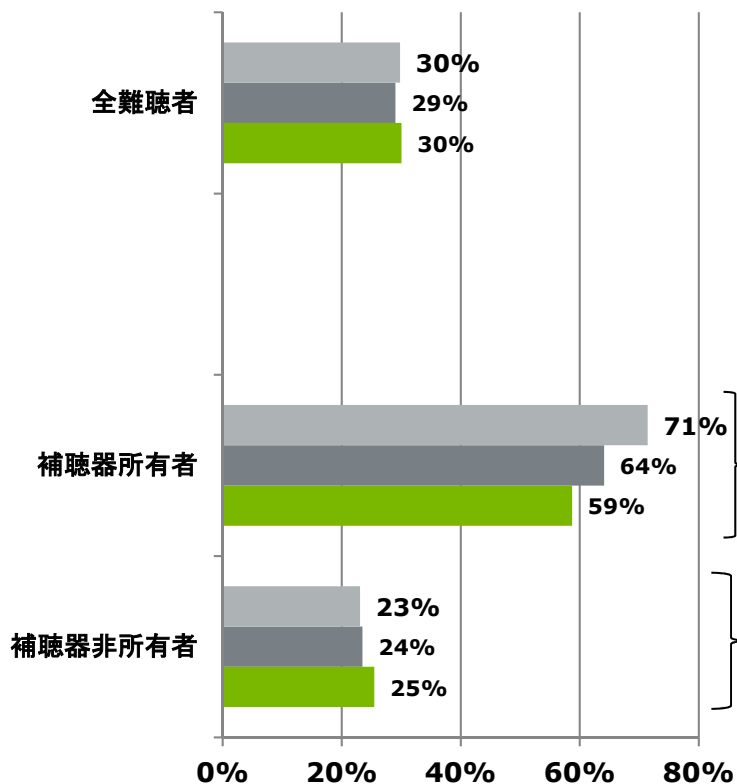
* 6グループの構成 : この分析は“難聴レベル”を一つの要因とし、全て同一なものとして行われた。その中には以下の質問も含まれている :
 (聞こえに関する以下のアンケート結果を集計し6つの聴力別のグループに分けた)
 障害のある耳の数 (片耳又は両耳)
 • 申告された聴力損失のレベル (軽度から重度まで)
 • 6 APHAB-EC テストのスコア (Scaled 1-5の質問による)
 • 補聴器を使用しない時の騒音下での会話困難度
 → 回答者を同数の6グループに分類した (1グループ=サンプル中の全難聴者数の16.67%)



補聴器所有への道のり：かかりつけ医師

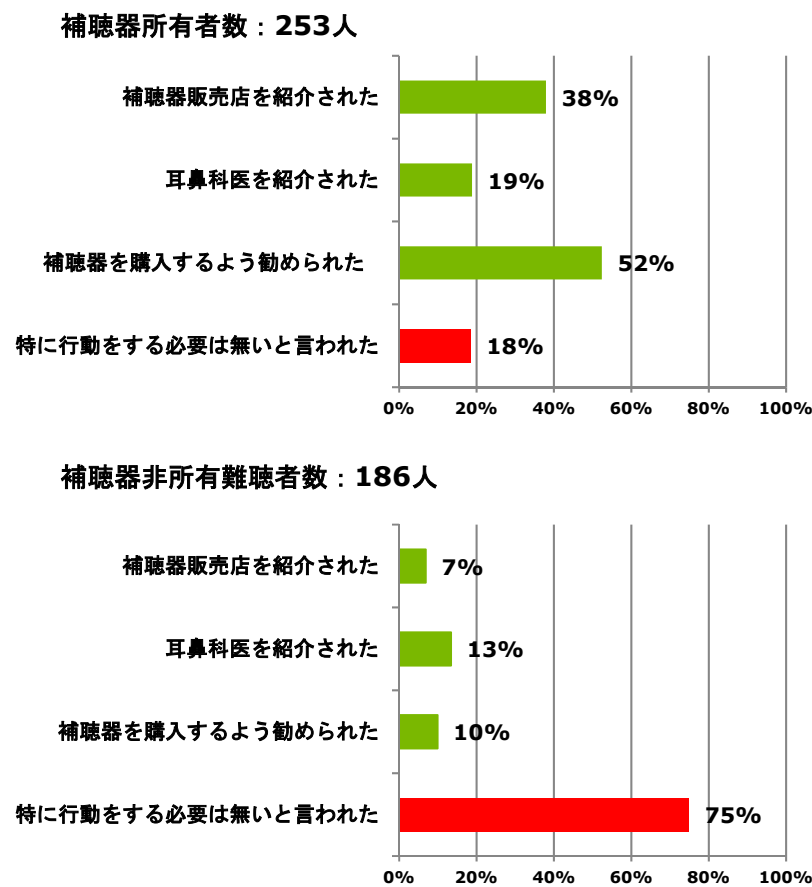
あなたはかかりつけ医師と難聴について相談したことはありますか？

かかりつけ医師と相談した割合



■ JapanTrak 2018 ■ JapanTrak 2015 ■ JapanTrak 2012
 基数: 1,306人 基数: 1,216人 基数: 1,348人

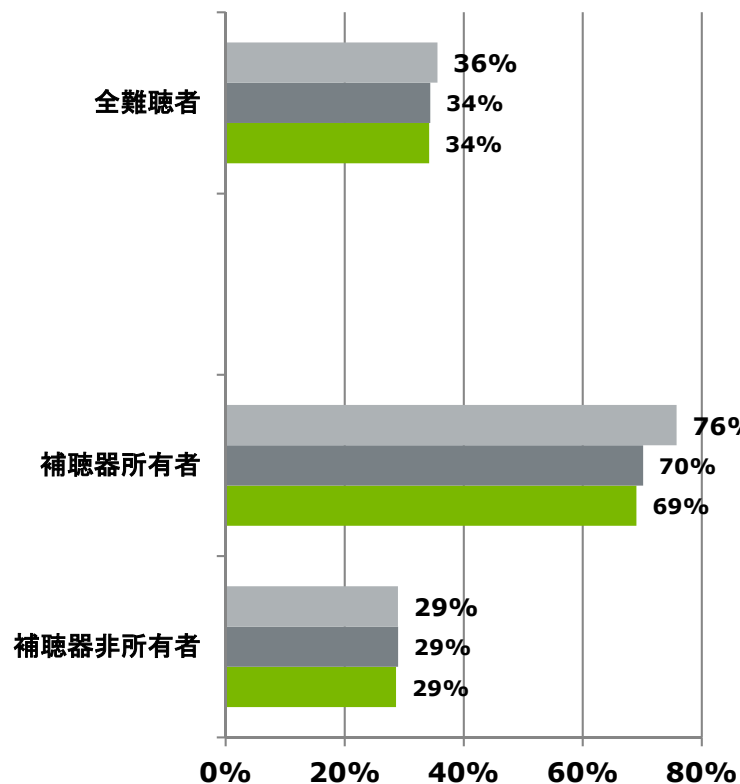
かかりつけ医師の処方又は対応



補聴器所有への道のり：耳鼻科医師

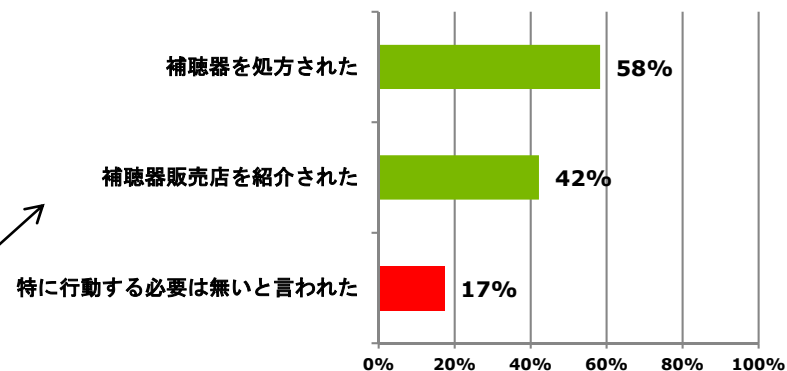
あなたは耳鼻科医師と難聴について相談したことはありますか？

耳鼻科医師と相談した割合

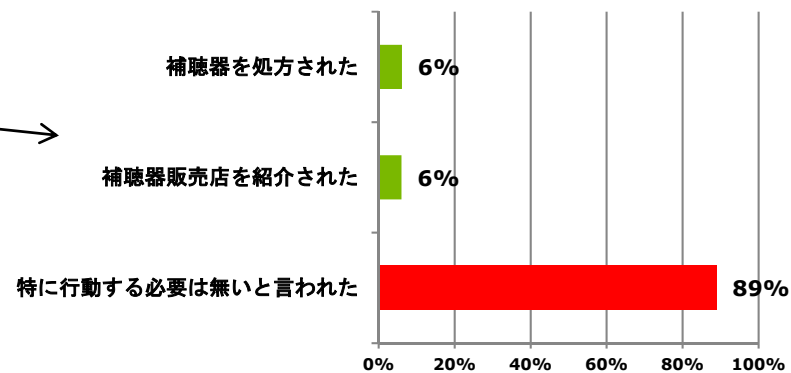


耳鼻科医師の処方又は対応

補聴器所有者数：259人



補聴器非所有難聴者数：299人



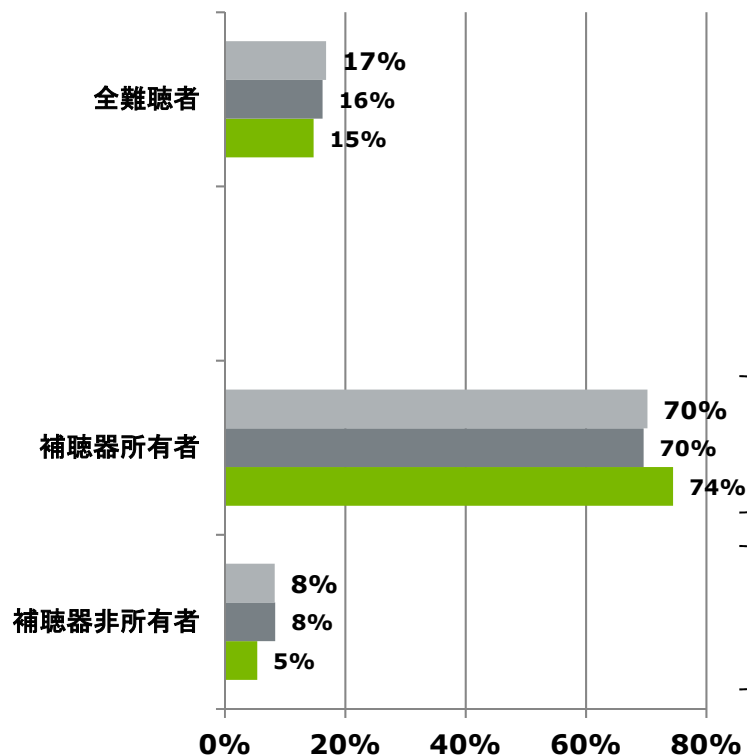
■ JapanTrak 2018 基数: 1,306人
 ■ JapanTrak 2015 基数: 1,230人
 ■ JapanTrak 2012 基数: 1,348人



補聴器所有への道のり：補聴器販売店

あなたは補聴器販売店と難聴について相談したことはありますか？

補聴器販売店と相談した割合



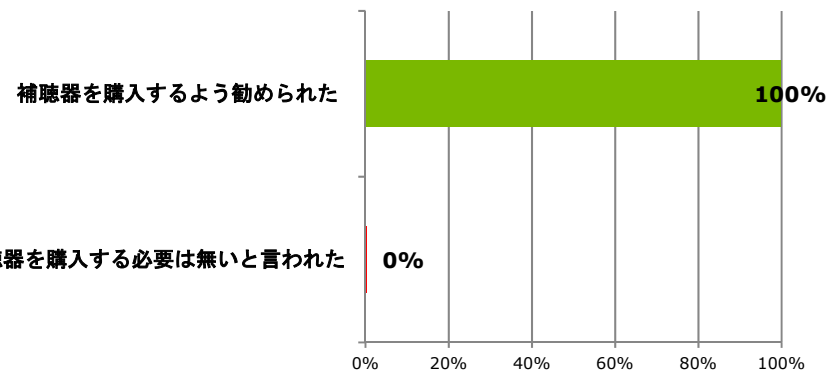
■ JapanTrak 2018
基数: 1,306人

■ JapanTrak 2015
基数: 1,266人

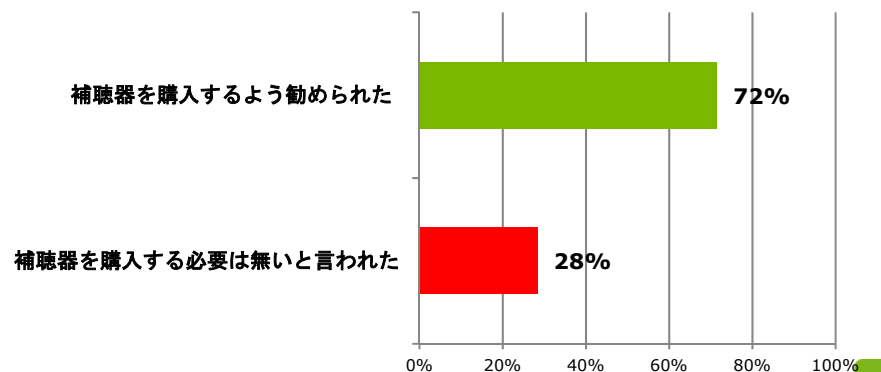
■ JapanTrak 2012 基数: 1,348人

補聴器販売店の対応

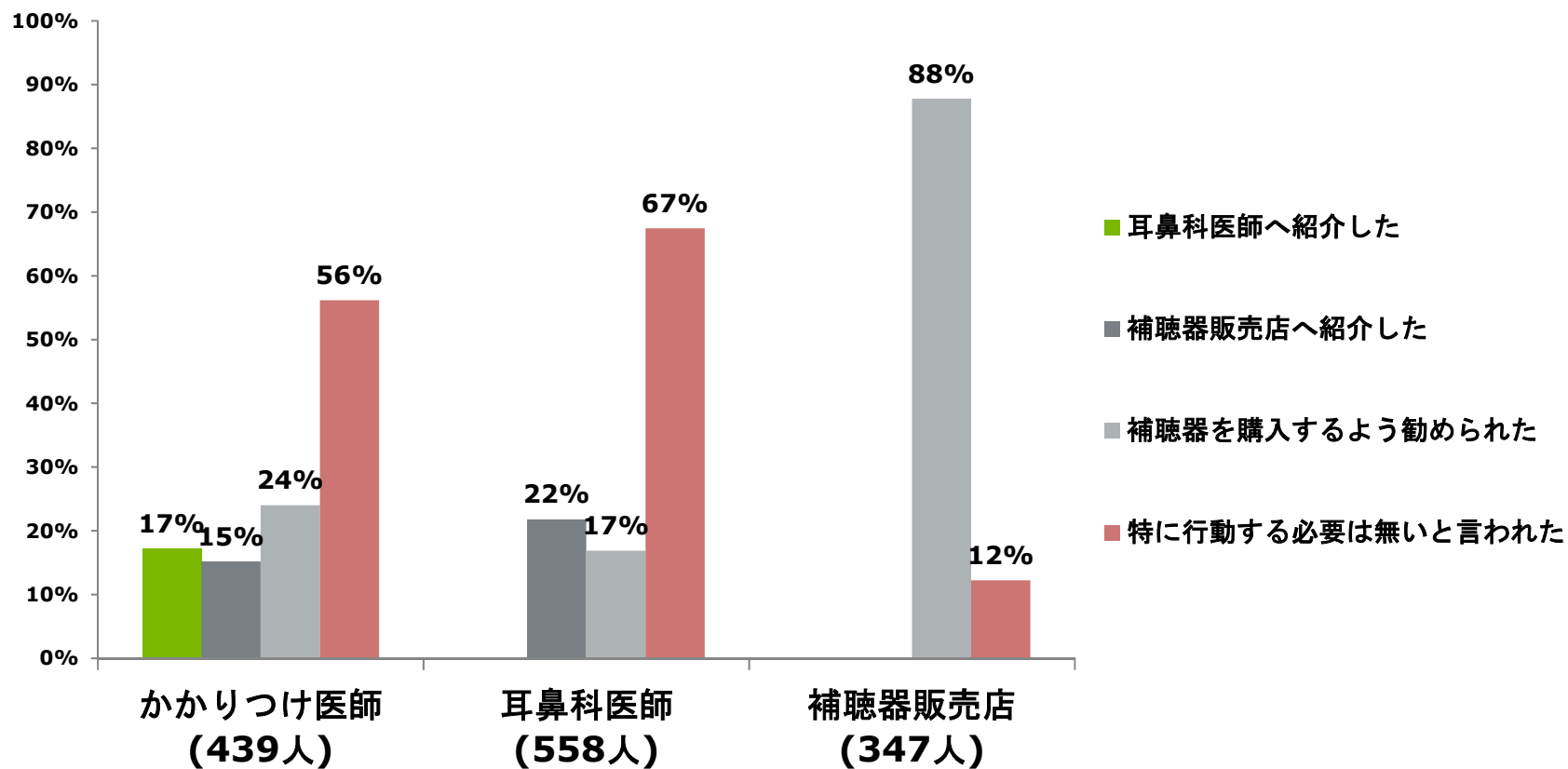
補聴器所有者数：297人



補聴器非所有難聴者数：50人



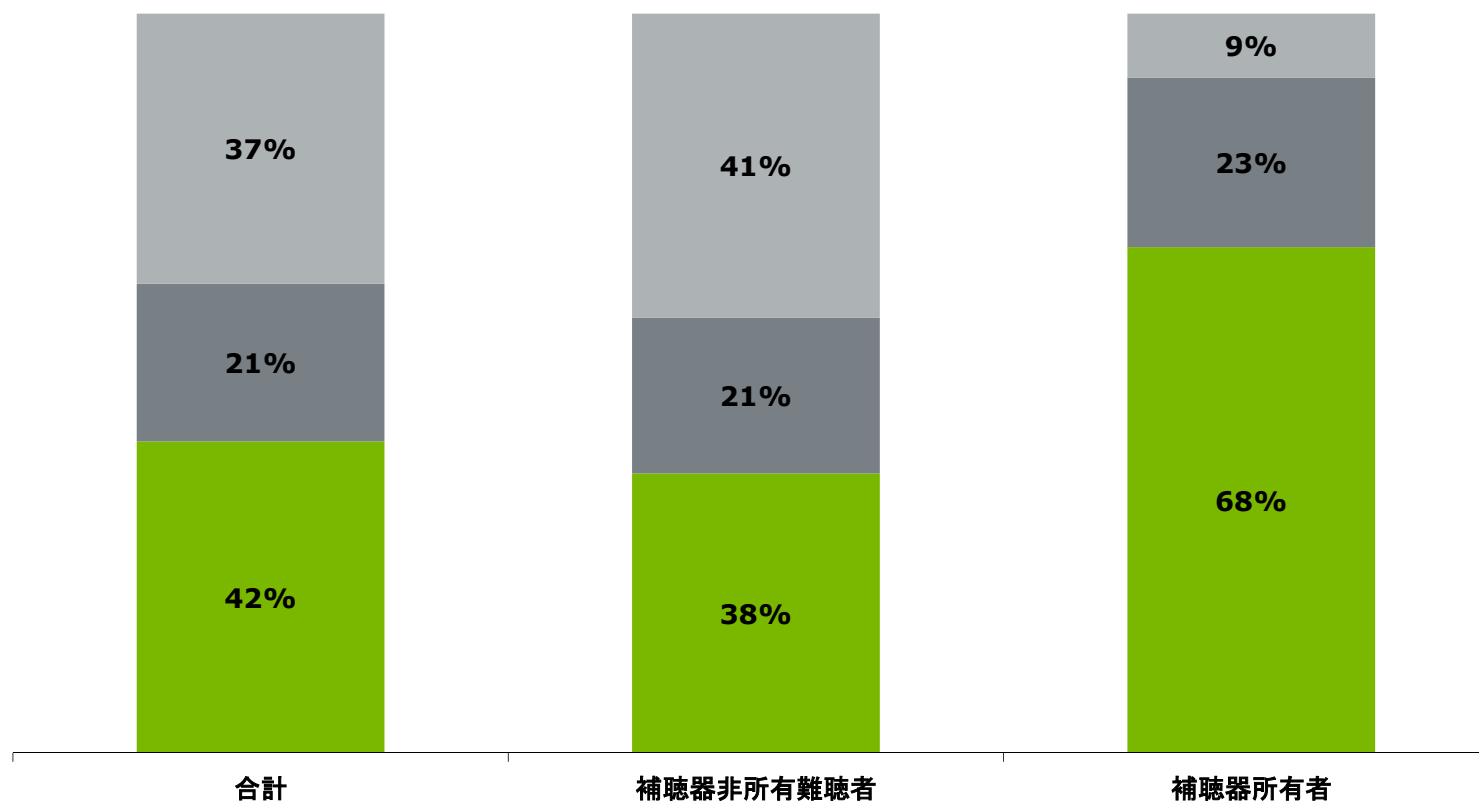
補聴器所有への専門家の対応・推薦



補聴器販売店がどこにあるのかはあまりよく知られていない

あなたのお住いの近くに補聴器販売店はありますか？

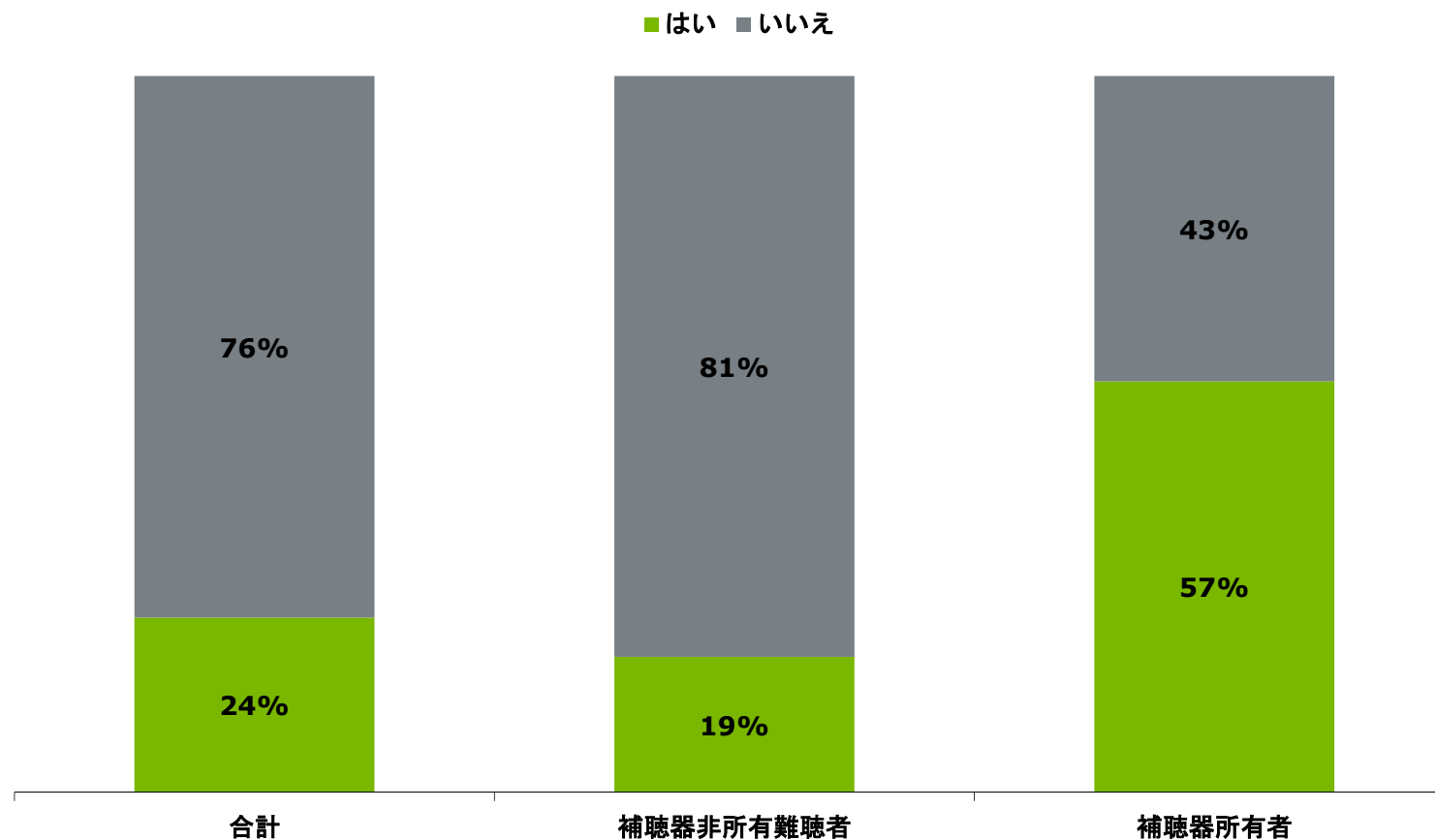
■ はい ■ いいえ ■ 分かりません



非加重サンプル数 = 1,306人

24% (2015 : 23%, 2012 : 24%) の難聴者が「認定補聴器専門店」という名称を知っている

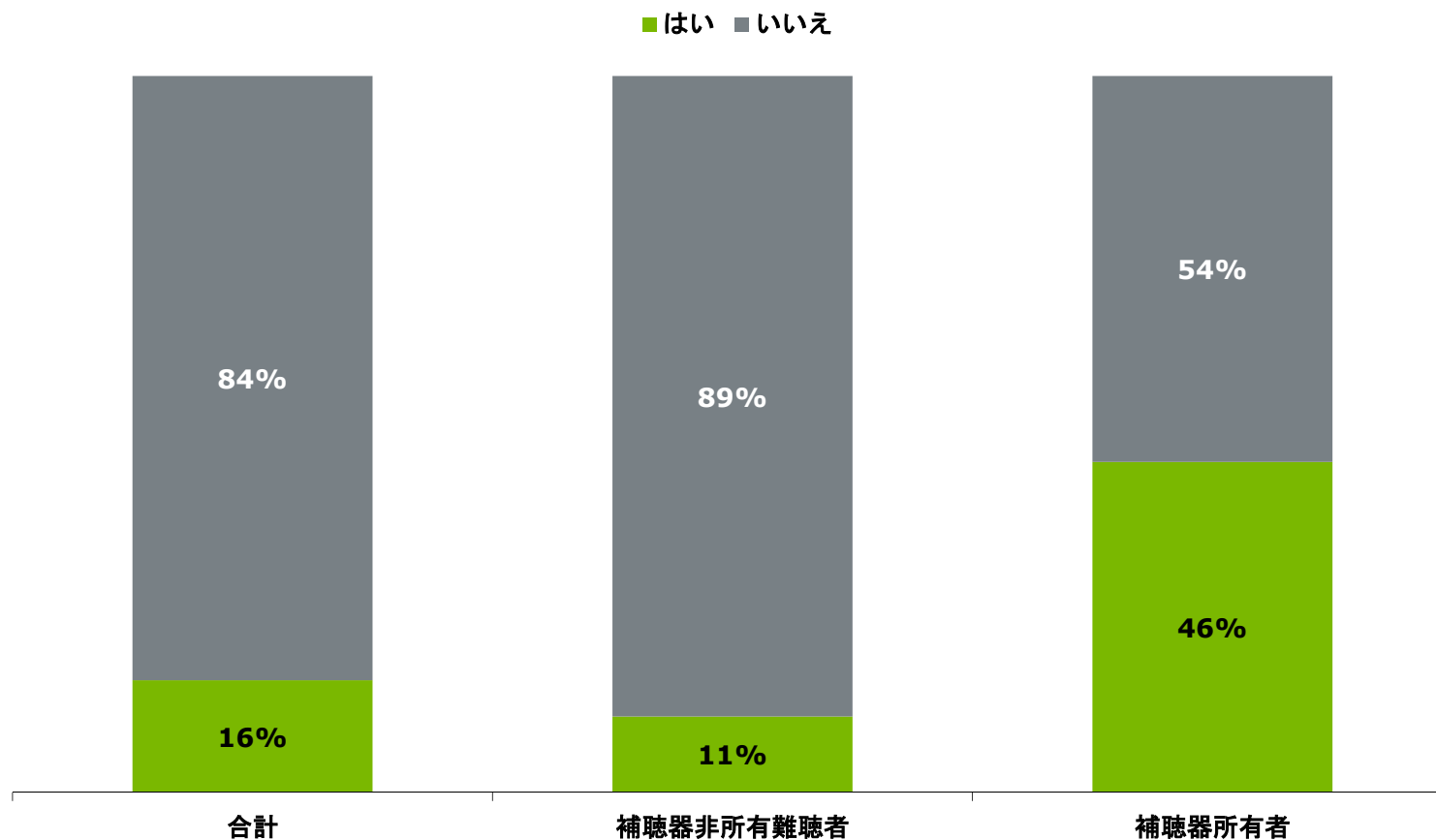
あなたは「認定補聴器専門店」という名称をご存知ですか？



非加重サンプル数 = 1,306人

16% (2015 : 15%, 2012 : 16%) の難聴者が「認定補聴器技能者」という名称を知っている

あなたは「認定補聴器技能者」という名称をご存知ですか？

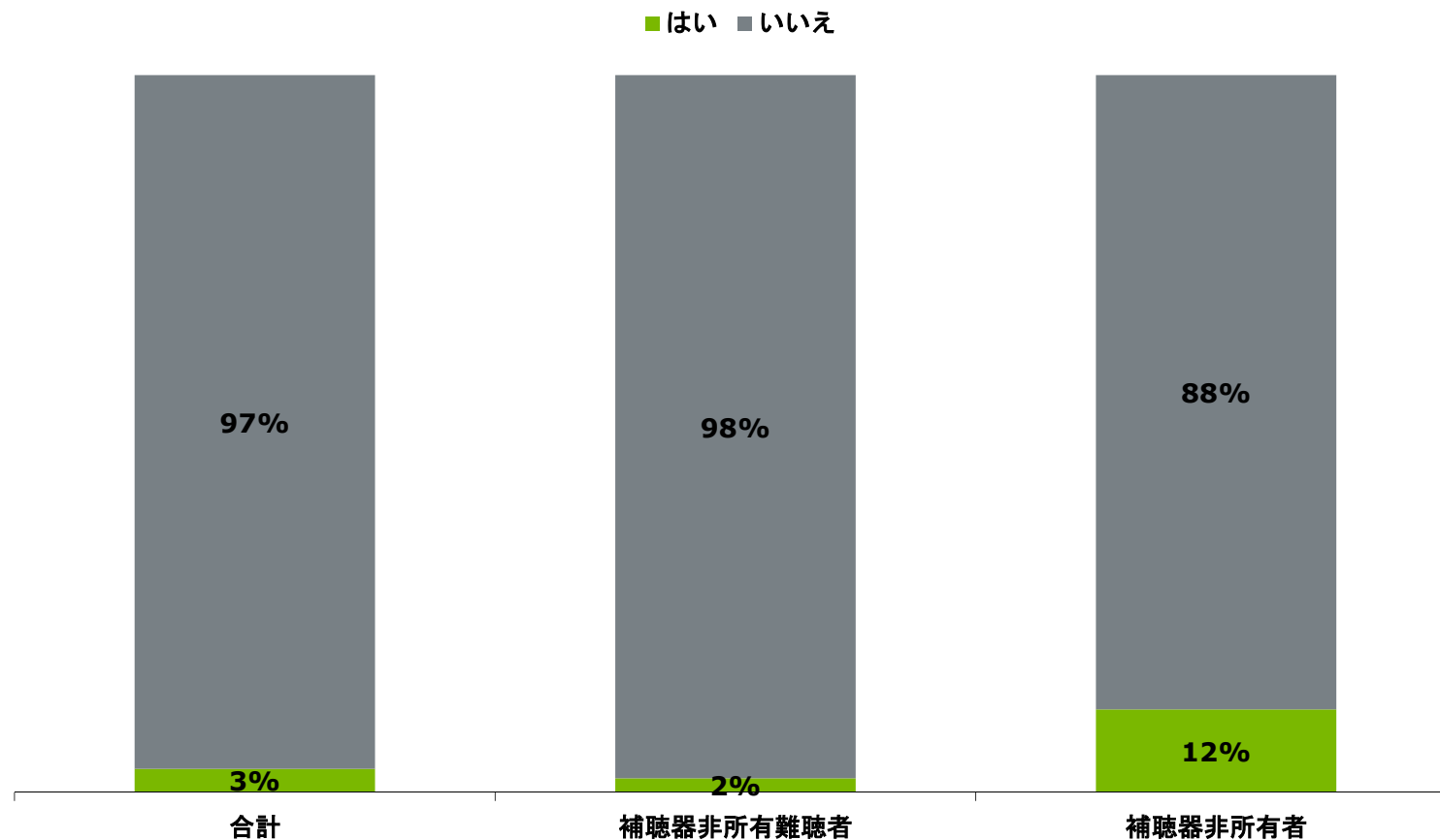


非加重サンプル数 = 1,306人



3% (2015 : 3%, 2012 : 3%) の難聴者が「テクノエイド協会」という名称を知っている

あなたは「テクノエイド協会」という名称をご存知ですか？



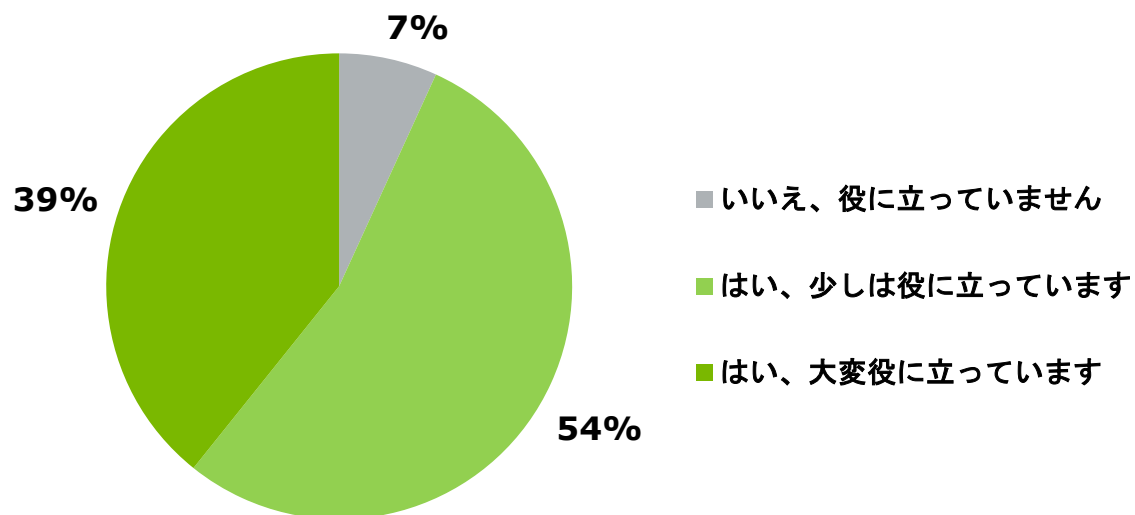
非加重サンプル数 = 1,306人

補聴器使用が社会的費用の負担減に寄与： 仕事上での優位性・うつ病・睡眠の質について

仕事上での優位性：

仕事を持っている補聴器所有者の**93%**は補聴器が仕事上で役に立っていると
言っている

補聴器はあなたの仕事上でどの
ように役立っていますか？



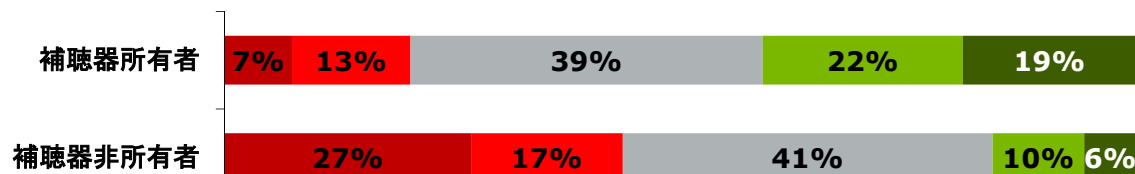
基数：150人

仕事上での優位性：

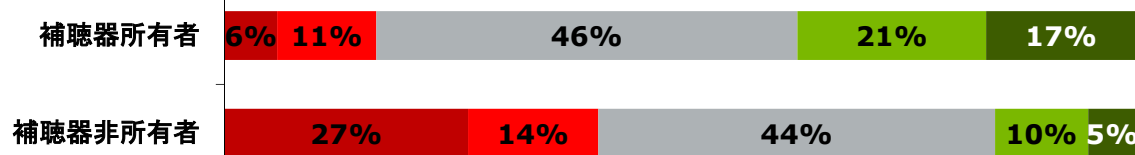
補聴器所有者は補聴器が難聴者にとって、出世・適切な仕事・高い報酬を得るために役立っていると認識している

■ 全く思わない ■ 余り思わない ■ どちらともいえない ■ 多少思う ■ 強く思う

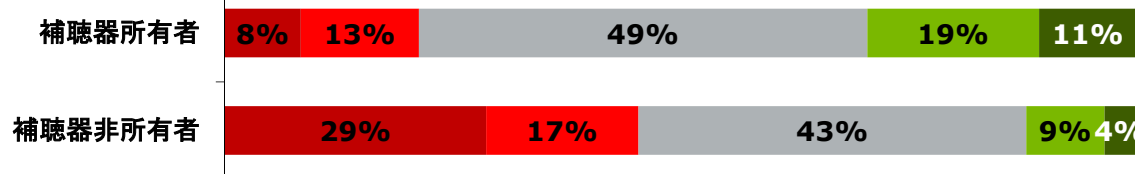
私は難聴の対策をとっていない人達が仕事上で出世しない傾向にあると思う



私は難聴の対策をとっていない人達が仕事上で能力に合った仕事を獲得していない傾向があると思う



私は難聴の対策をとっていない人達の報酬が低い傾向にあると思う



基数：補聴器非所有者741人・補聴器所有者：382人



その他の健康問題（1）：

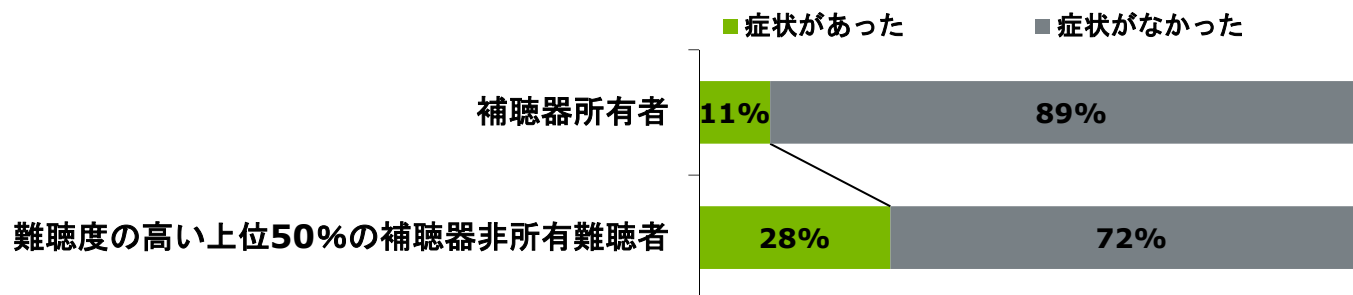
補聴器所有者は補聴器非所有難聴者（難聴度の高い上位50%のグループ*）と比べてうつ病になるリスクが低い（PHQ-2スクリーニング）

うつ病の症状

（PHQ-2スクリーニング）：

過去2週間以内に：

興味が無くなった・楽しまなくなった・気分が落ち込んだ・憂鬱になった・絶望的な気持ちになった



基数：補聴器所有者354名、補聴器非所有難聴者数141名

* 6グループの構成：この分析は“難聴レベル”を一つの要因とし、全て同一なものとして行われた。その中には以下の質問も含まれている：

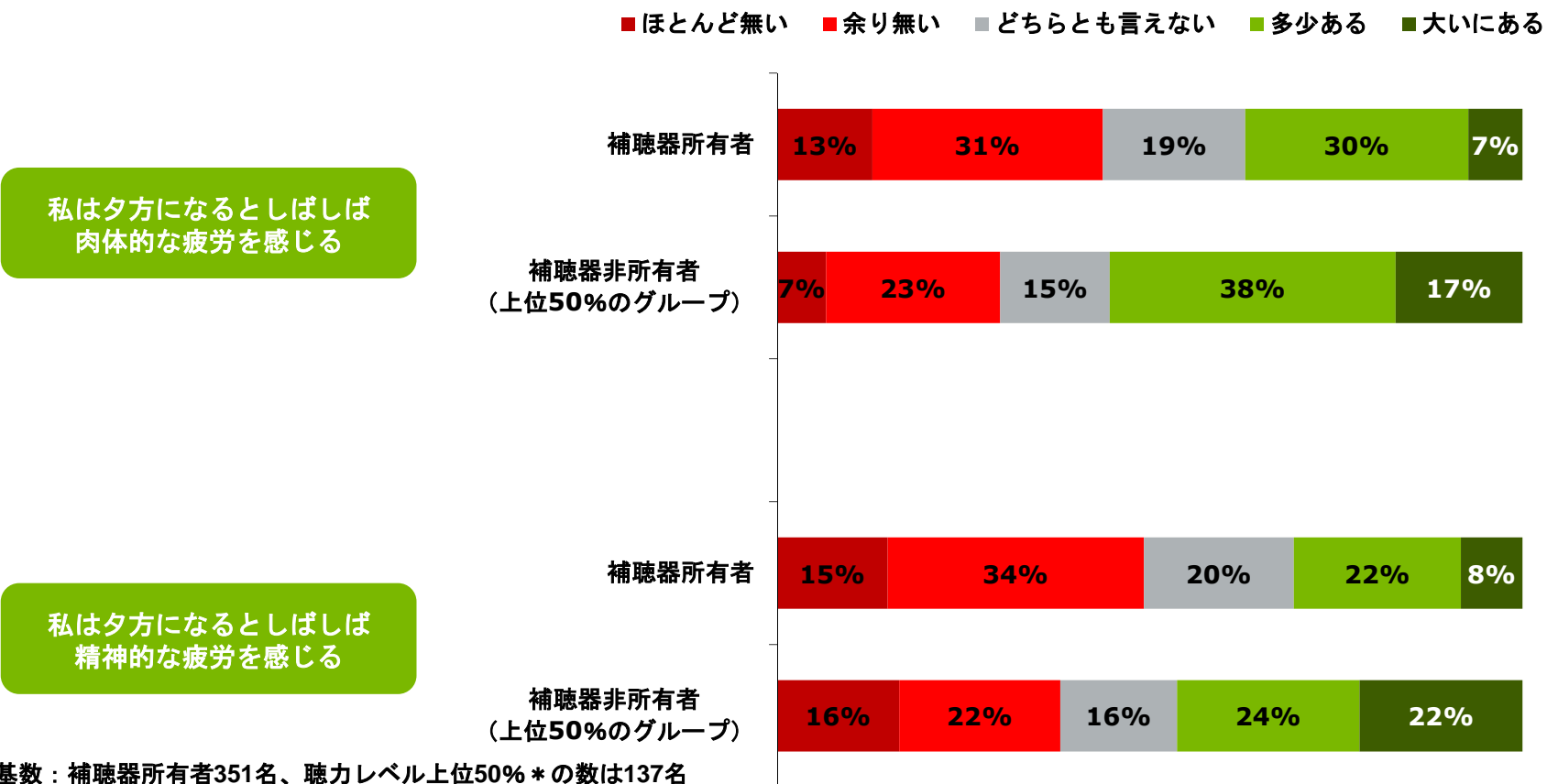
（聞こえに関する以下のアンケート結果を集計し6つの聴力別のグループに分けた）

- ・ 障害している耳の数（片耳又は両耳）
- ・ 申告された聴力損失のレベル（軽度から重度まで）
- ・ 6 APHAB-ECテストのスコア（Scaled 1-5の質問による）
- ・ 補聴器を使用しない時の騒音下での会話困難度

→回答者を同数の6グループに分類した（1グループ=サンプル中の全難聴者数の16.67%）

© Anovum 2018 - JapanTrak 2018

その他の健康問題（2）： 難聴度の高い上位50%のグループ*の補聴器非所有者は補聴器所有者と比べて夕方になると疲労が大きい

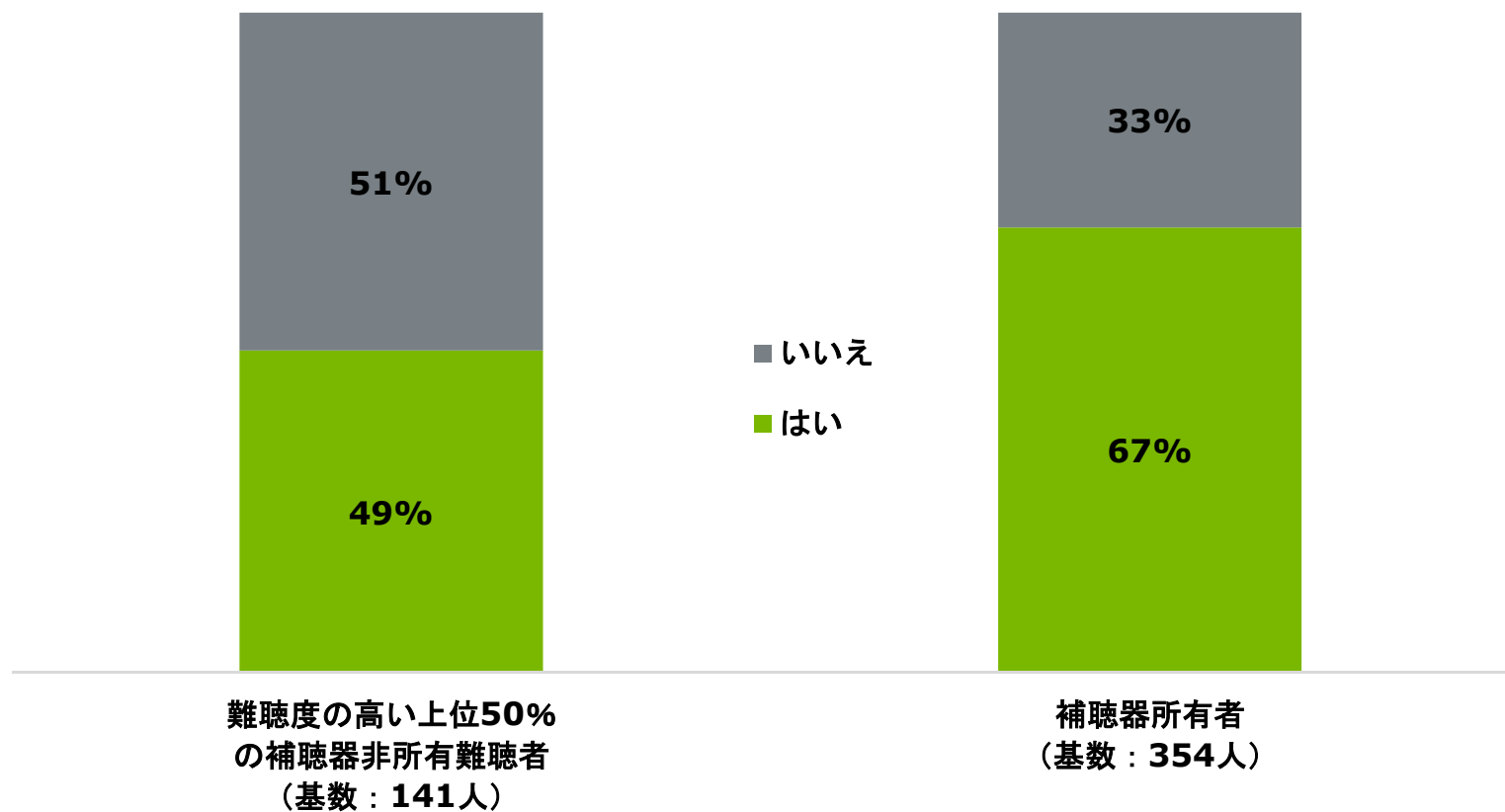


* 6グループの構成：この分析は“難聴レベル”を一つの要因とし、全て同一なものとして行われた。その中には以下の質問も含まれている：
 (聞こえに関する以下のアンケート結果を集計し6つの聴力別のグループに分けた)
 ・ 障害のある耳の数 (片耳又は両耳)
 ・ 申告された聴力損失のレベル (軽度から重度まで)
 ・ 6 APHAB-ECテストのスコア (Scaled 1-5の質問による)
 ・ 補聴器を使用しない時の騒音下での会話困難度
 → 回答者を同数の6グループに分類した (1グループ=サンプル中の全難聴者数の16.67%)



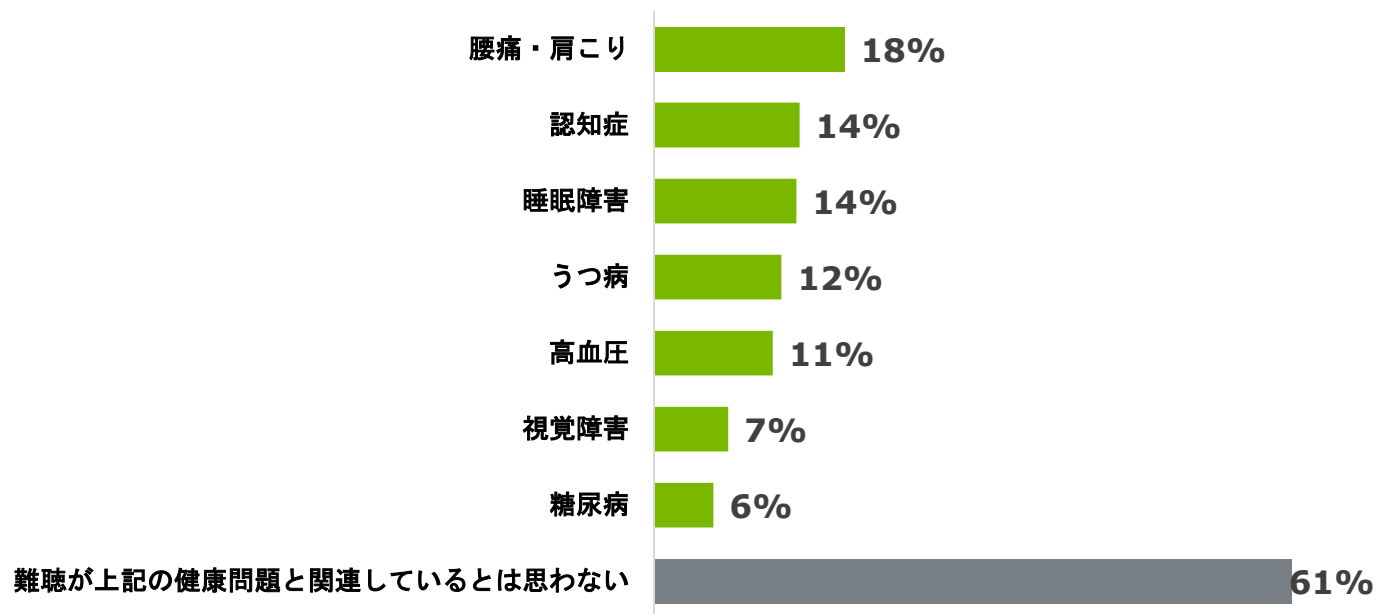
その他の健康問題（3）： 難聴者が補聴器を使用すると睡眠の質が向上すると推定される

あなたは普段の睡眠の質に満足されていますか？



難聴者の12%～18%が「うつ病」「睡眠障害」「認知症」「腰痛や肩こり」が難聴と関係していると思っている

あなたが難聴と関連していると思う以下の健康問題をすべて選択してください。

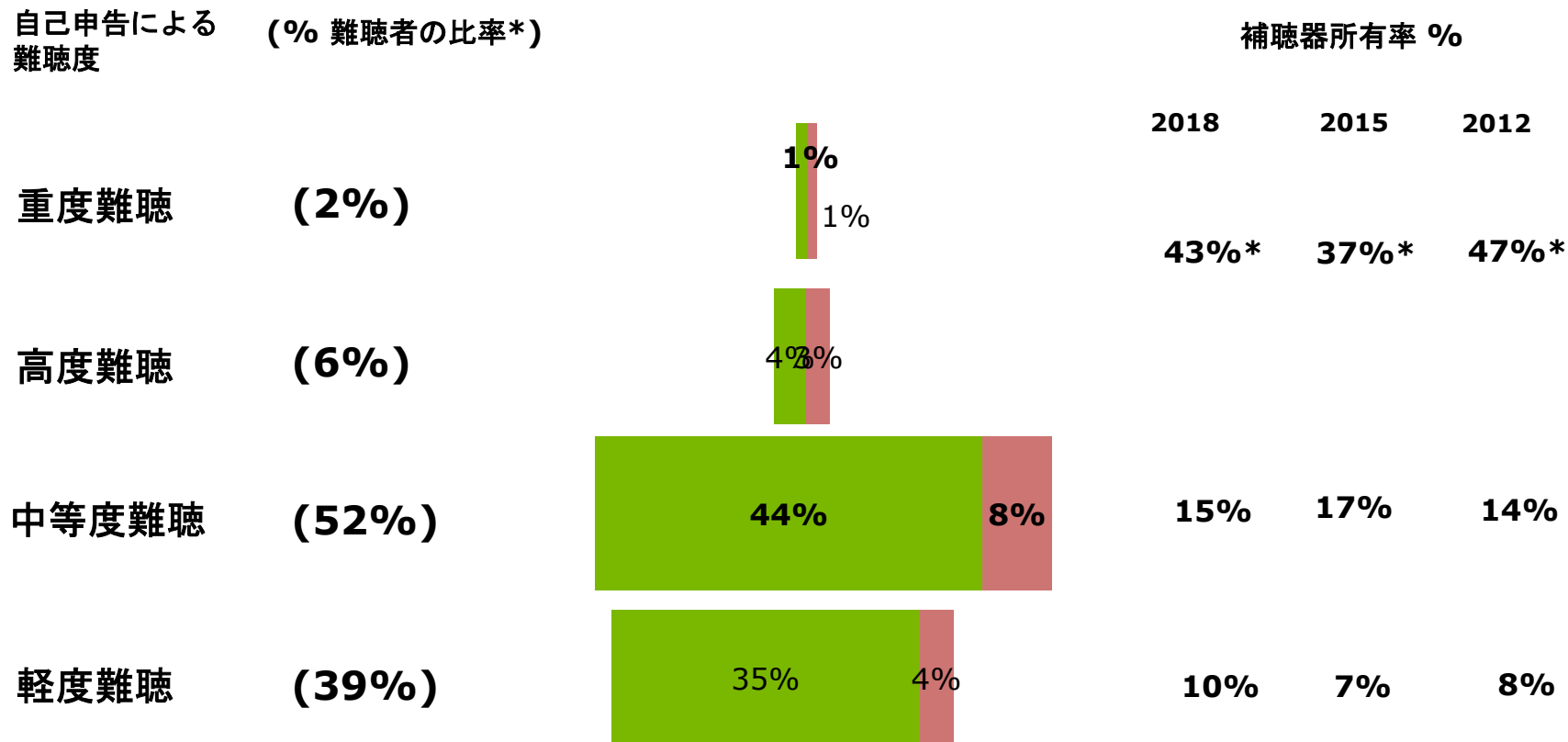


基数：1、303

3.補聴器所有者の分析

補聴器所有者、難聴の自覚から補聴器所有まで、
補聴器の寿命（買い替え時期）及び使用状況について

難聴度が軽度・中等度の補聴器所有率は低い



基数：1,161人

四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある

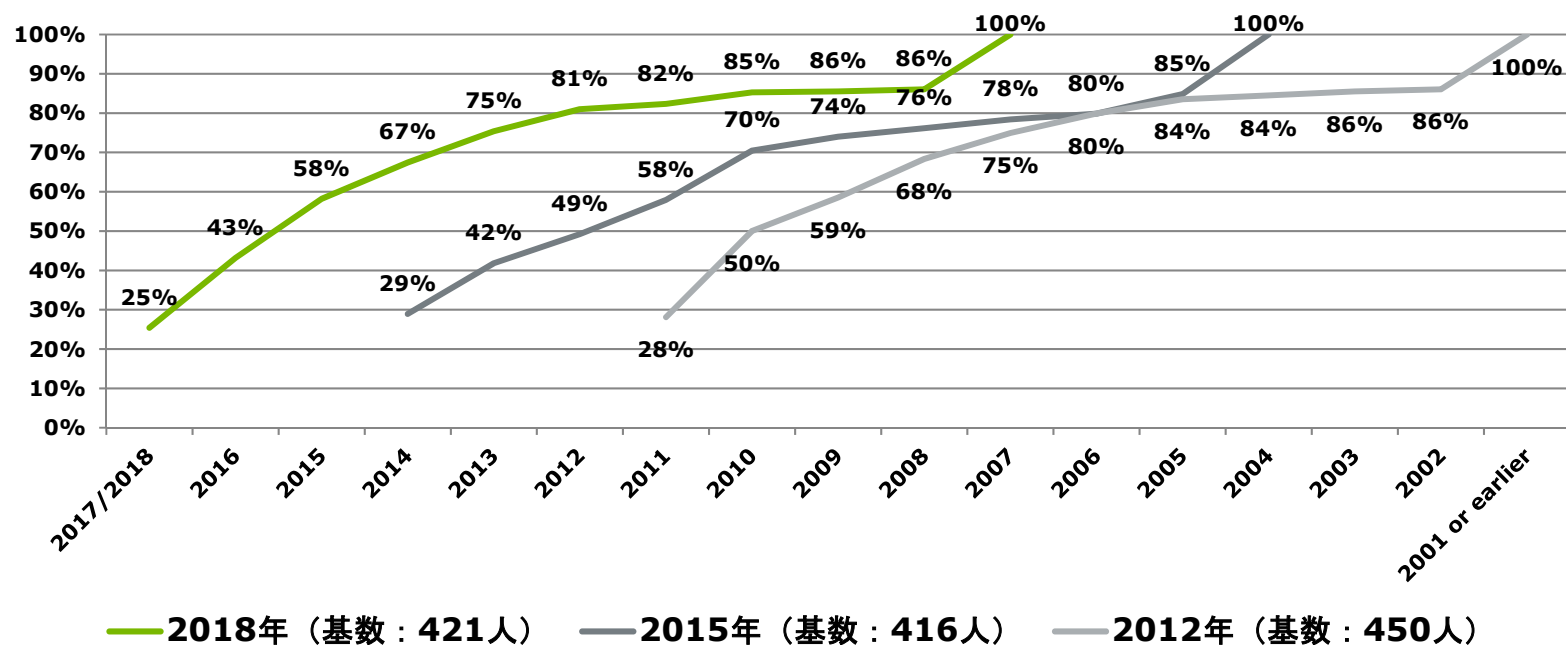
* 基数が過小なため重度と高度難聴者を合算して算出している

■ 補聴器非装用者
■ 補聴器装用者



現在所有されている補聴器の43%は過去2年以内に購入されたものである

現在所有されている補聴器の購入時期



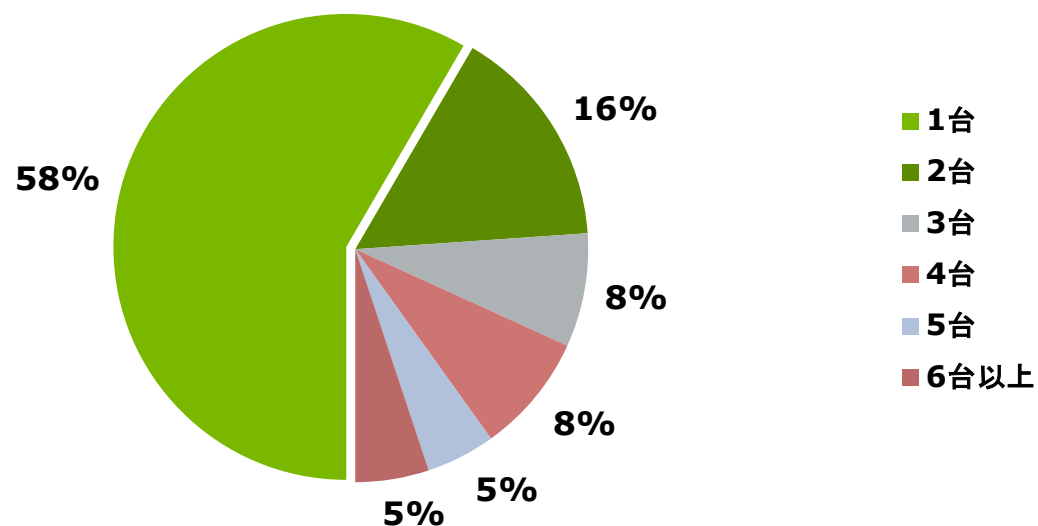
現在所有されている補聴器の年数 (平均)

- 2018: 3.5年 (平均)
- 2015: 4.1年 (平均)
- 2012: 3.5年 (平均)



58%が初回補聴器所有者、16%が2台目の補聴器所有者

現在、所有の補聴器は何台目ですか？
(両耳装用は1台として計算する)



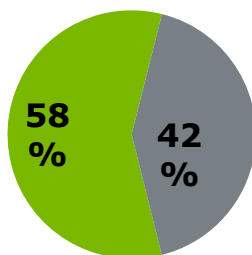
基数：421人

難聴に気づいてから補聴器を購入するまでに平均4~6年が経過している。
補聴器はおおよそ5年間使用してから買い替えられている。

ご使用中の補聴器は初めて購入された補聴器ですか？

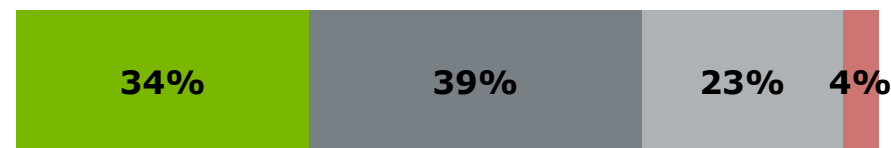
2012: 51%
2015: 52%

- はい
- いいえ



補聴器所有者 421人

以前お持ちの補聴器は何年間所有されてきましたか？

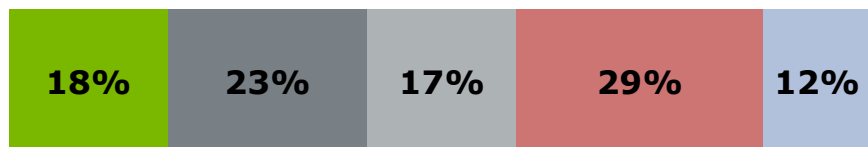


■ 1~3年 ■ 4~6年 ■ 7~10年 ■ 11年以上

基数 167人

買い替えるまでのおおよその期間
2018: 5年(平均)
2015: 5年(平均)
2012: 4年(平均)

あなたが初めて補聴器を購入した時のことを思い出してください。
あなたは難聴に気づいてから補聴器を購入するまでに何年間かかりましたか？



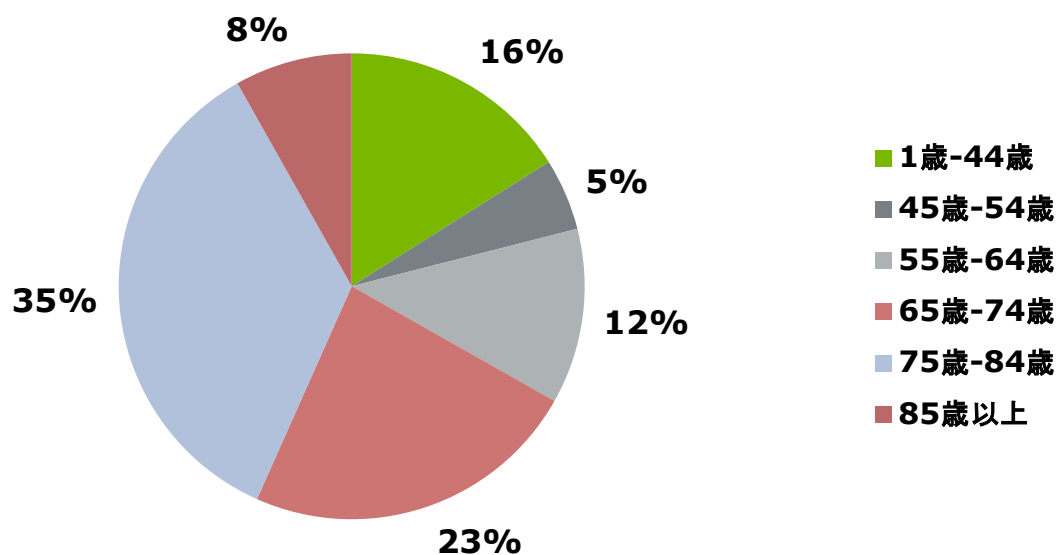
■ 1年 ■ 2年 ■ 3年 ■ 4~6年 ■ 6年以上

基数 234人



補聴器が必要であると感じたのは**70歳**（中央値）になった時である

あなたが補聴器を必要であると感じたのは何歳の時でしたか？



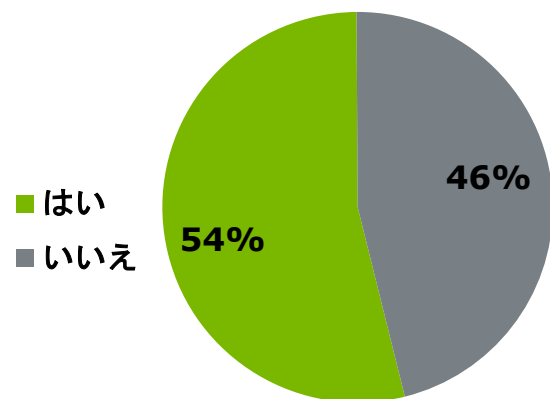
70歳（中央値）

基数 421人

全補聴器所有者の内、**54%**がもっと早く補聴器を使用していればよかったと思っている！

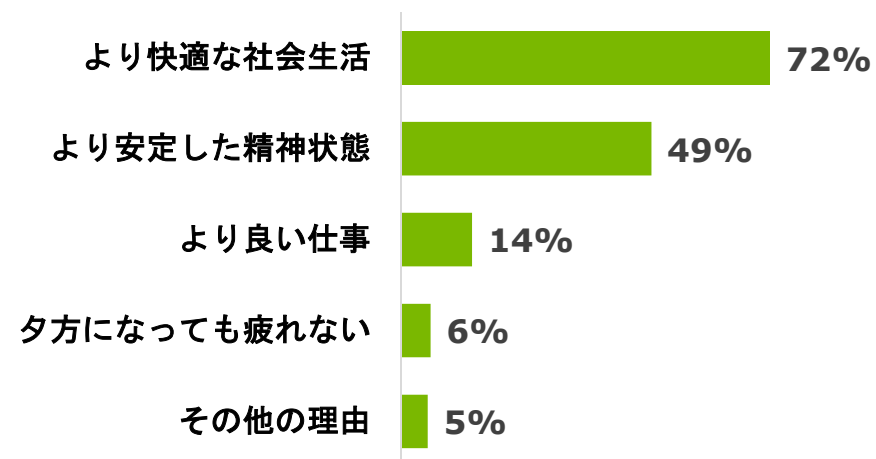
その最大の理由は、より快適な社会生活が送れたのではないかと考えているから。

補聴器を初めて入手した時のことを思い出してください。補聴器をもっと早く使用すべきだったと思いますか？



補聴器所有者 421人

「はい」と答えた人へ
補聴器をもっと早く使用していたら得られたと思う事は以下のどれですか？（複数回答可）

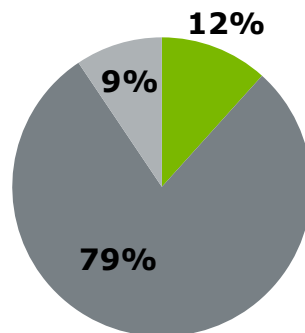


基数 226人

補聴器所有者のうち**12%**が障害者総合支援法又は自治体独自の支援制度に基づく公的支給補助を受けている。
補聴器非所有者は**7%**のみがこれらの制度の存在を知っている。

2018年

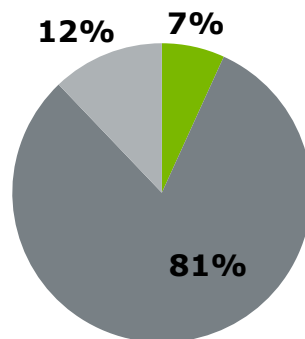
補聴器所有者：
購入に際し何らかの公的補助を受けましたか？



補聴器所有者：421人

- はい (2015: 15% ; 2012: 12%)
- いいえ (2015: 76% ; 2012: 81%)
- わかりません (2015: 9% ; 2012: 7%)

補聴器非所有者：
購入に際し何らかの公的補助を受けられる制度があることを知っていますか？

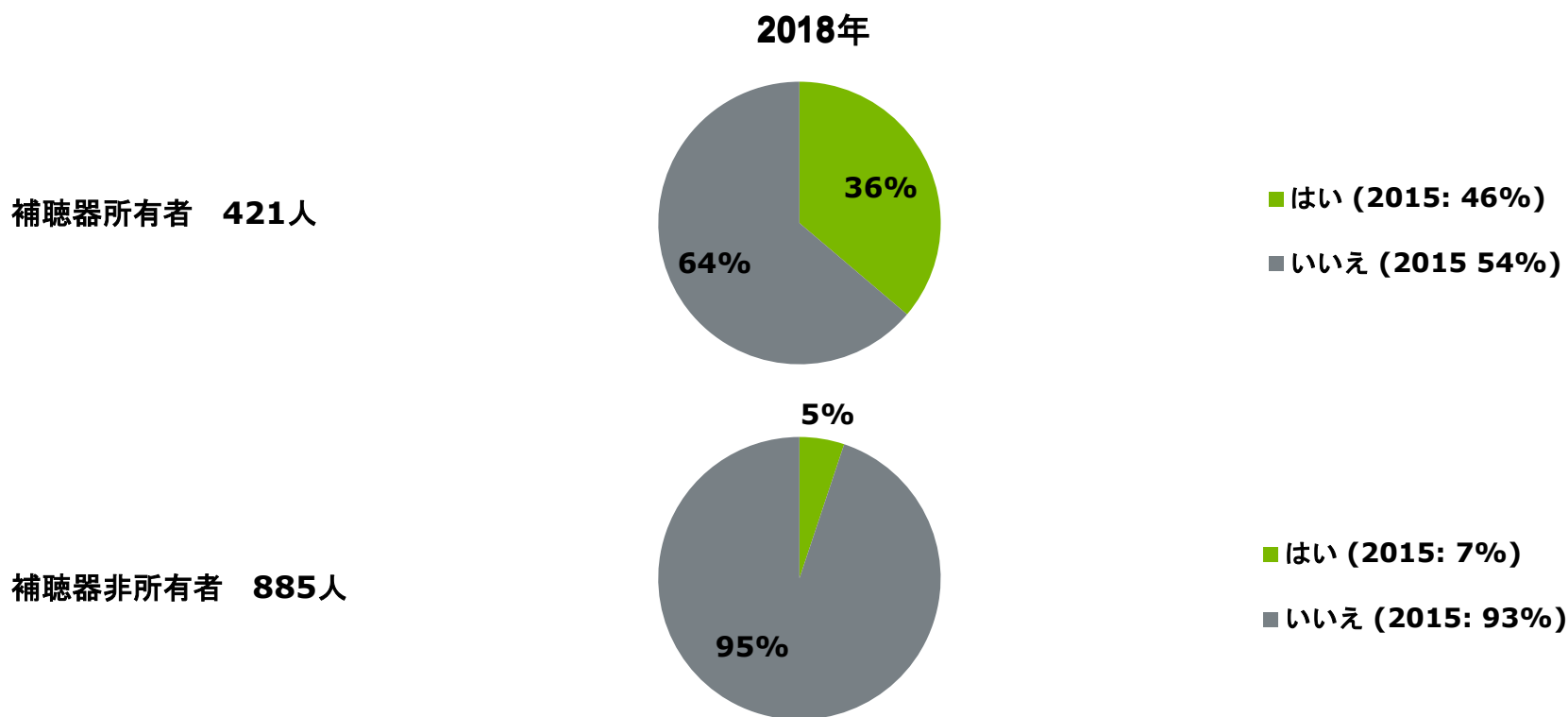


補聴器非所有者 885人

- はい (2015: 9% ; 2012: 6%)
- いいえ (2015: 80% ; 2012: 84%)
- わかりません (2015: 11% ; 2012: 10%)

一般的に補聴器には消費税がかからないことを知らない

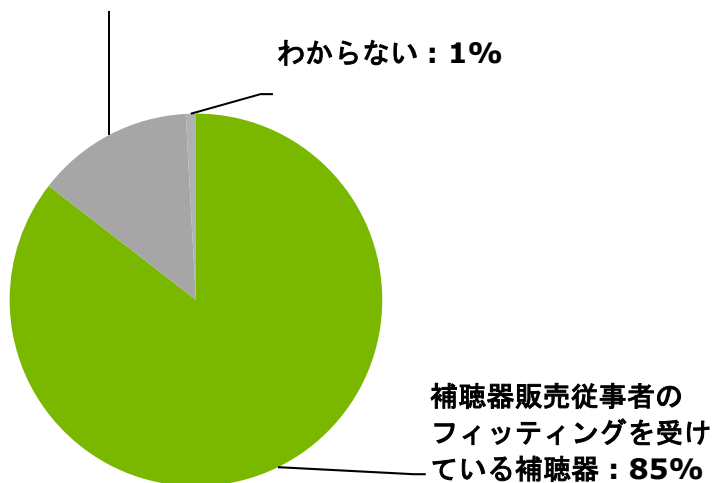
あなたは補聴器には消費税がかからないことを知っていますか？
全難聴者数1,306人のうち12%が知っている



補聴器の多くは補聴器専門店で購入されており、 集音器や通販補聴器はオンラインで購入されている

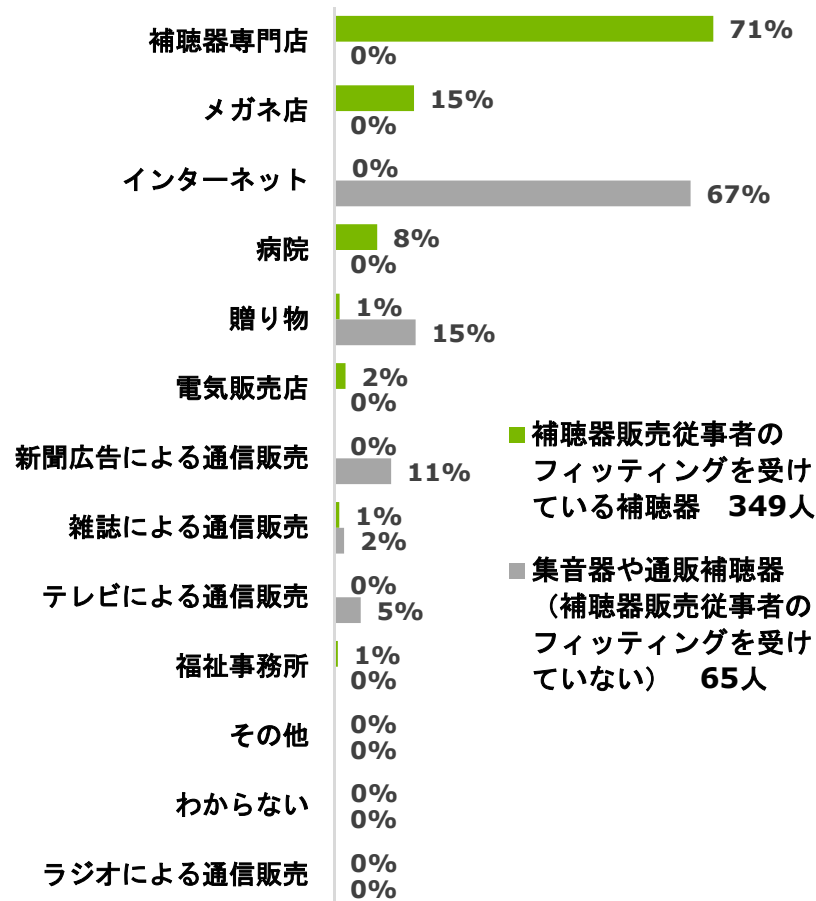
あなたの補聴器は以下のどちらに該当しますか？

集音器や通販補聴器（補聴器販売従事者のフィッティングを受けていない）：14%



補聴器所有者：421人

あなたのご使用中の補聴器はどこで購入されましたか？



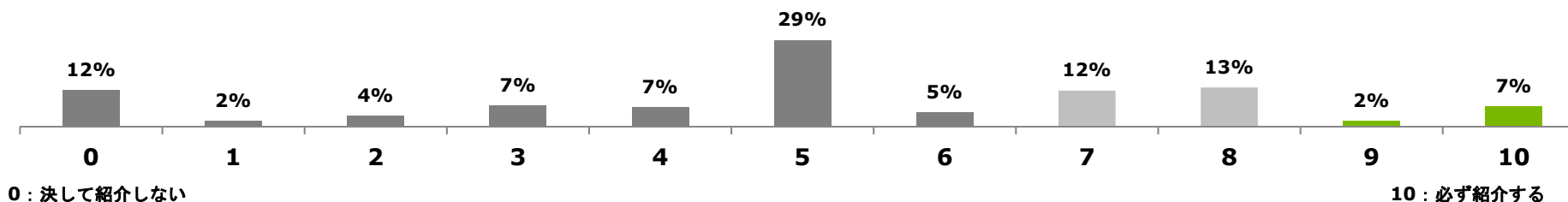
■ 補聴器販売従事者のフィッティングを受けている補聴器 349人

■ 集音器や通販補聴器（補聴器販売従事者のフィッティングを受けていない） 65人



購入した補聴器の販売店又は販売員を友人・知人に紹介する 気持ちは少ない (1)

あなたは今回購入した補聴器販売店又は販売員を友人・知人に紹介したいですか？
「必ず紹介する」から「決して紹介しない」までのどれでしょうか？ (11段階)



$$\begin{aligned}
 \text{NPS} &= \text{PROMOTERS} - \text{DETRACTORS} = -58 \\
 (\text{顧客推奨率}) & \quad (\text{推奨者}) \quad (\text{批判者}) \quad (\text{顧客推奨率})
 \end{aligned}$$

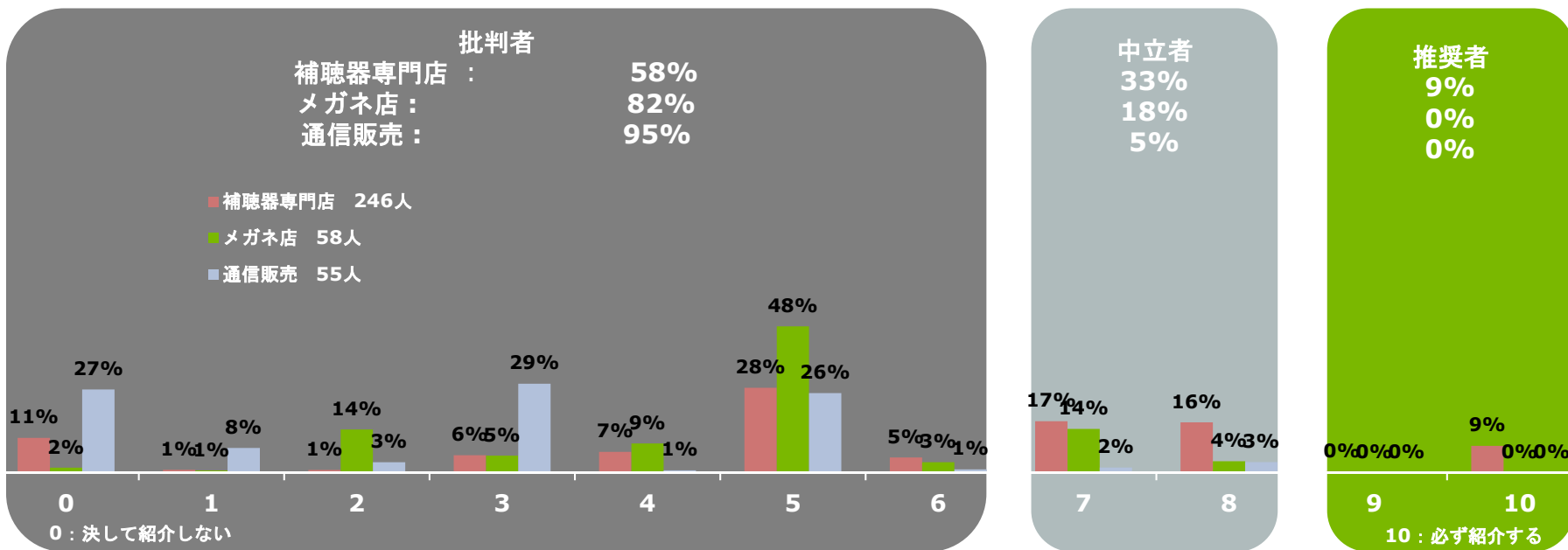
< Net Promoter Score >

補聴器所有者 421人



購入した補聴器の販売店又は販売員を友人・知人に紹介する気持ちは少ない (2)

あなたは今回購入した補聴器販売店又は販売員を友人・知人に紹介したいですか？
「必ず紹介する」から「決して紹介しない」までのどれでしょうか？(11段階)

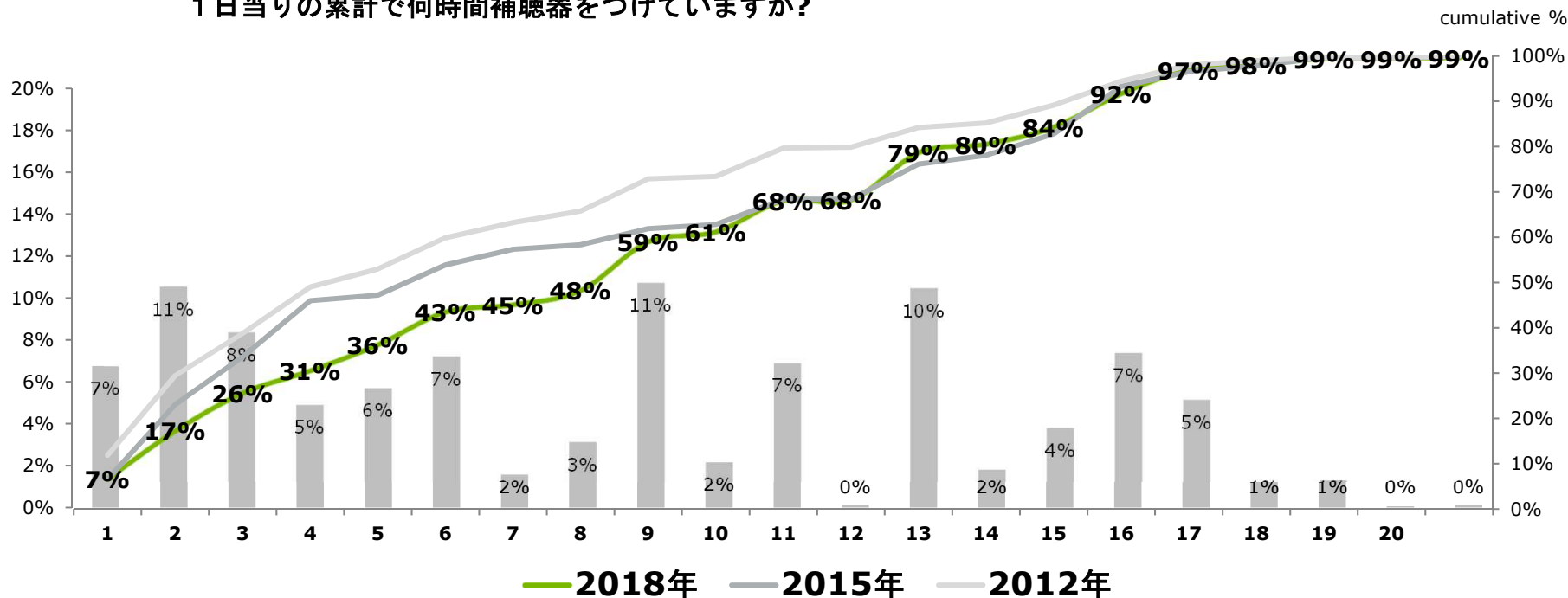


顧客推奨率 (NPS) = 推奨者 (PROMOTERS) - 批判者 (DETRACTORS)

補聴器専門店: -49
メガネ店: -82
通信販売: -95

補聴器は一日平均 7.6 時間使用されている 傾向として使用時間は伸びている

1 日当りの累計で何時間補聴器をつけていますか？



1日の平均補聴器使用時間

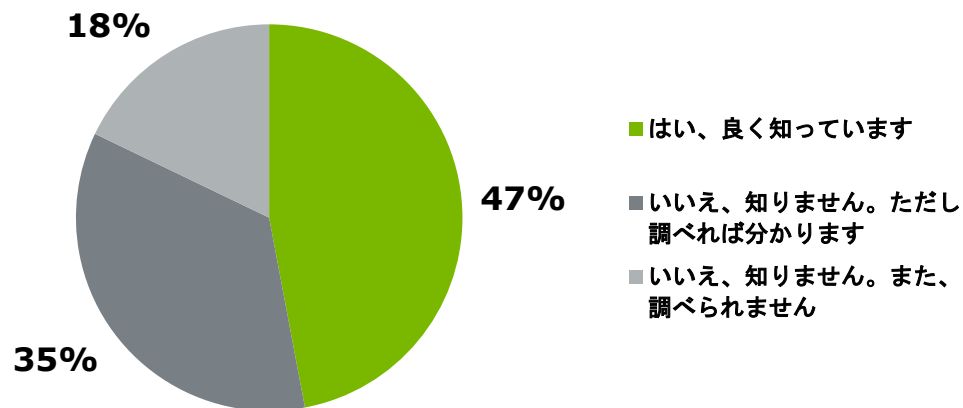
2018 : 7.6 時間
2015 : 6.8 時間
2012 : 5.7 時間

補聴器所有者
2018: 421人
2015: 416人
2012: 450人



補聴器所有者の47%が現在使用している補聴器のブランドを知っている

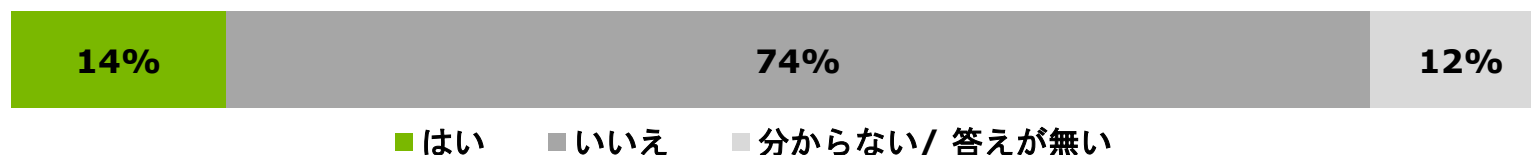
あなたは現在使用している補聴器のブランドを知っていますか？



補聴器所有者 421人

補聴器所有者の**16%** が補聴器の周辺機器を使用しており、 そのうち **63%** の使用者が満足している

補聴器の周辺機器（テレビストリーマー・リモートコントロール・携帯のアプリケーション等）を補聴器販売店から勧められたことはありますか（補聴器所有者 421人）



補聴器の周辺機器（テレビストリーマー・リモートコントロール・携帯のアプリケーション等）を使用していますか？（補聴器所有者 421人）

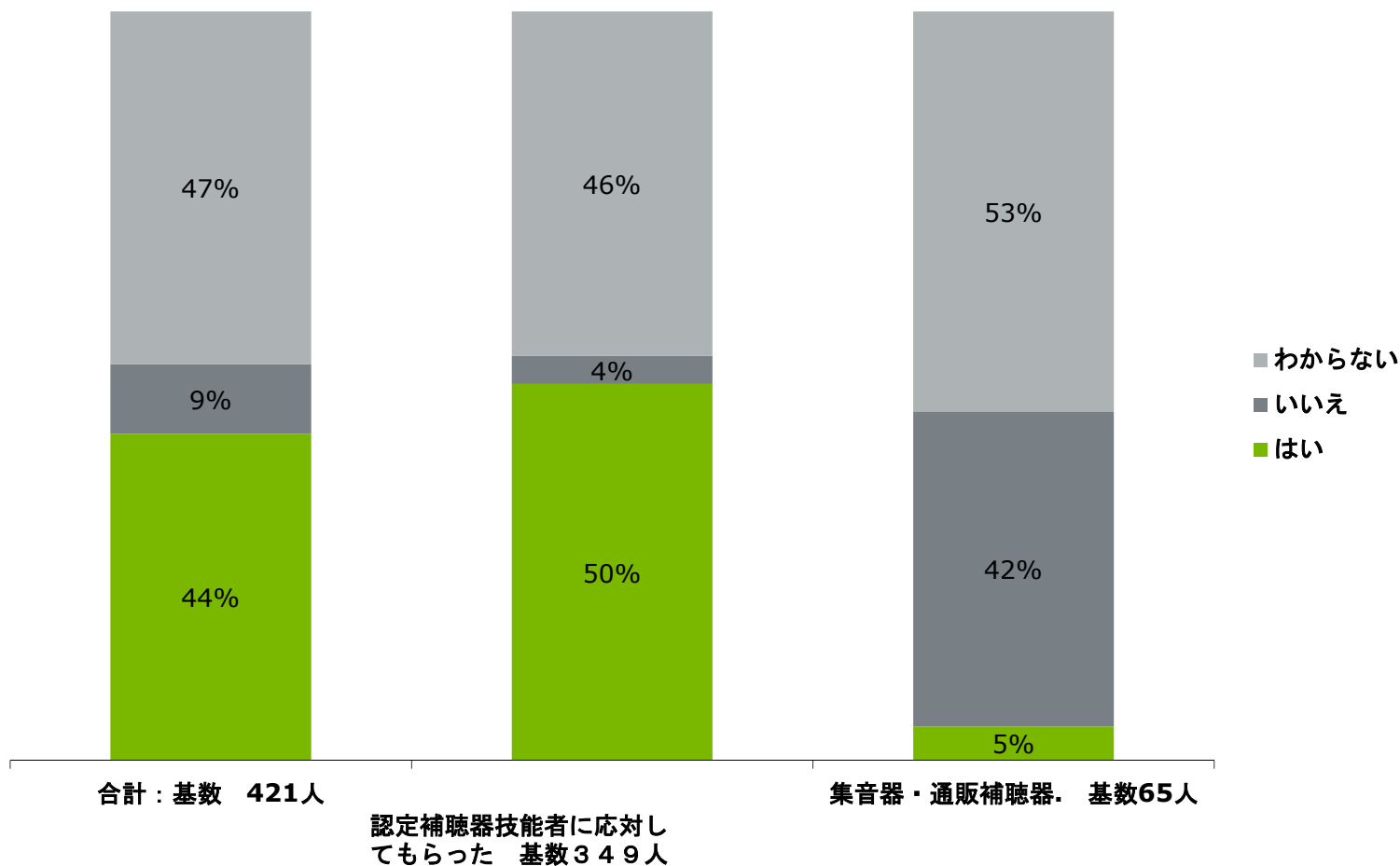


補聴器周辺機器使用者 49人
使用中の補聴器周辺機器に満足されていますか？



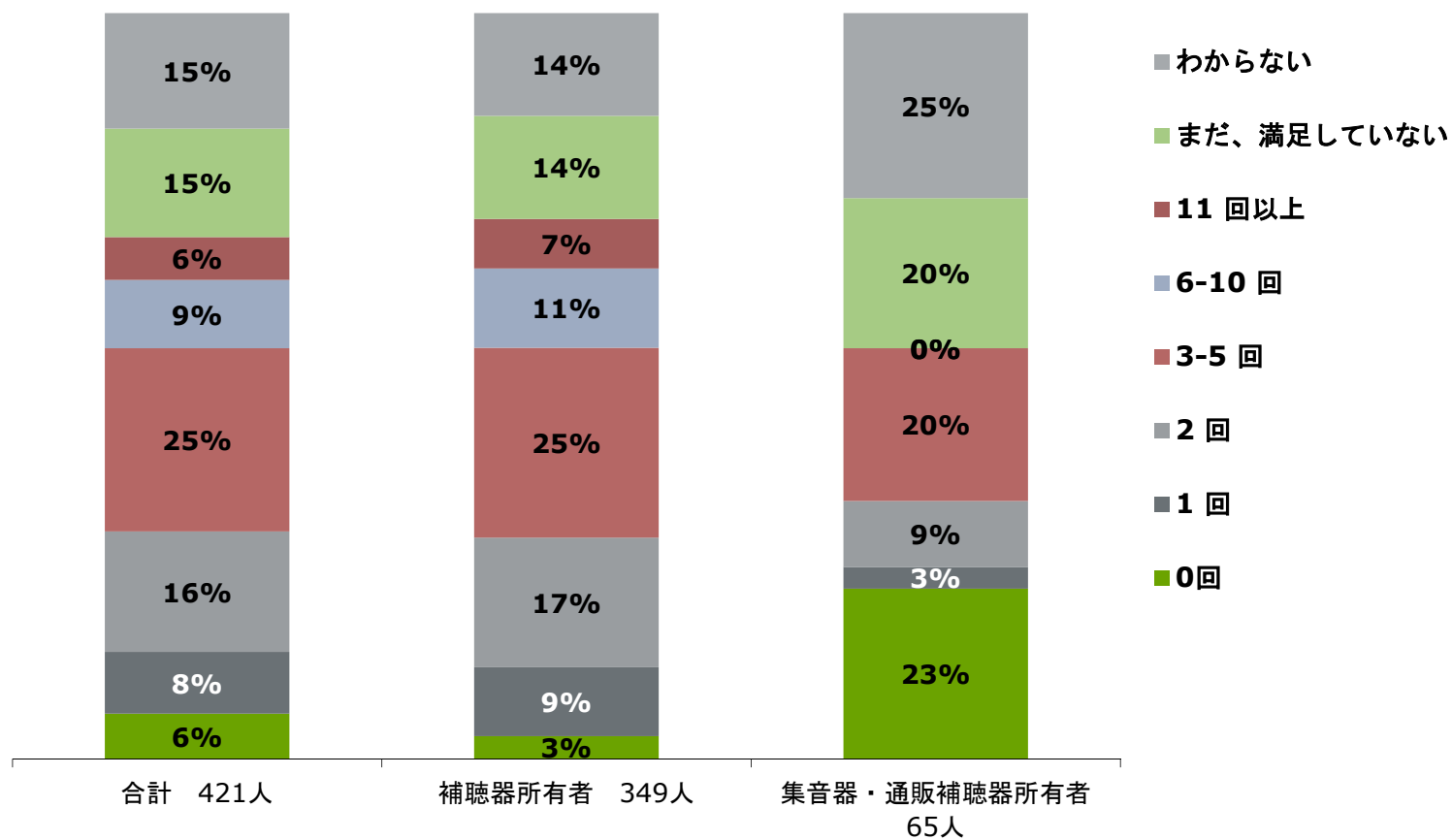
補聴器購入者の44%が「認定補聴器技能者」に補聴器の調整をしてもらったことを認識している

あなたが補聴器を購入した時に対応した人は「認定補聴器技能者」でしたか？



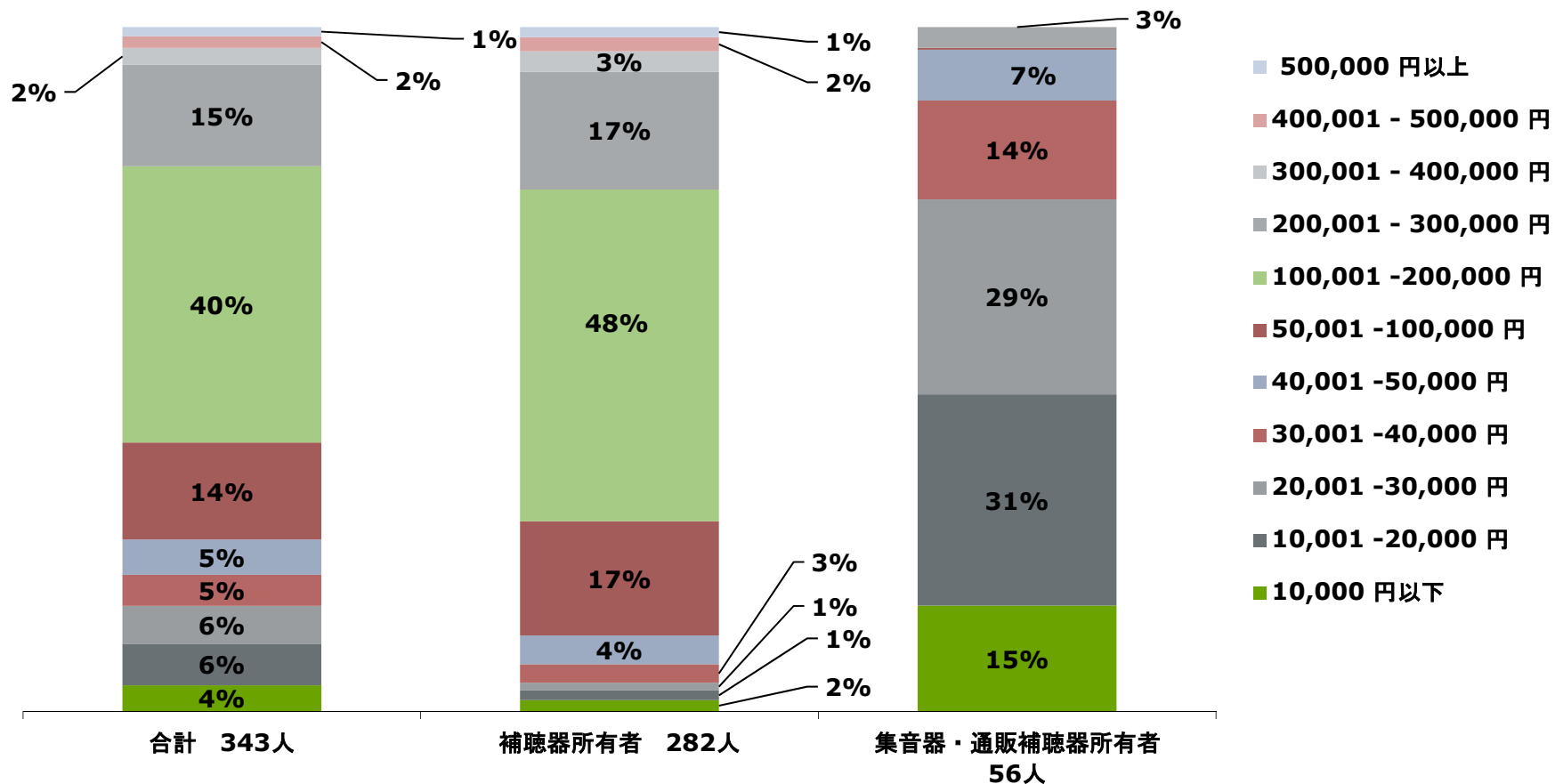
補聴器の調整は 3~10 回必要であった

あなたが満足するまでに補聴器の調整を何回しましたか？



補聴器1台の平均価格は 15万円

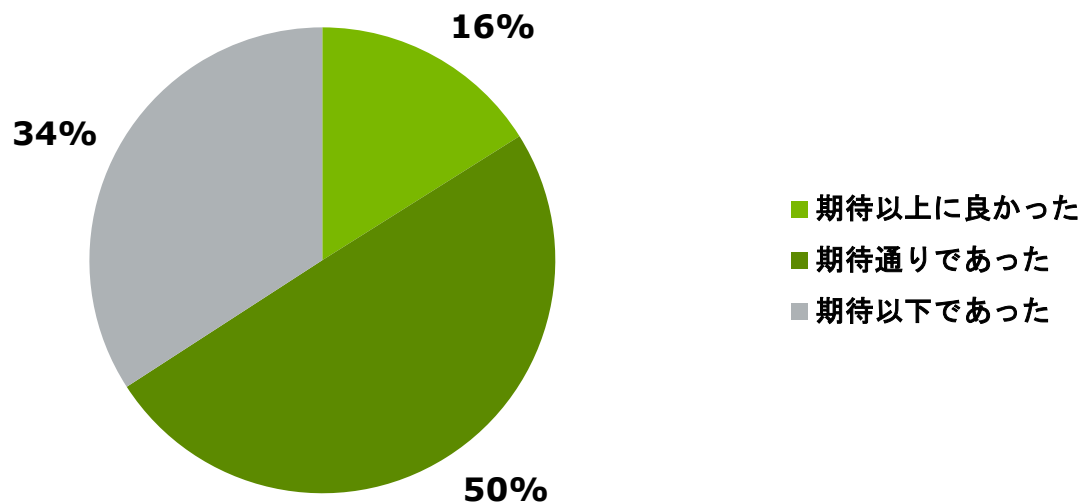
補聴器を購入したときの価格はいくらでしたか？（1台当たりの価格）



補聴器の満足度及び満足度の影響因子

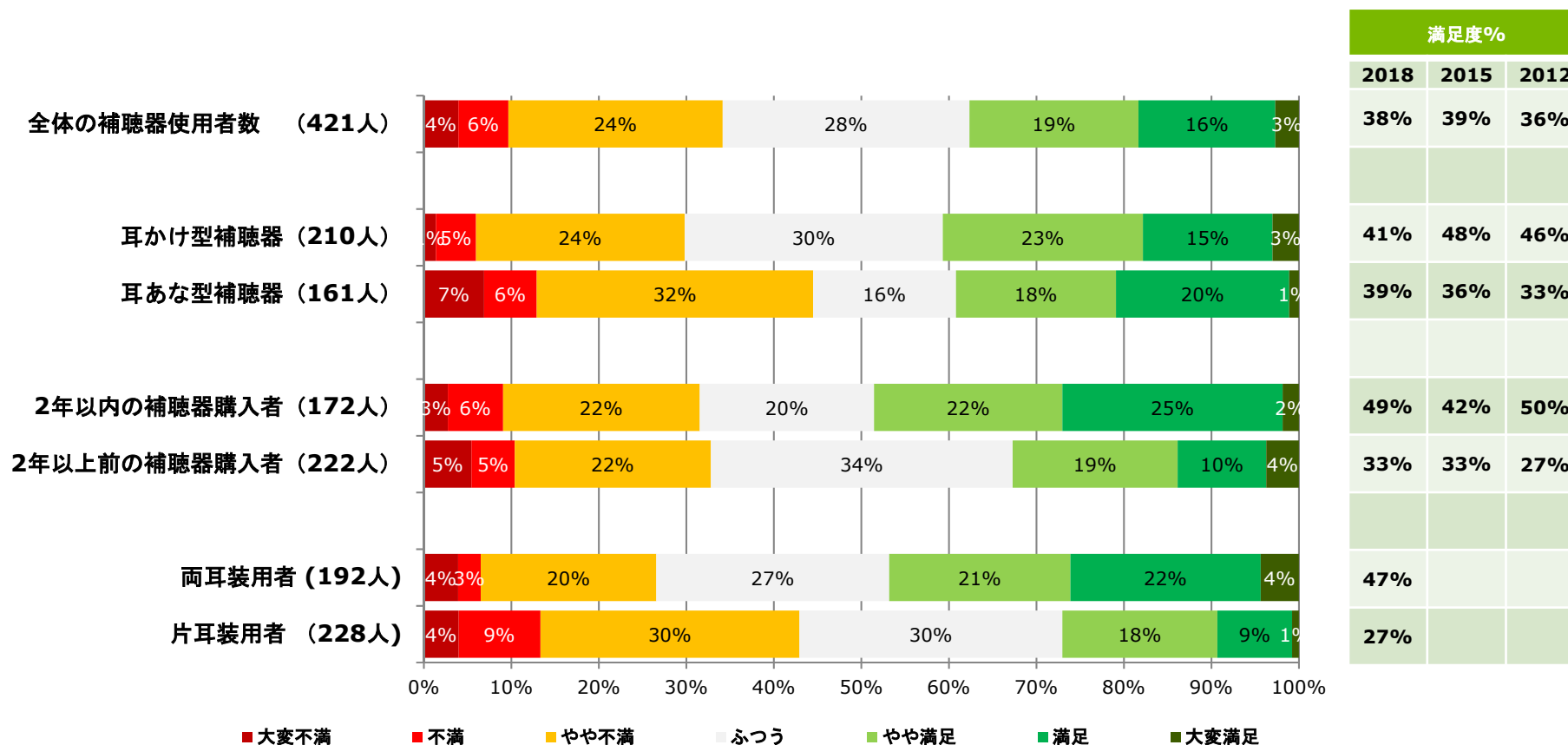
補聴器所有者の**66%**が、補聴器が期待していた通り、あるいは期待していた以上に良く動作しているとの印象を持っている

補聴器に対する期待は、補聴器の使用前、使用後ではいかがでしたか？



基数:421人

補聴器の全体的満足度は38%



| 満足度% | | |
|------|------|------|
| 2018 | 2015 | 2012 |
| 38% | 39% | 36% |
| 41% | 48% | 46% |
| 39% | 36% | 33% |
| 49% | 42% | 50% |
| 33% | 33% | 27% |
| 47% | | |
| 27% | | |

● 日本固有の質問

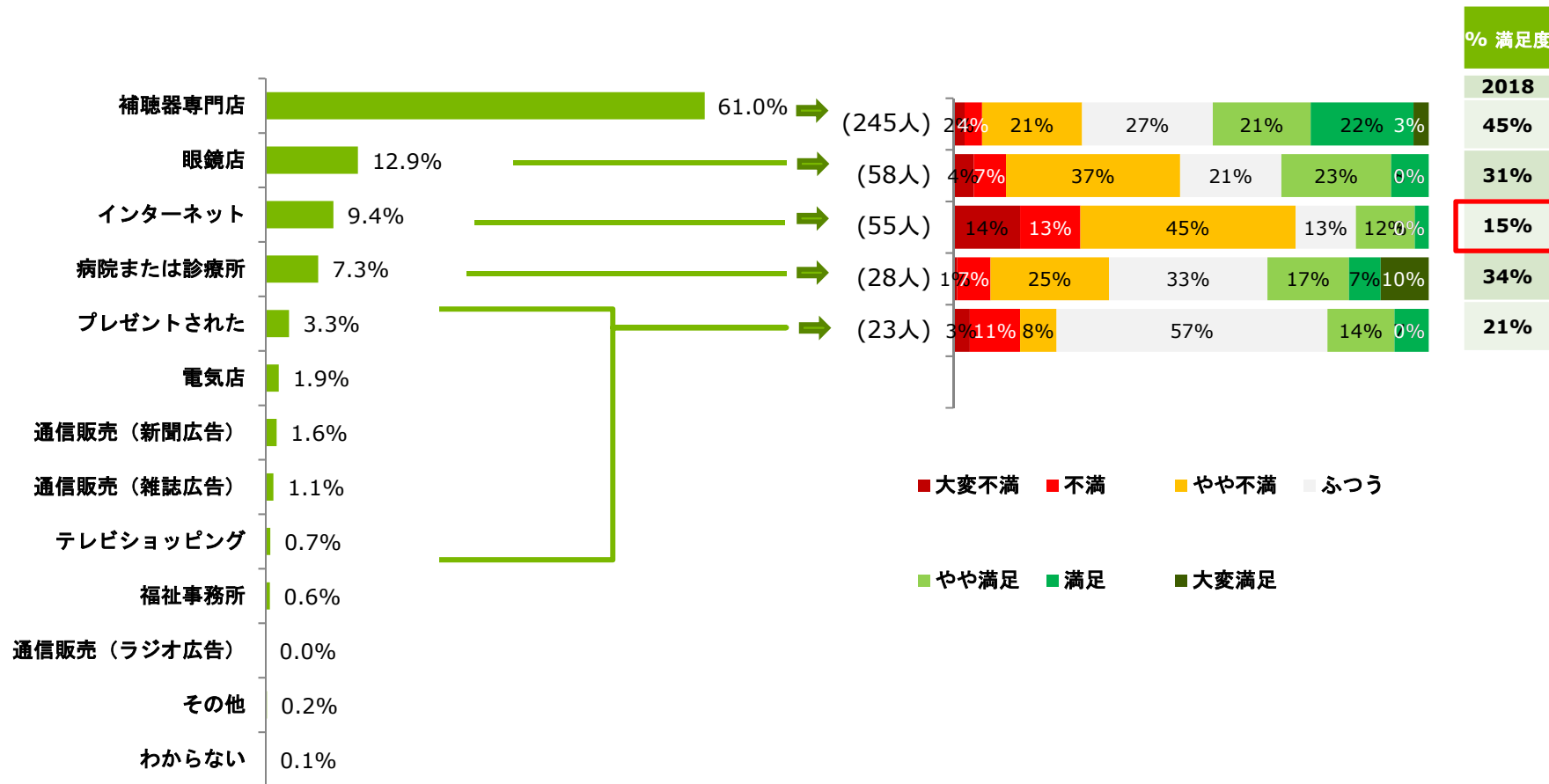


補聴器専門店で購入した補聴器は他の場所で購入したものより満足度は高い

インターネットで購入した補聴器の満足度は著しく低い

あなたの補聴器はどこで購入しましたか？

補聴器の全体的満足度



基数 421人

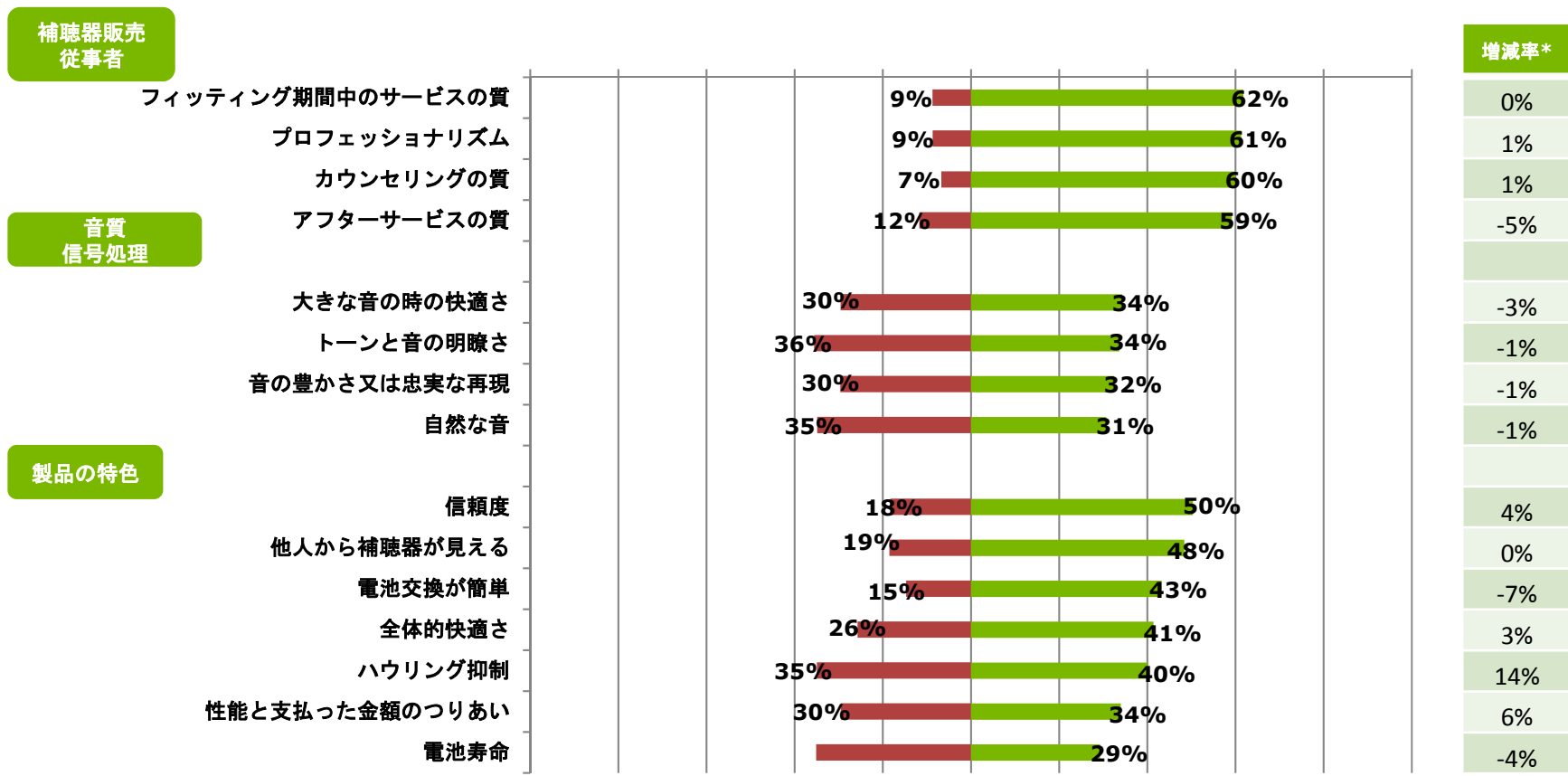
● 日本固有の質問



補聴器の全体的満足度に関する各国の比較

| | イギリス | ベルギー | オランダ | ポーランド | フランス | ドイツ | スイス | デンマーク | ノルウェー | イタリア | 日本 |
|----------------------|------|------|------|-------|------|-----|-----|-------|-------|------|-----|
| 全体的満足度 2012 | 72% | - | - | - | 80% | 77% | 84% | 70% | 72% | 70% | 36% |
| 全体的満足度 2015/16/17 | 70% | 80% | 73% | 80% | 84% | 77% | 81% | 71% | - | 79% | 39% |
| 全体的満足度 2018 | 74% | | | | 82% | 76% | | | | | 38% |

現在所有している補聴器の満足度（1）



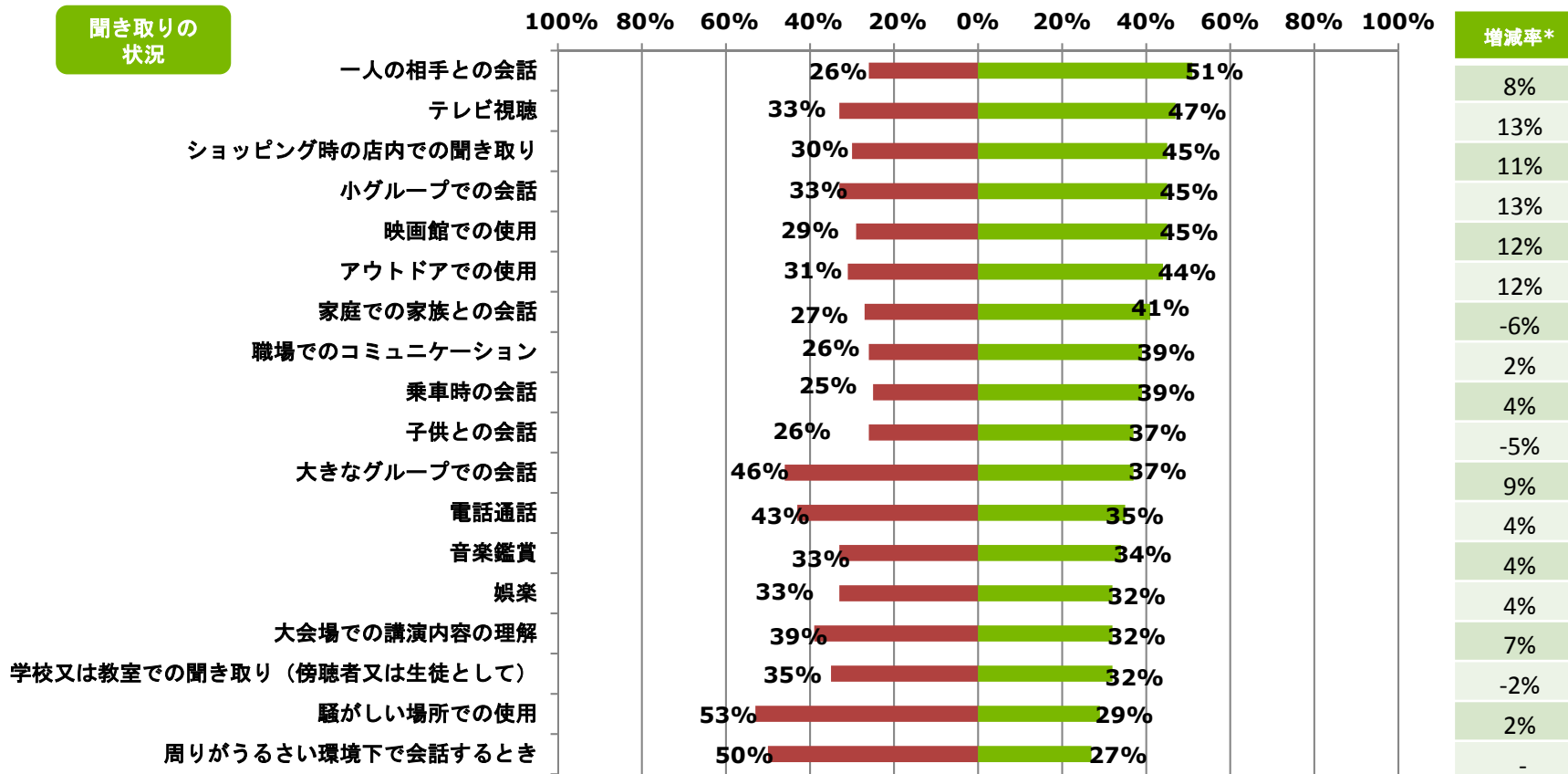
不満足 = 大変不満 + 不満 + やや不満
 満足 = やや満足 + 満足 + 大変満足
 ■ 不満 ■ 満足

* JapanTrak 2015と比較した満足度増減率%

補聴器所有者 基数 421人



現在所有している補聴器の満足度（2）

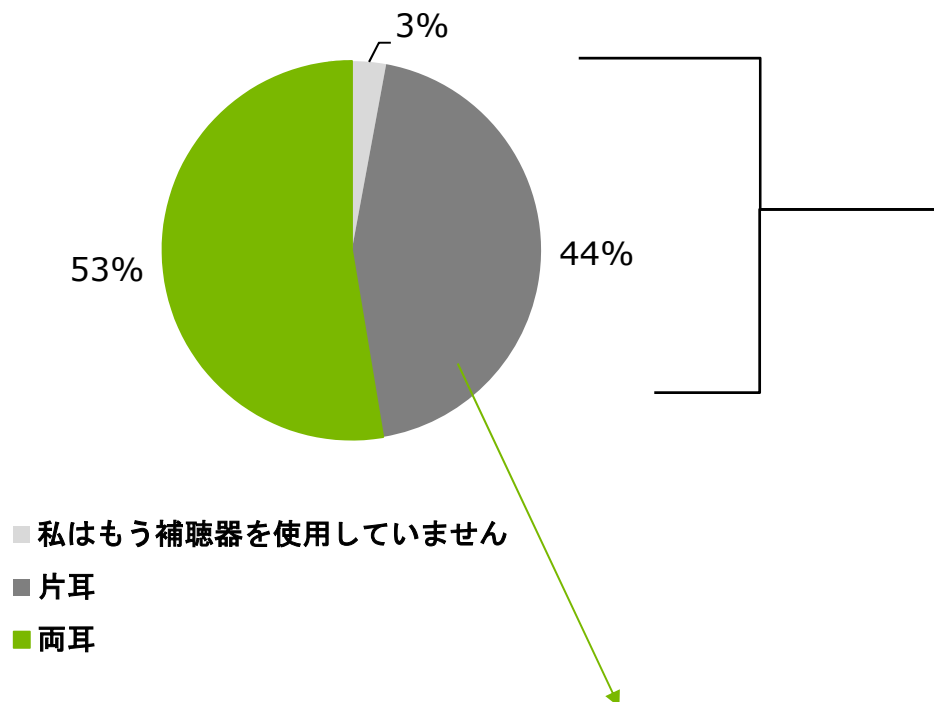


* JapanTrak 2015と比較した満足度増減率%

補聴器所有者 基数421人

補聴器を片耳だけ装用している人の多くは両耳に補聴器を装用しても効果は同じだと思ってる

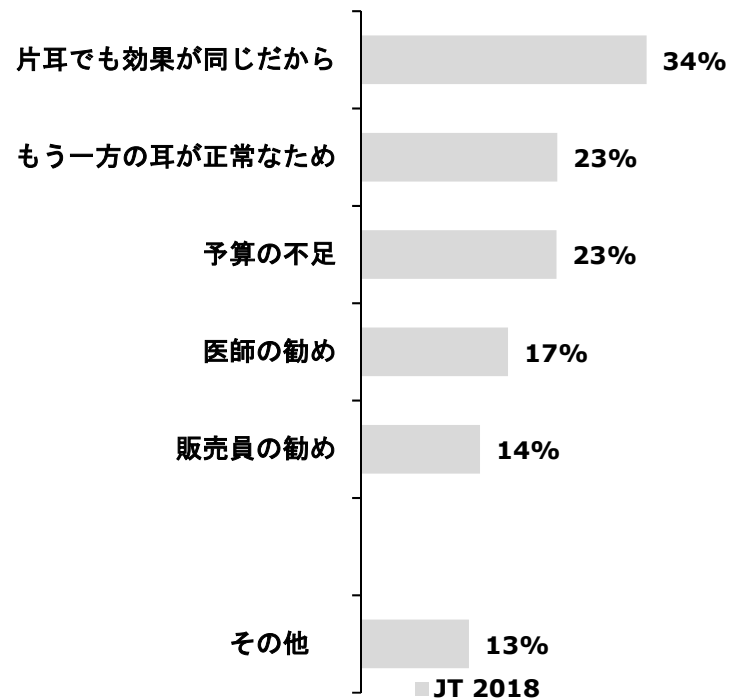
あなたは補聴器を片耳だけに装用していますか？
両方の耳に装用していますか？



- 私はもう補聴器を使用していません
- 片耳
- 両耳

片耳装用者の内84%は両耳が難聴と回答している

片耳だけ補聴器を装用している理由をお答えください

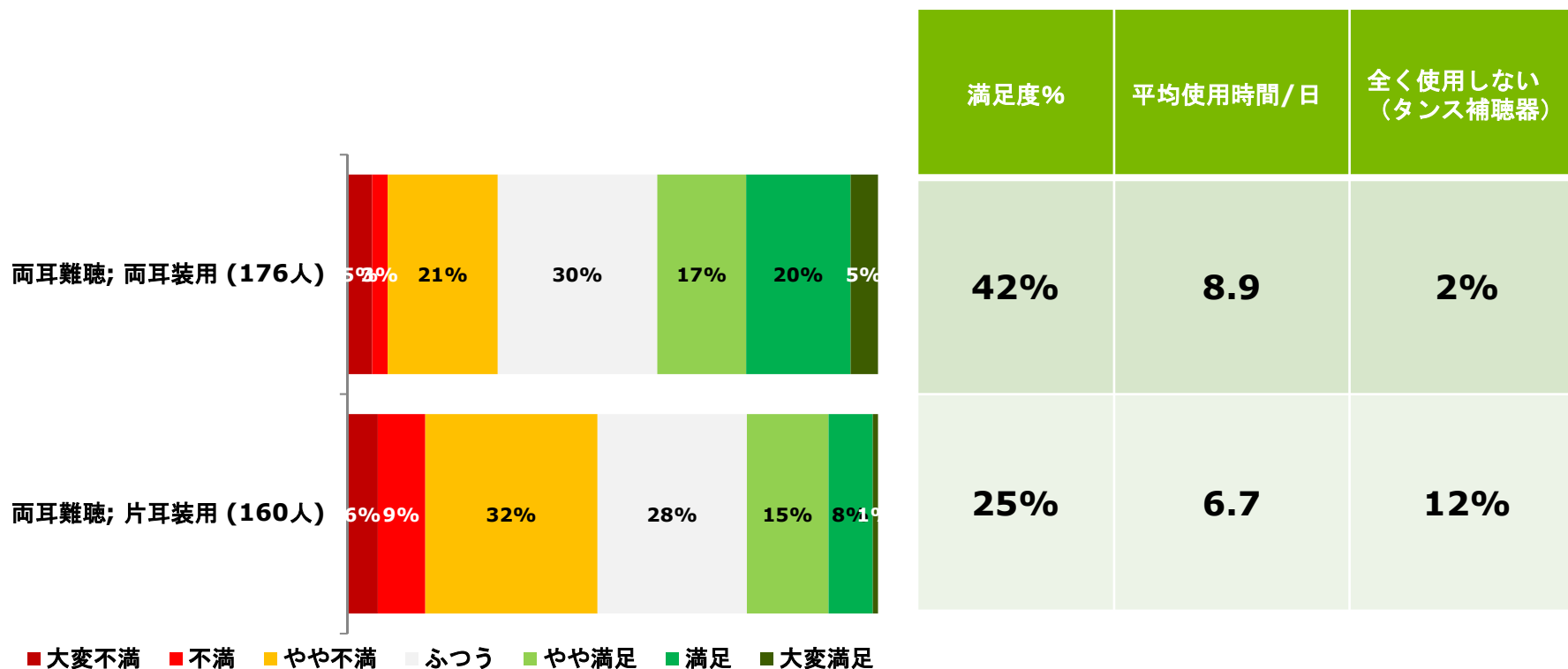


その他のうち70%はもう片方の耳は全く聞こえないから、と回答している

基数：補聴器装用者421 / 両耳装用者224

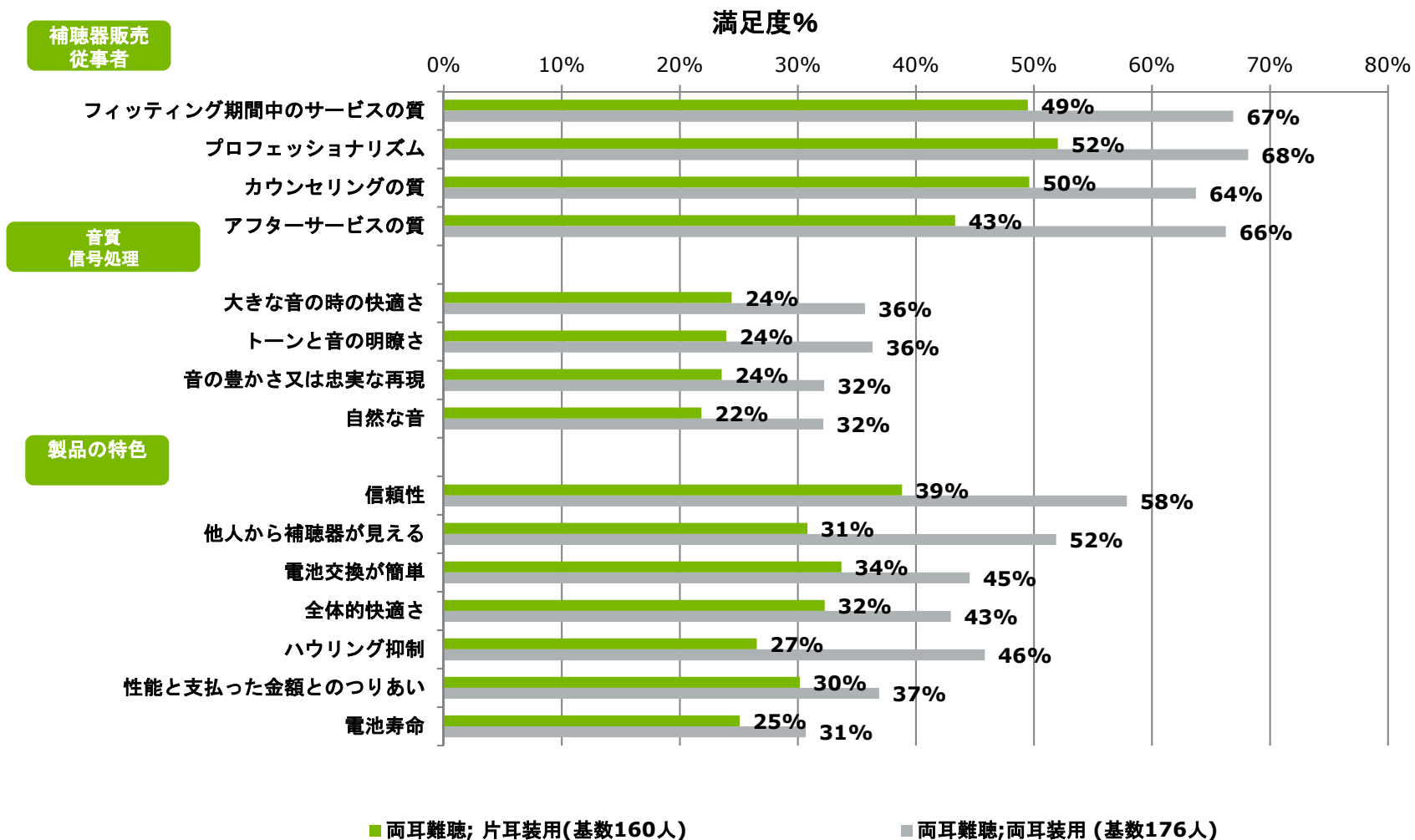


両耳装用者は片耳装用者に比較して補聴器の満足度は高い 1日の使用時間が長く、補聴器を使用しない割合も低い



現在使用している補聴器の満足度 (1)

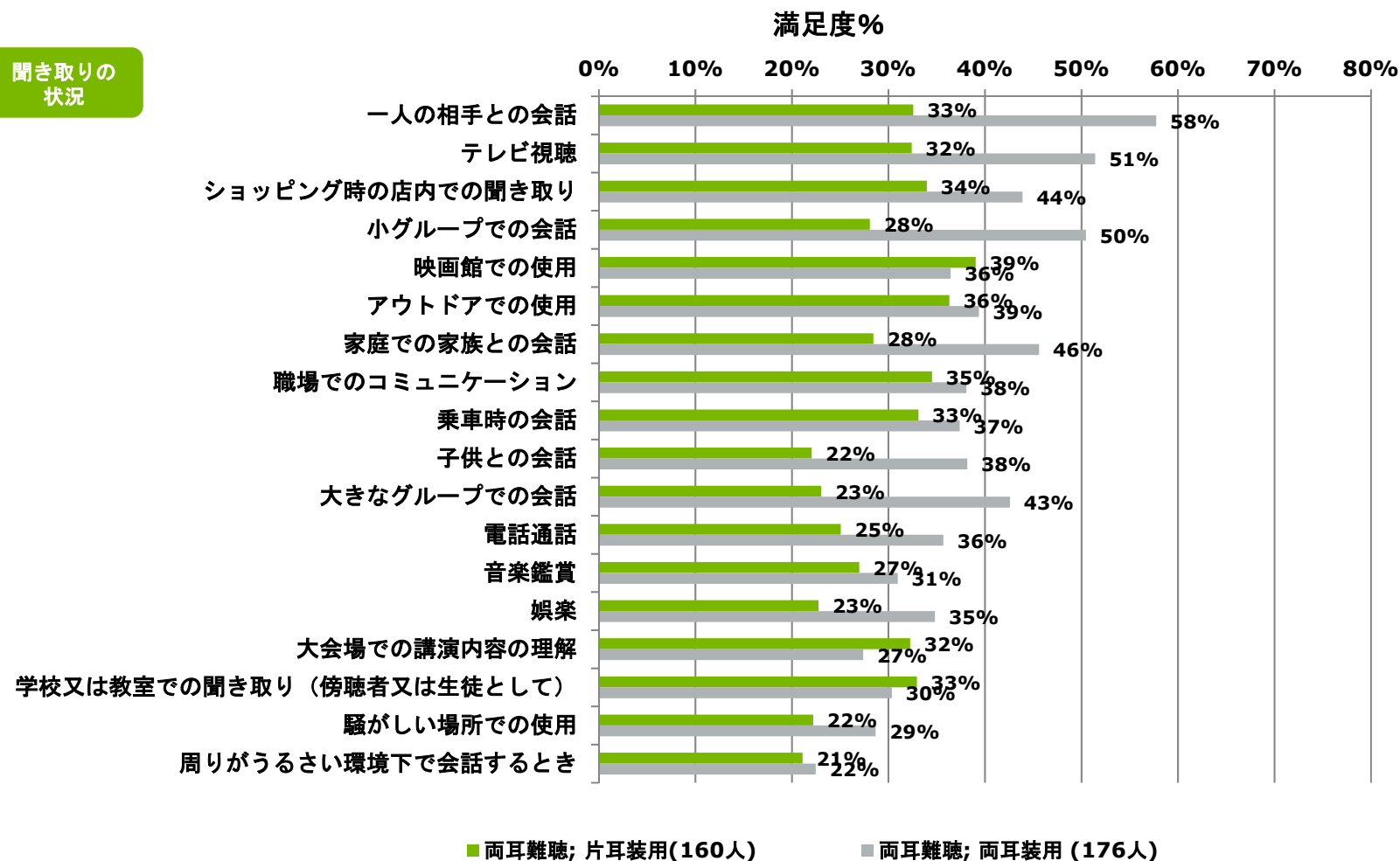
両耳装用 対 片耳装用



現在使用している補聴器の満足度 (2)

両耳装用 対 片耳装用

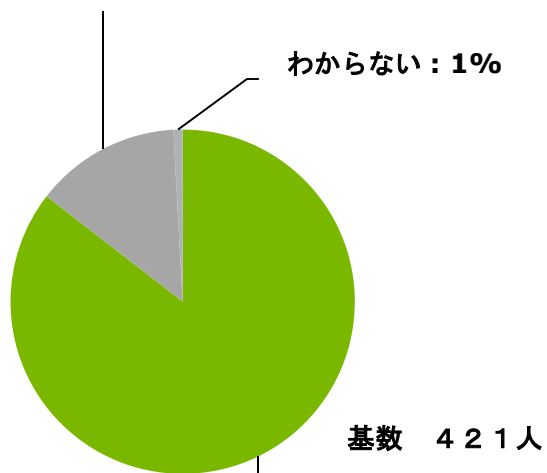
聞き取りの
状況



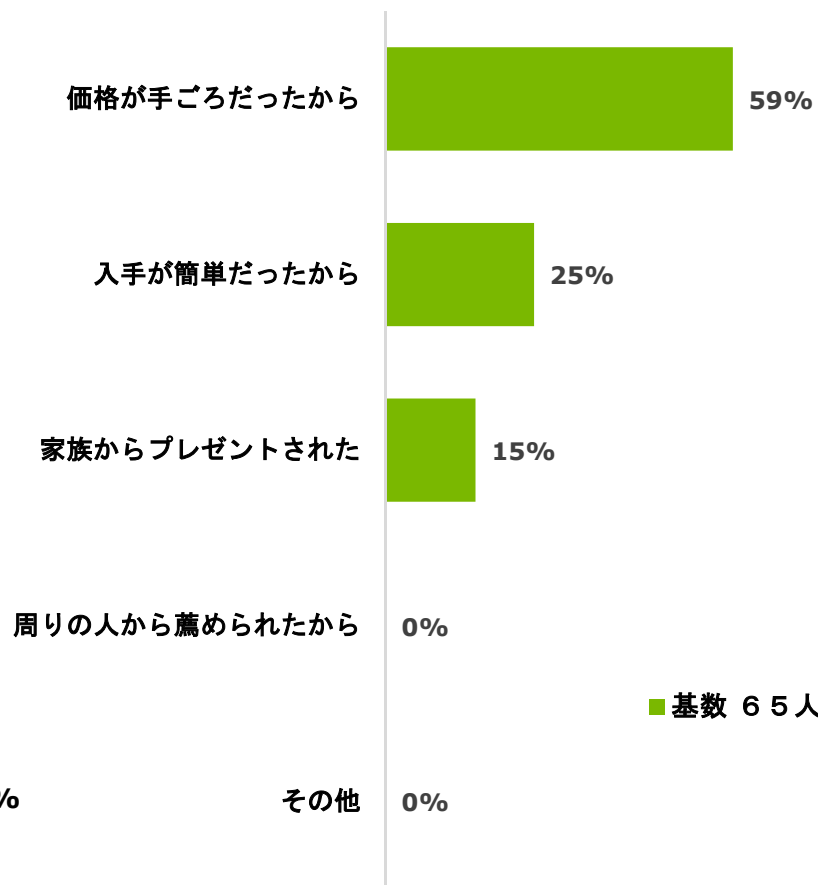
集音器/通販補聴器を購入した人は価格や入手が容易だったからと考えている

あなたの補聴器は以下のどれに該当しますか？

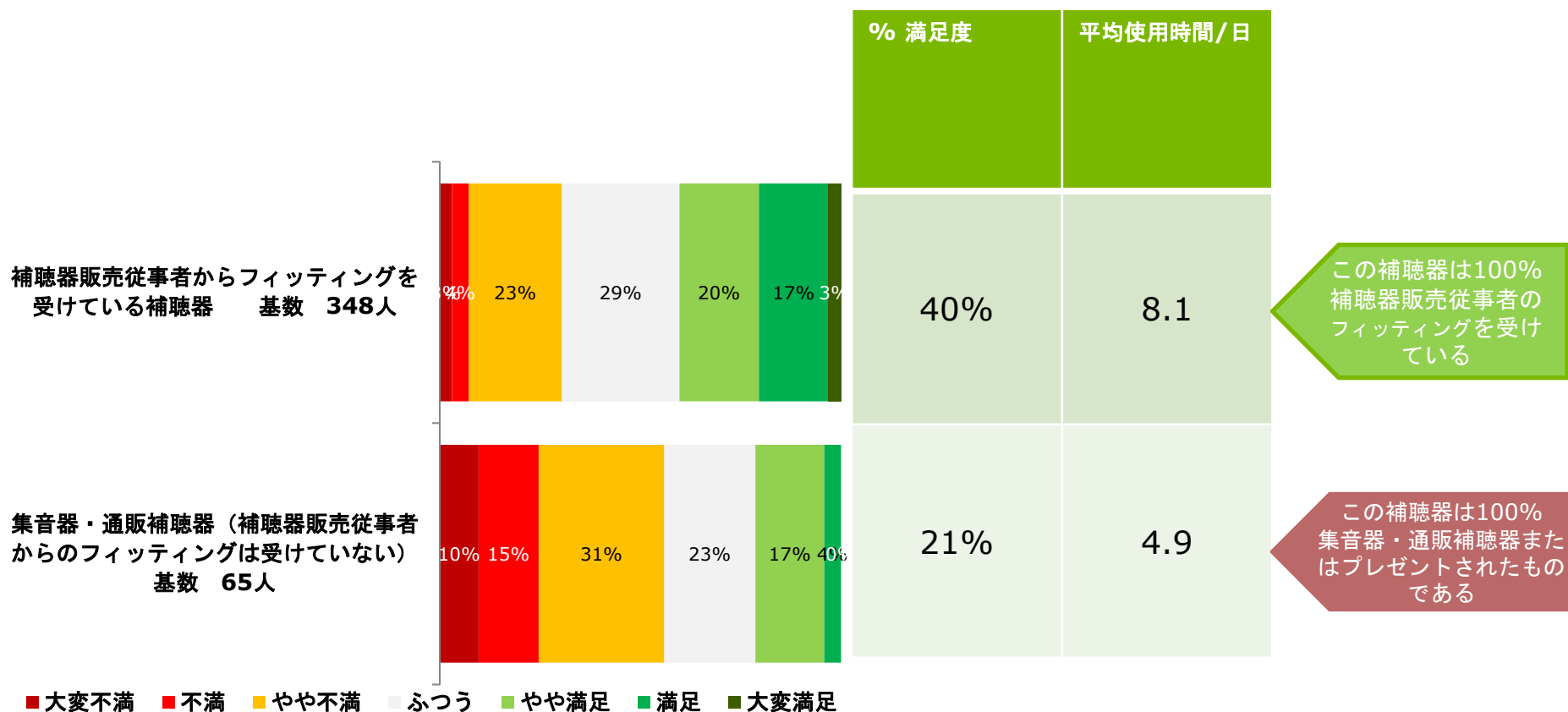
集音器・通販補聴器（補聴器販売従事者からフィッティングを受けていない補聴器）：14%



補聴器販売従事者からフィッティングを受けている補聴器：85%

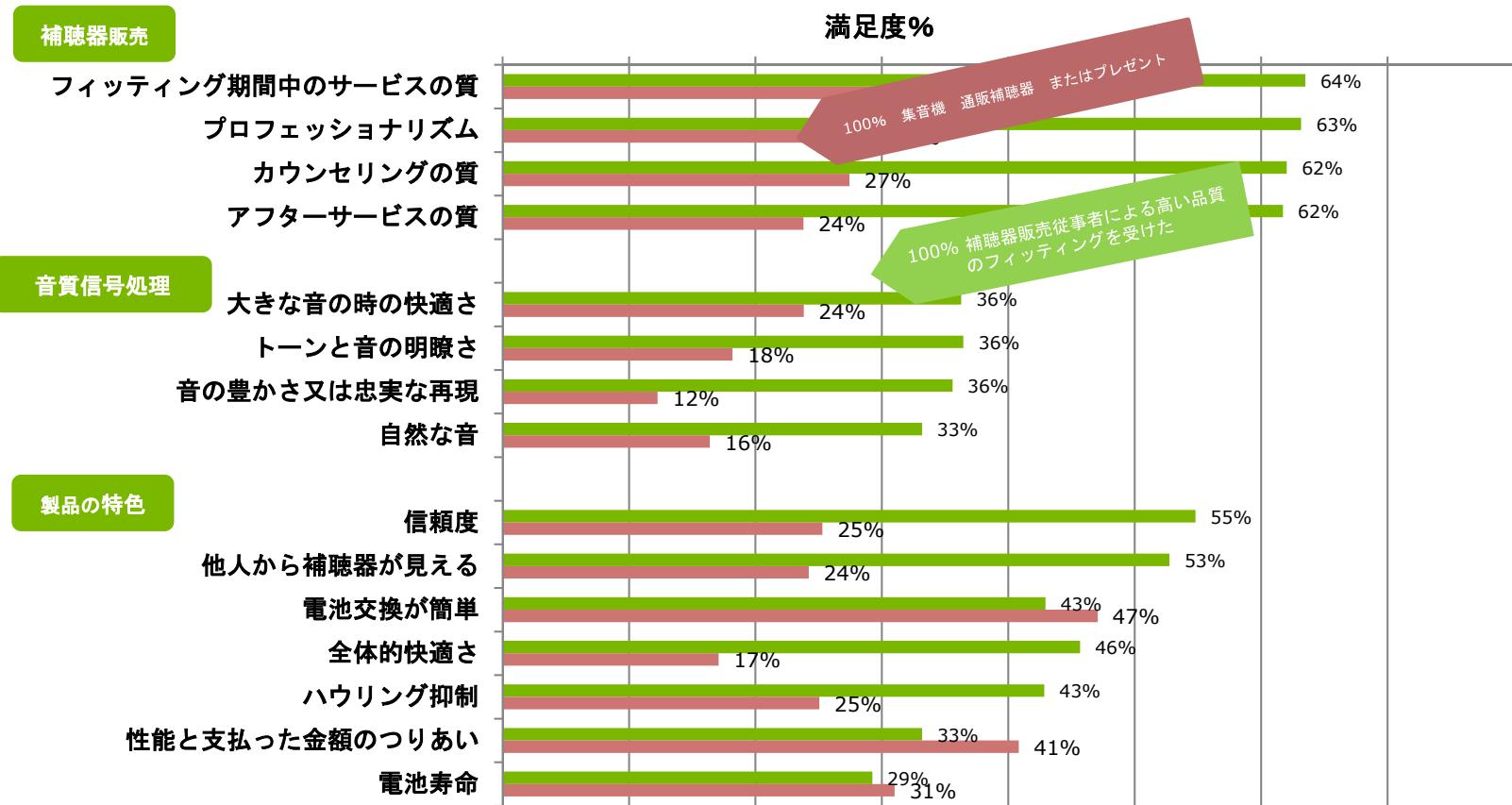


補聴器販売従事者からフィッティングを受けて購入した補聴器は 集音器/通販補聴器よりもその満足度はより高い



現在使用している補聴器の満足度（1）

補聴器 対 集音器/通販補聴器



■ 補聴器販売店でフィッティングを受けて入手した 基数348人

■ 集音器・通販補聴器で補聴器販売従事者によるフィッティングは受けていない基数65人

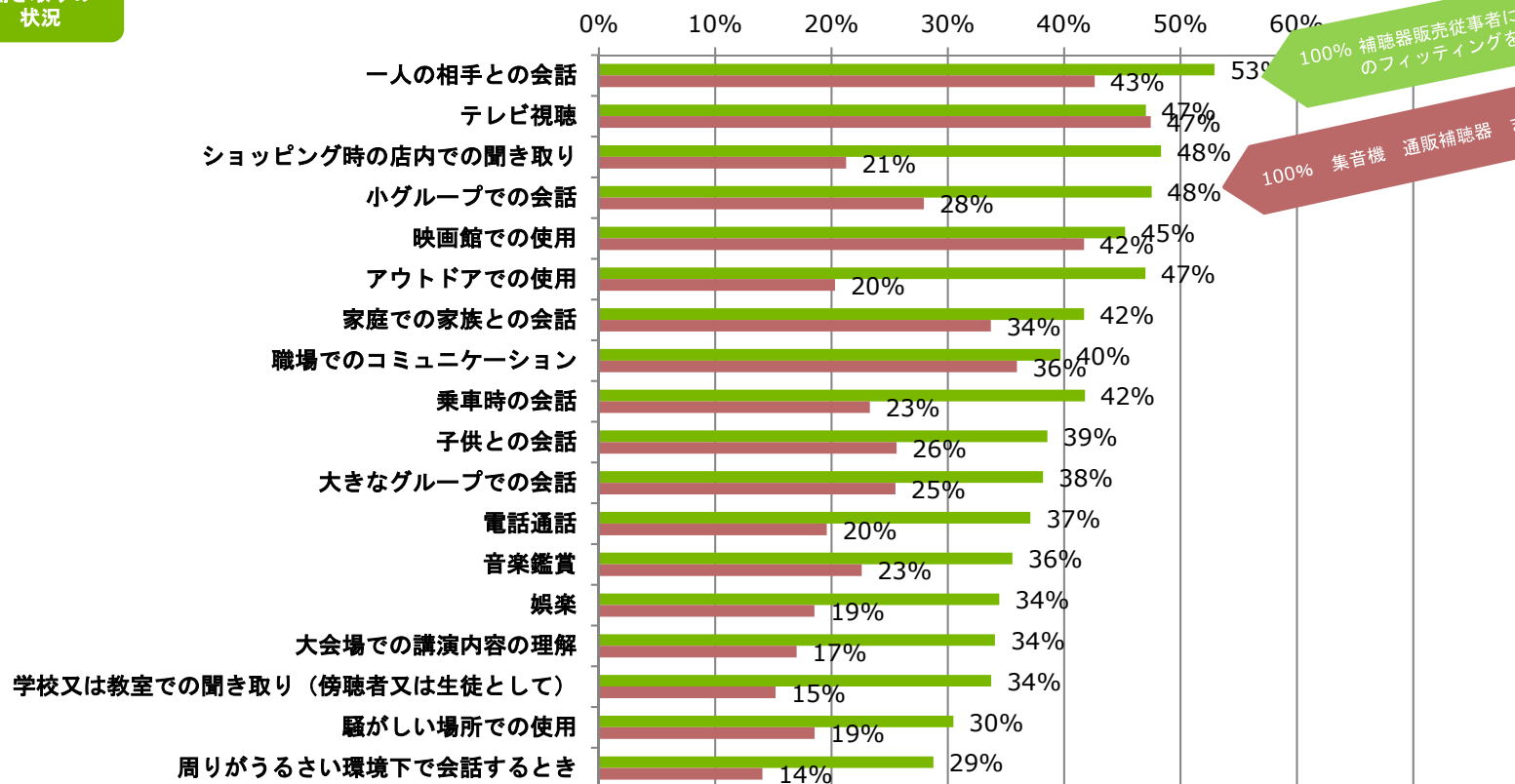


現在使用している補聴器の満足度（２）

補聴器 対 集音器/通販補聴器

聞き取りの状況

満足度%



100% 補聴器販売事業者による高い品質のフィッティングを受けた

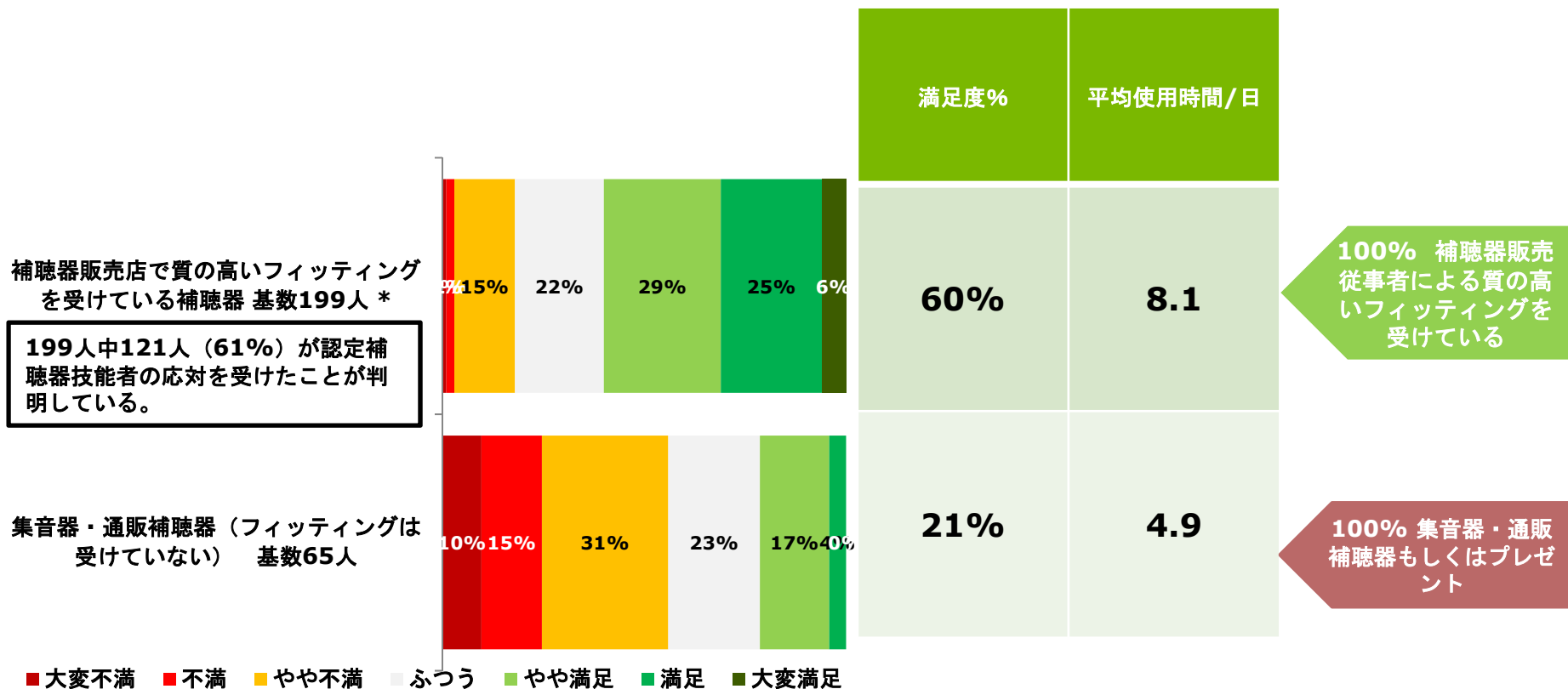
100% 集音機 通販補聴器 またはプレゼント

■ 補聴器販売店でフィッティングを受けて入手した 基数348人

■ 集音器・通販補聴器で補聴器販売事業者によるフィッティングは受けていない 基数65人



補聴器販売従事者（満足度調査の上位グループ）から質の高いフィッティングを受けて購入した補聴器の満足度は集音器/通販補聴器よりもその満足度はさらに高い



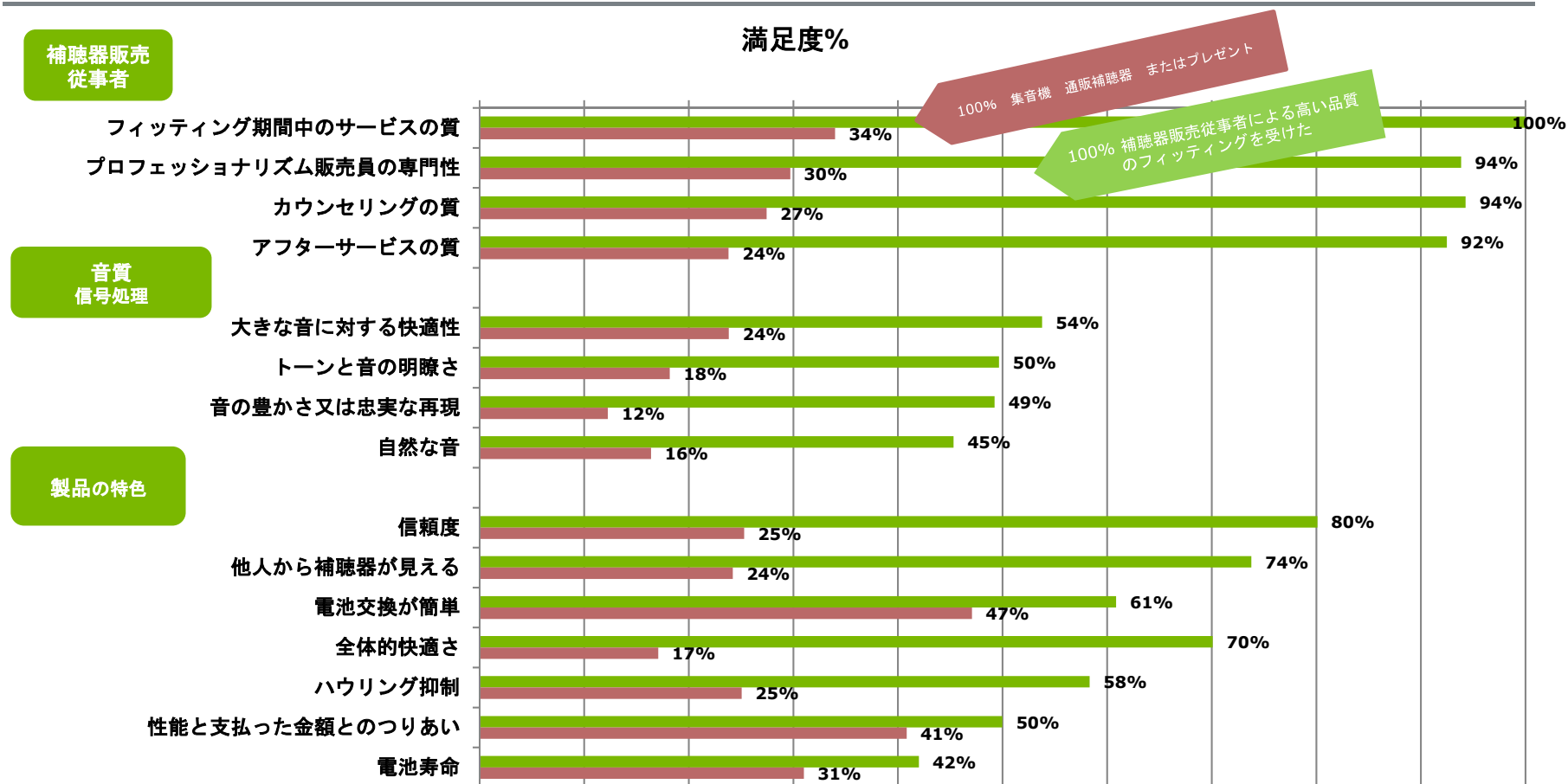
* a) 少なくとも一回は補聴器販売従事者によるフィッティングを受けている
 b) フィッティング期間中のサービスの質に満足している



現在使用している補聴器の満足度（1）

補聴器 対 集音器/通販補聴器

（補聴器販売従事者から質の高いフィッティング対応を受けている人の満足度）

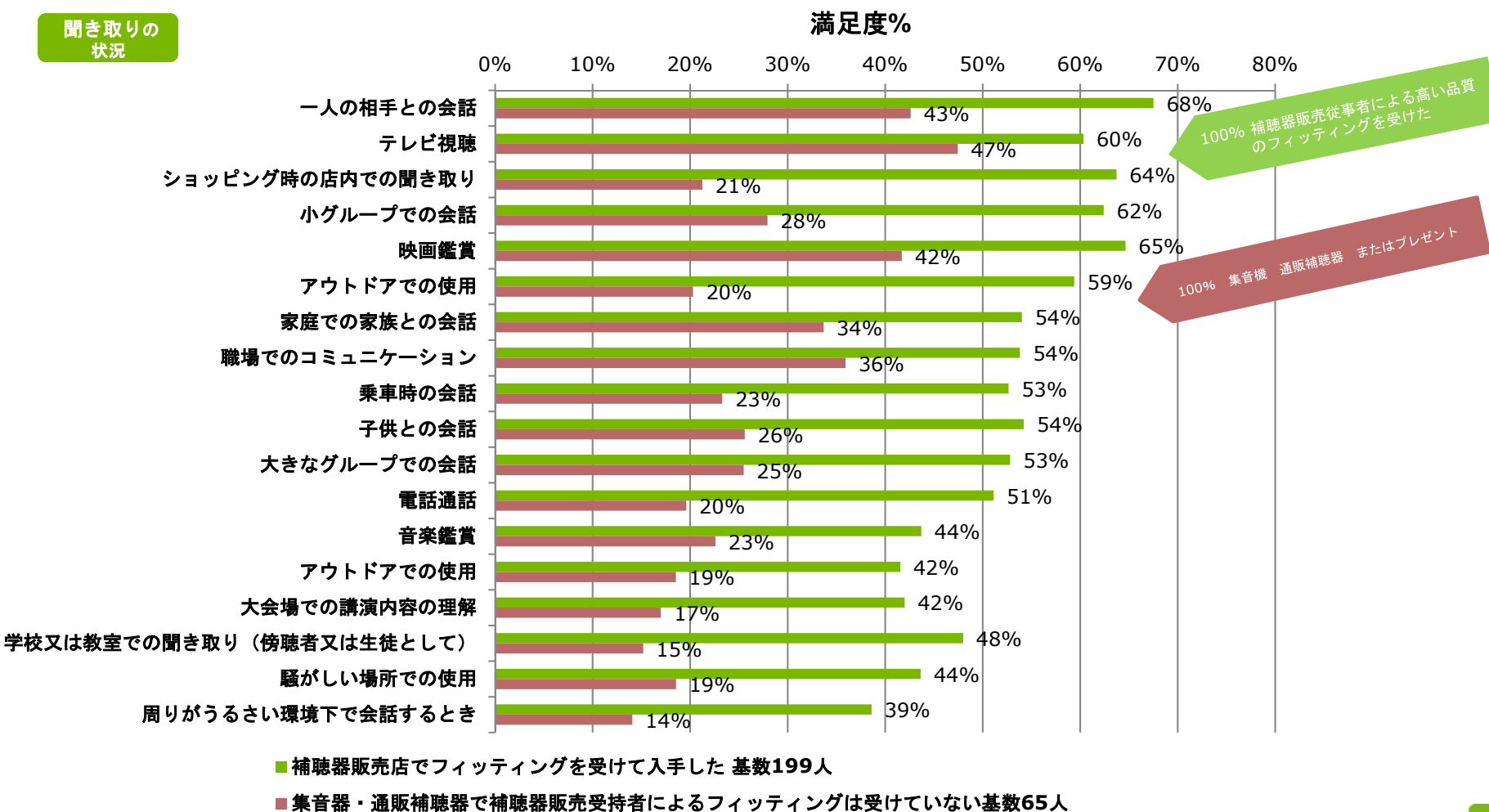


■ 補聴器販売店でフィッティングを受けて入手した 基数199人 ■ 集音器・通販補聴器で補聴器販売受持者によるフィッティングは受けていない基数65人

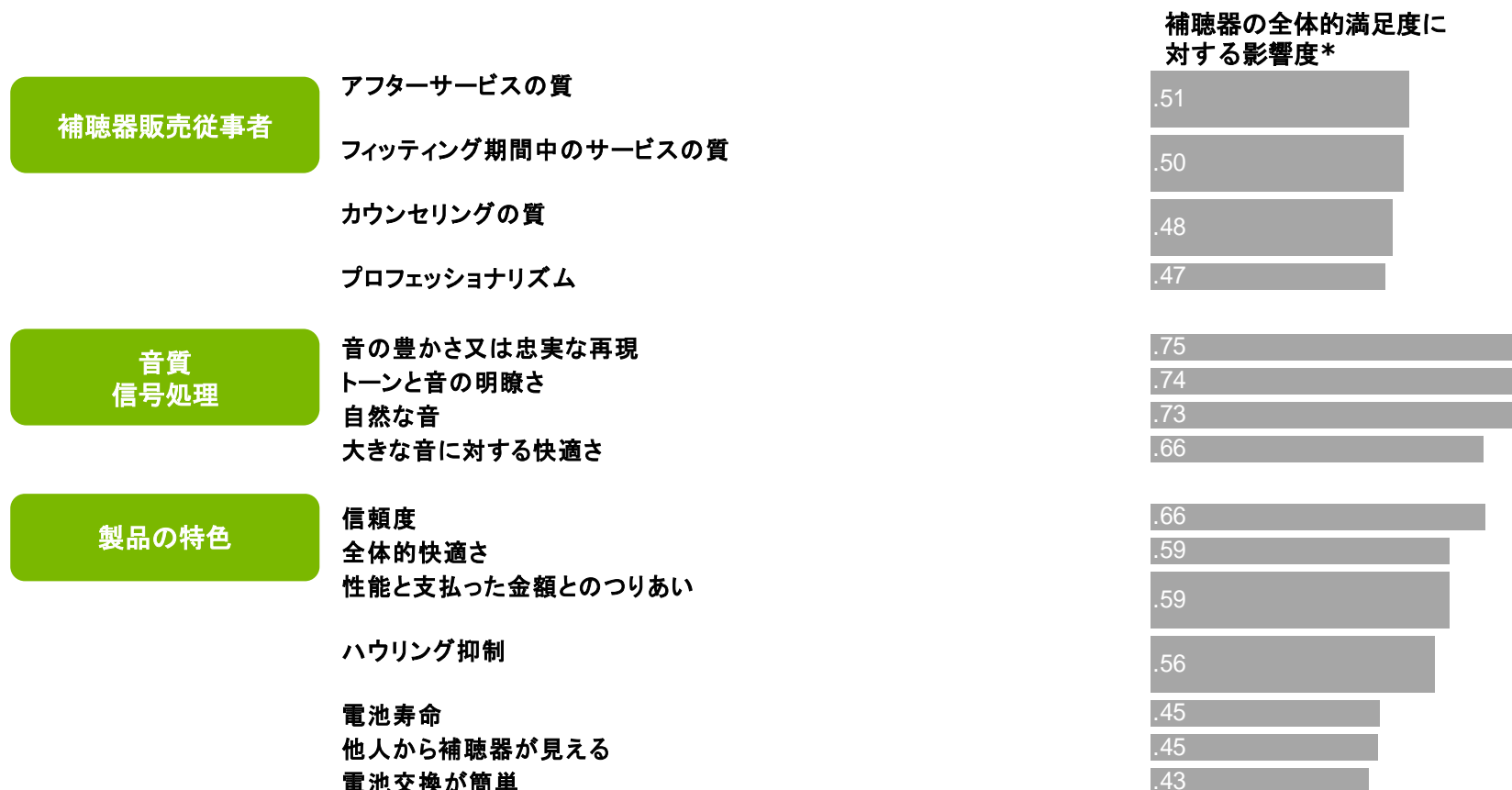
現在使用している補聴器の満足度（2）

補聴器 対 集音器/通販補聴器

（補聴器販売従事者から質の高いフィッティング対応を受けている人の満足度）



現在所有されている補聴器の満足度に影響を与える因子： 音質/信号処理に関連する項目が最も重要な因子である

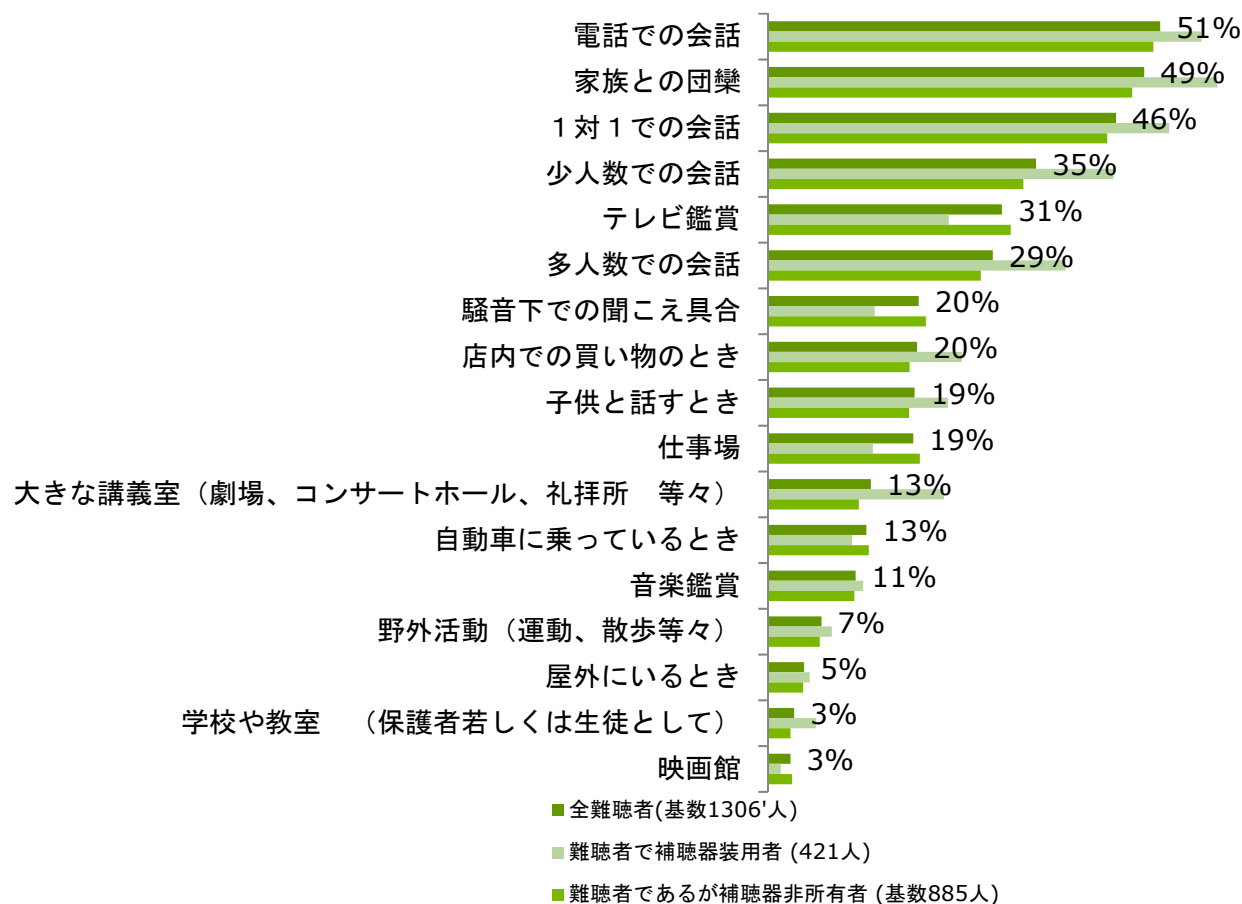


* 影響度は0を最小値、1を最大値として示される。0はその項目が全体的満足度に全く影響を与えていないことを示し、反対に1は完全に満足度に影響を与えていることを示している。表からは「自然な音」「音の豊かさ又は忠実な再現」が最も満足度に対する影響度が高い項目と読み取れる。



より良い聞き取りが必要とされる場面： 電話での会話, 家族との団らん等が上位に挙げられる

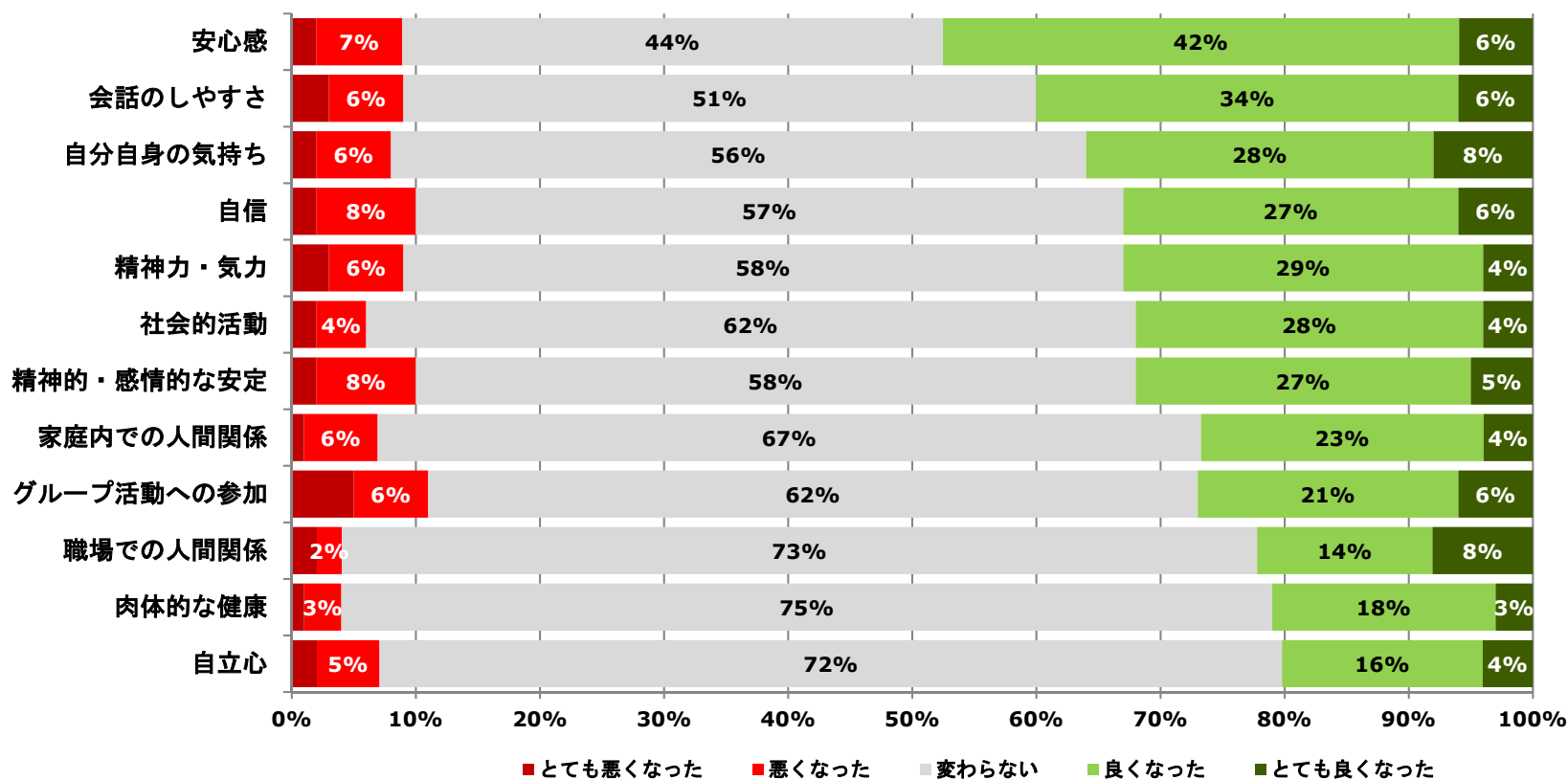
より良い聞き取りを最も必要とする場面はどれですか？（5項目まで選択可）



生活の質（QOL）向上に寄与する補聴器の役割

補聴器はさまざまな側面に対して大変良い影響を与えている。 特に、「安心感」「会話のしやすさ」「自分自身の気持ち」などに 改善が見られる

あなたが補聴器を使い始めてから、補聴器のおかげで改善したと思う側面はどれですか？

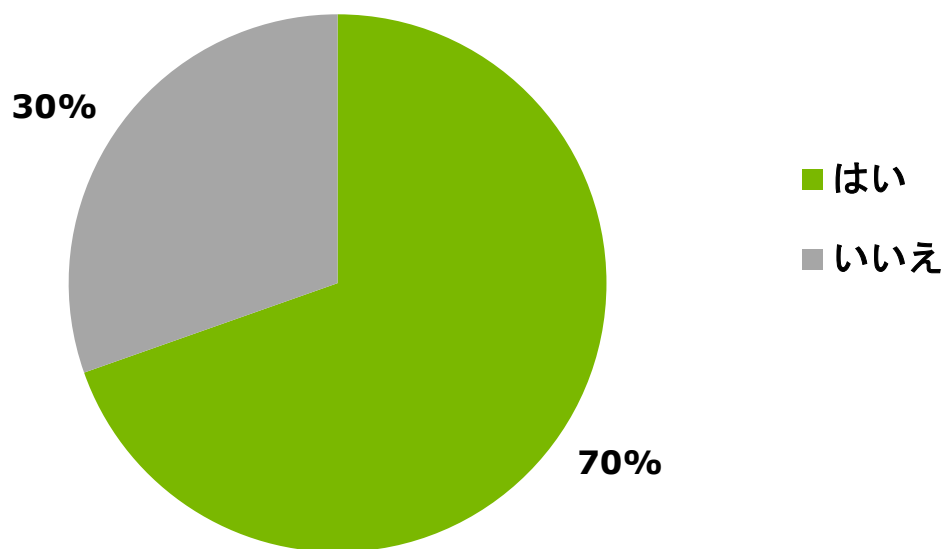


基数：421人



補聴器使用者の多くは自動車の近づく音、横断歩道を渡る時の信号音がよく聞こえるようになったなど、街中を安心して歩けるようになった

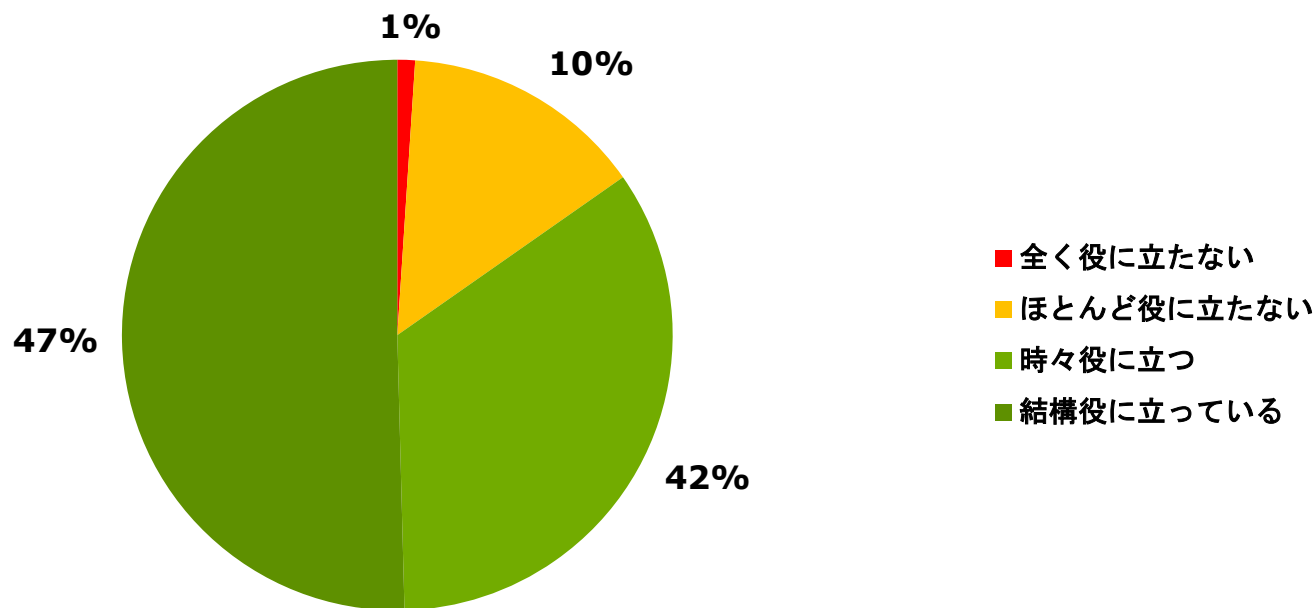
あなたは補聴器を使用してから街に出かけることに自信を持つようになりましたか？
例えば、信号機の音が聞こえたり、車が近づいてくるのが分かるようになったなど



基数 : 421人

補聴器所有者の89%が補聴器の使用により生活の質(QOL)が何がしか改善したと答えている

あなたの生活の質(QOL)の改善に補聴器はどの程度役に立っていますか？



基数：421人

4. 補聴器非所有難聴者に関する分析

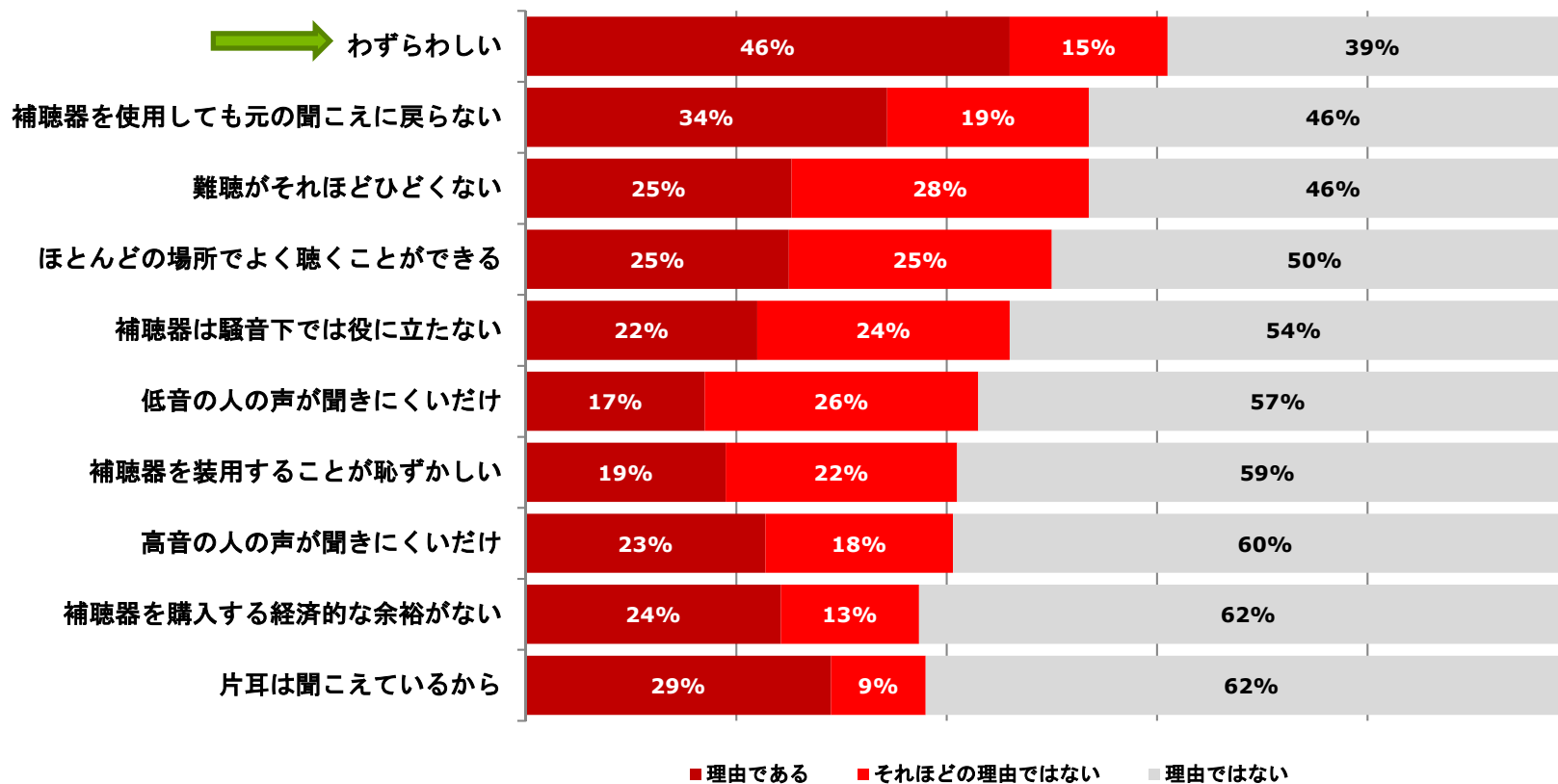
補聴器を所有しない理由と補聴器をわずらわしいと思う理由

難聴度の高い上位50%の補聴器非所有者グループと補聴器所有者グループの個々の難聴の程度がほぼ同じなので、上位50%のグループから補聴器を使用しない理由を分析した

難聴の程度の特徴：補聴器所有者と補聴器非所有者の比較

| | 補聴器所有者 (基数：421人) | 補聴器非所有者 難聴度の低い下位 50%の難聴者 (基数：345人) | 補聴器非所有者 難聴度の高い上位 50%の難聴者 (基数：212人) |
|-------|---------------------|---|---|
| 聴覚障害 | | | |
| 片耳難聴 | 20% | 50% | 38% |
| 両耳難聴 | 80% | 50% | 62% |
| | | それぞれの難聴の程度が 近似している | |
| 感音性難聴 | | | |
| 軽度 | 24% | 52% | 33% |
| 中度 | 51% | 44% | 57% |
| 高度 | 17% | 4% | 5% |
| 重度 | 7% | 0% | 5% |

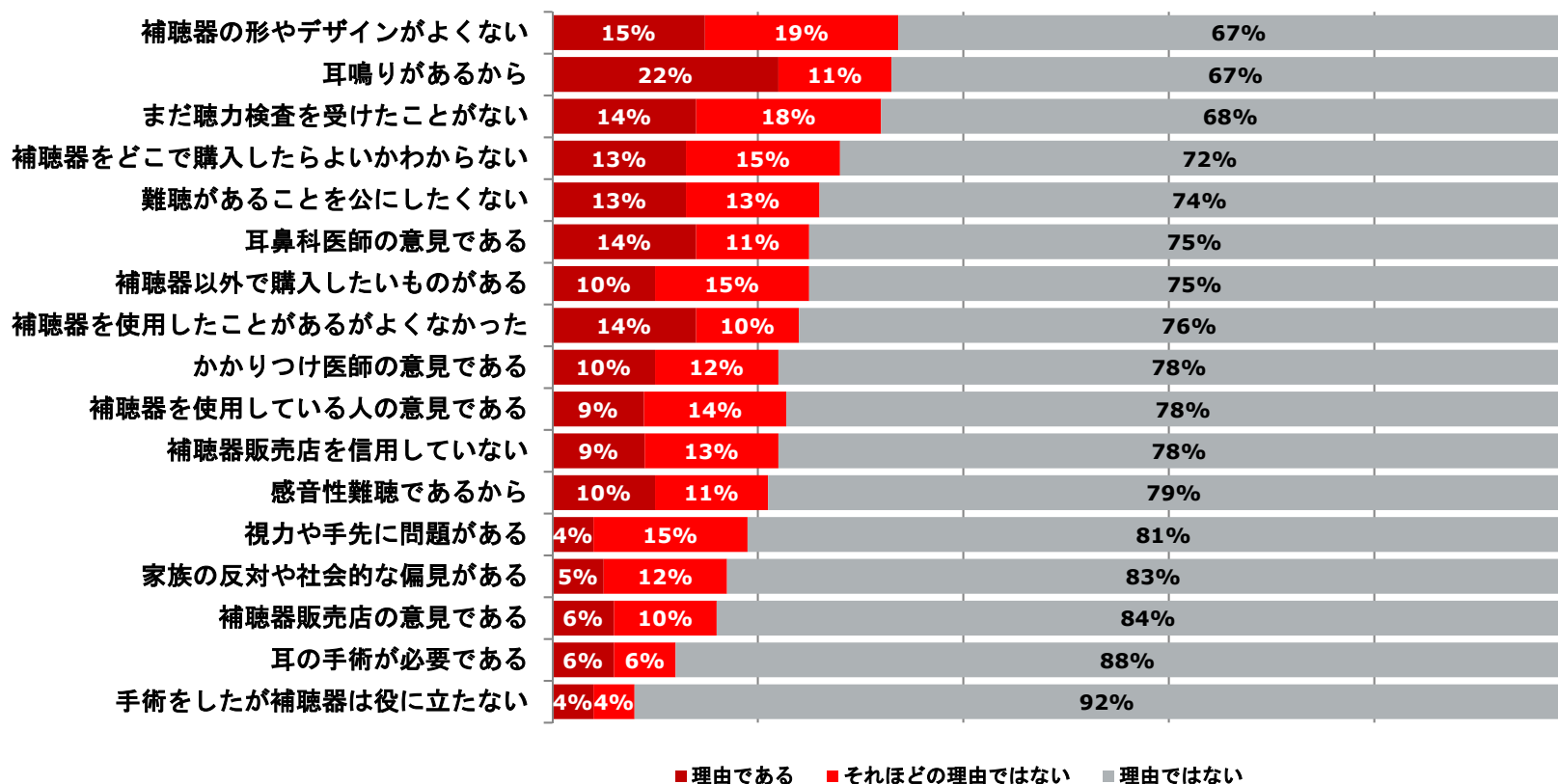
補聴器を使わない理由のトップ10 (1)



基数：補聴器非所有者で難聴度の高い上位50%HLの補聴器非所有者=212人



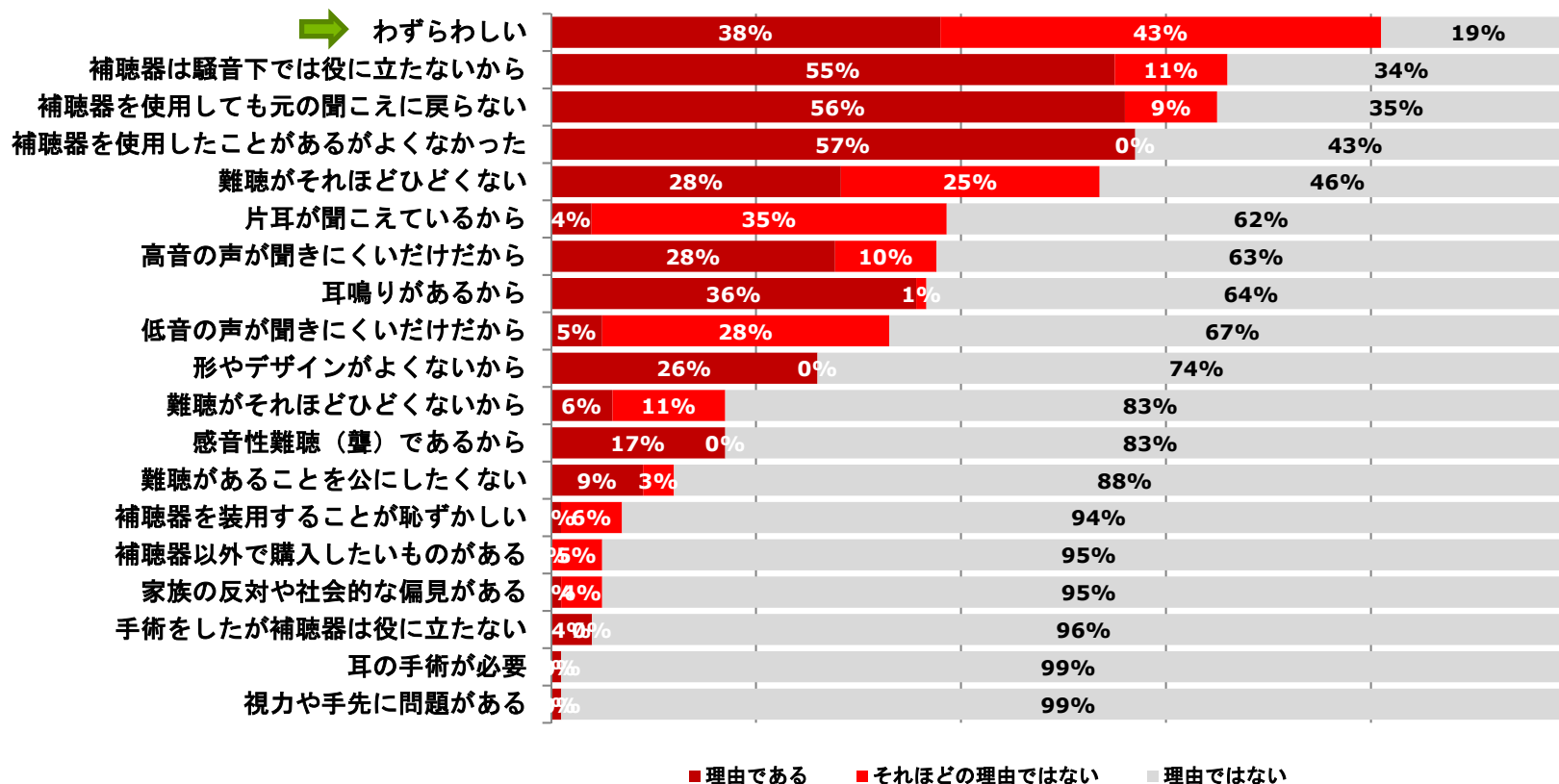
補聴器を使わないトップ10以外の理由 (2)



基数：補聴器非所有者で難聴度の高い上位50% HLの補聴器非所有者=212人



補聴器を所有していても使わない理由

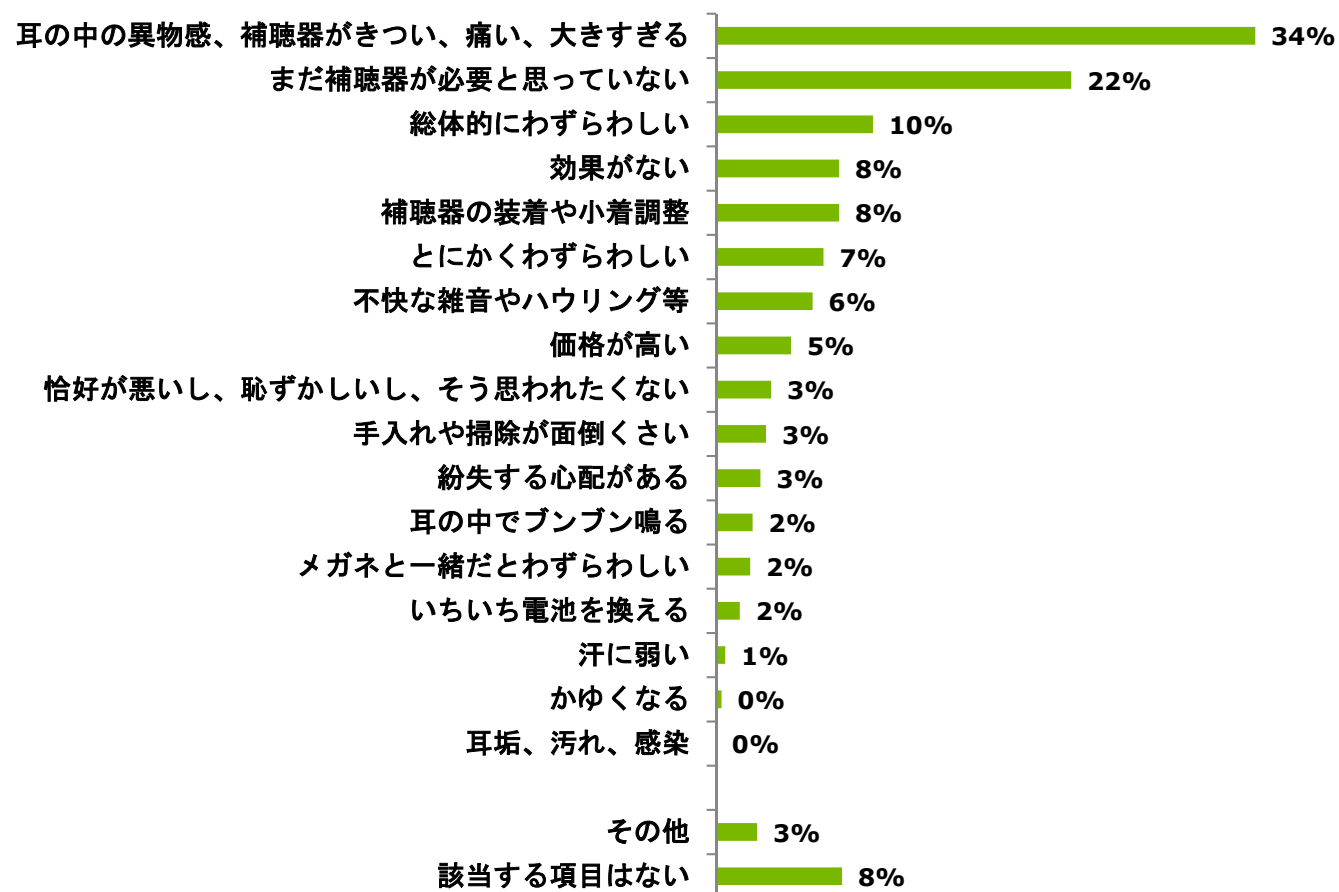


補聴器を所有しているが使用していない：27人



「わずらわしい」の意味

あなたは補聴器を使用しない理由は「わずらわしい」と回答しました。その理由を詳しく述べてください



基数=299人

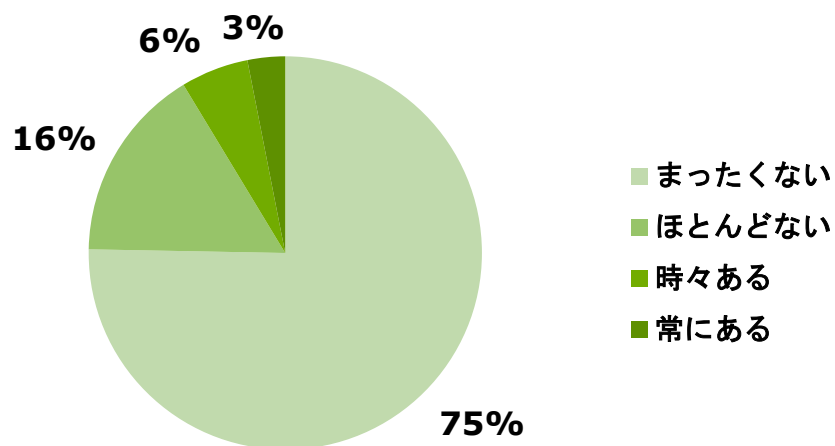
補聴器の装用から見た難聴に対する社会の認識

補聴器所有者の**75%** は補聴器を使用していることをからかわれたり、仲間はずれにされたことが無いと考えている。

また、補聴器非所有者の難聴者は**65%**が難聴であることをからかわれたり、仲間外れにされたことが無いと考えている。

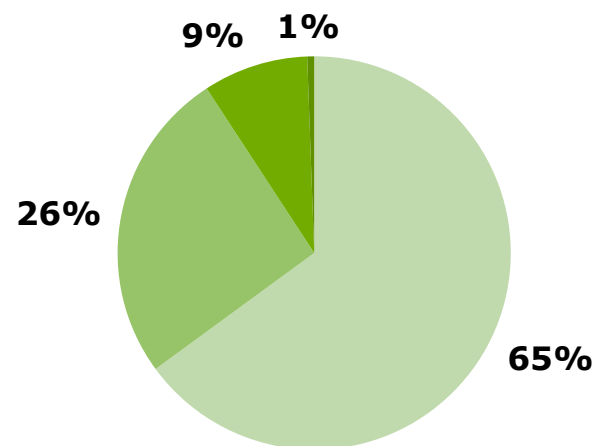
補聴器所有者:

あなたは補聴器を使用していることをからかわれたり、仲間はずれにされたことがありますか？



補聴器非所有者:

あなたは難聴者であることをからかわれたり、仲間はずれにされたことがありますか？



基数: 421人

基数: 上位50%の補聴器非所有者=212人

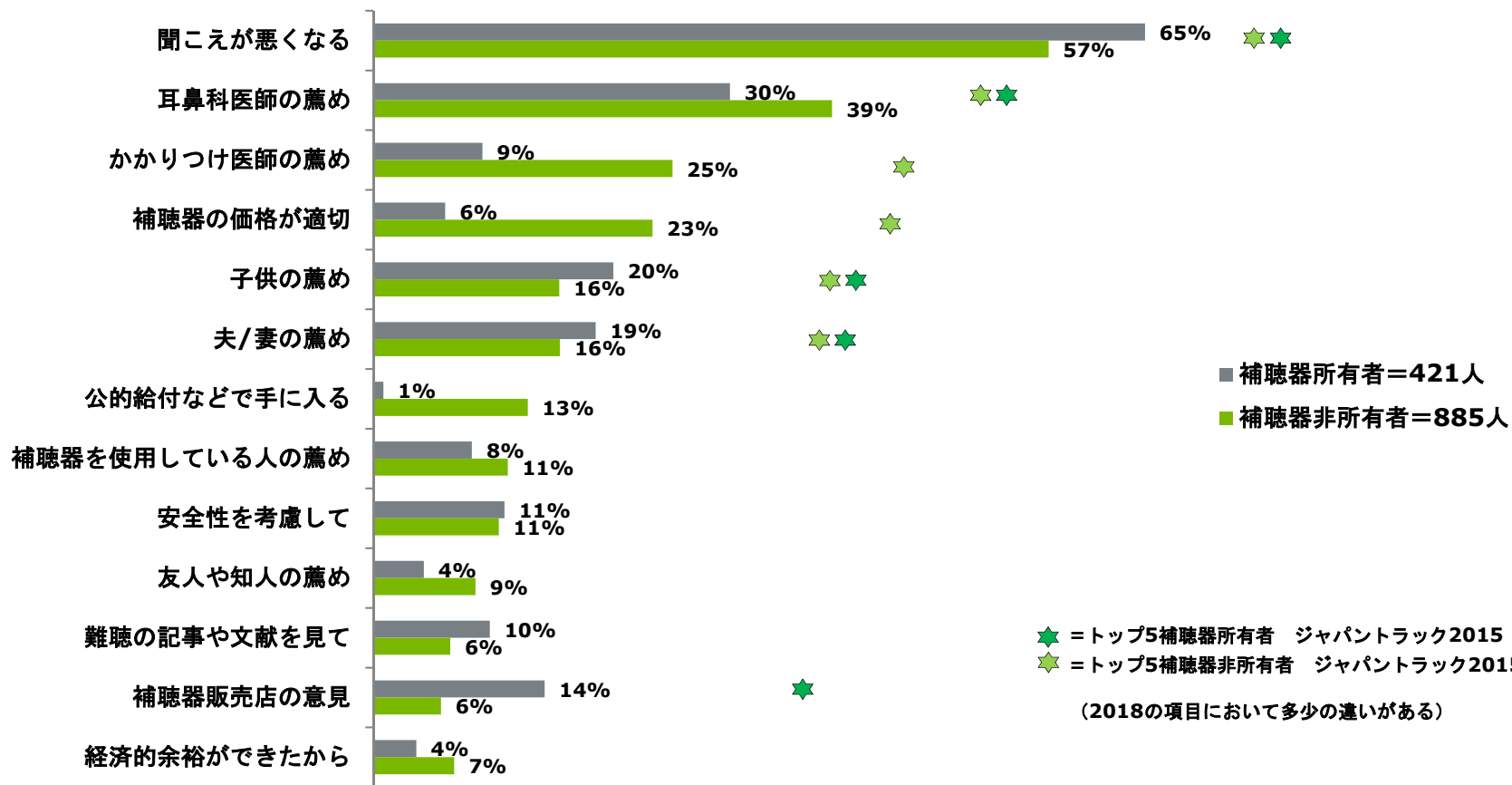


補聴器購入の意志と購入の動機

補聴器所有者・非所有者が補聴器の使用を考え始める強い動機は、 1) 聞こえが悪くなる、2) 耳鼻科医師やかかりつけ医師からの推薦、 3) 価格（特に補聴器非所有者）である（1）

補聴器非所有者：補聴器を購入することを想像してください。
その時の購入動機は何でしょうか？

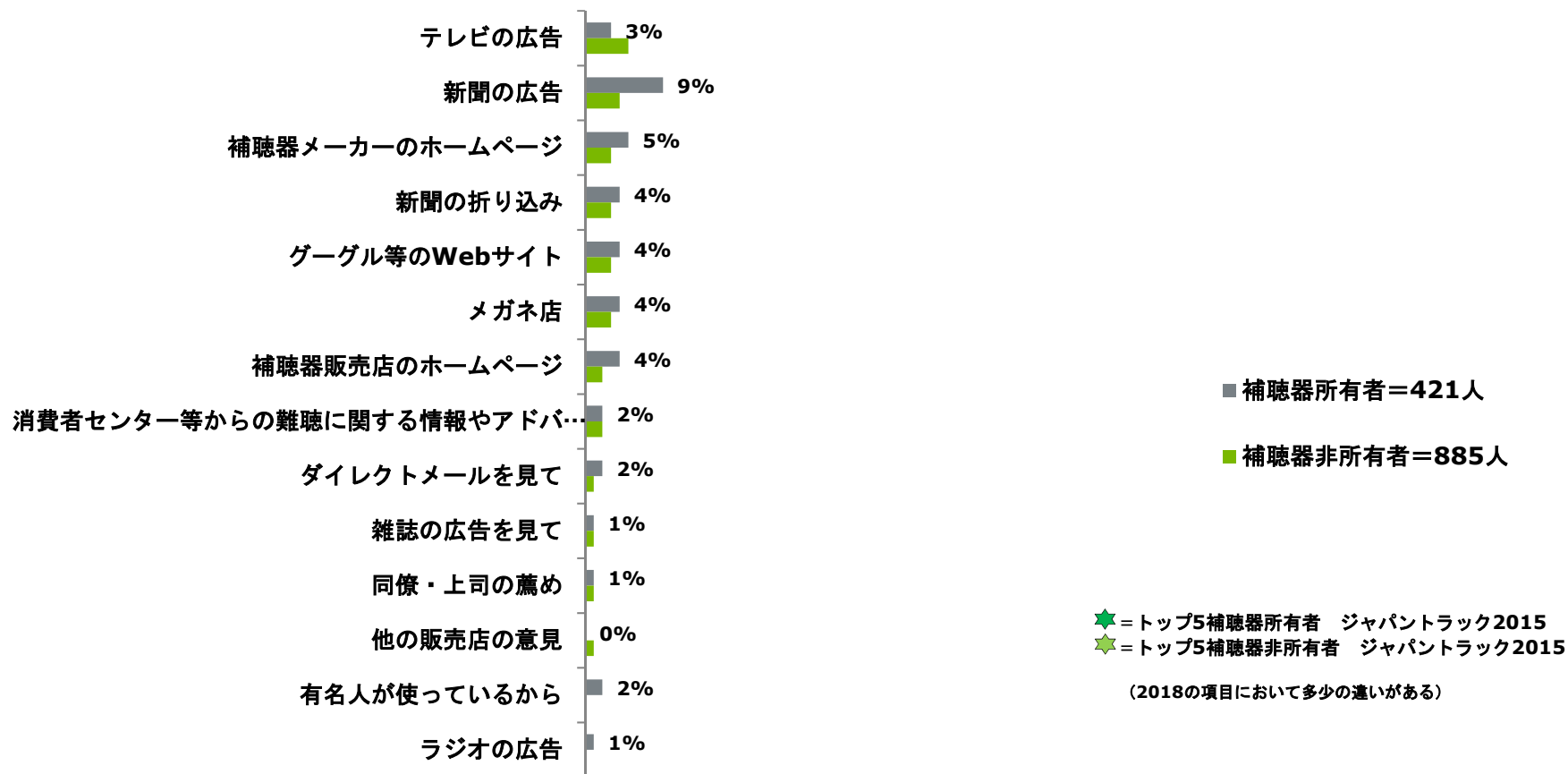
補聴器所有者：あなたが初めて補聴器を購入した時のことを
思い出してください。購入の動機は何でしたか？



補聴器所有者・非所有者が補聴器の使用を考え始める強い動機は、
**1) 聞こえが悪くなる、2) 耳鼻科医師やかかりつけ医師からの推薦、
 3) 価格（特に補聴器非所有者）である（2）**

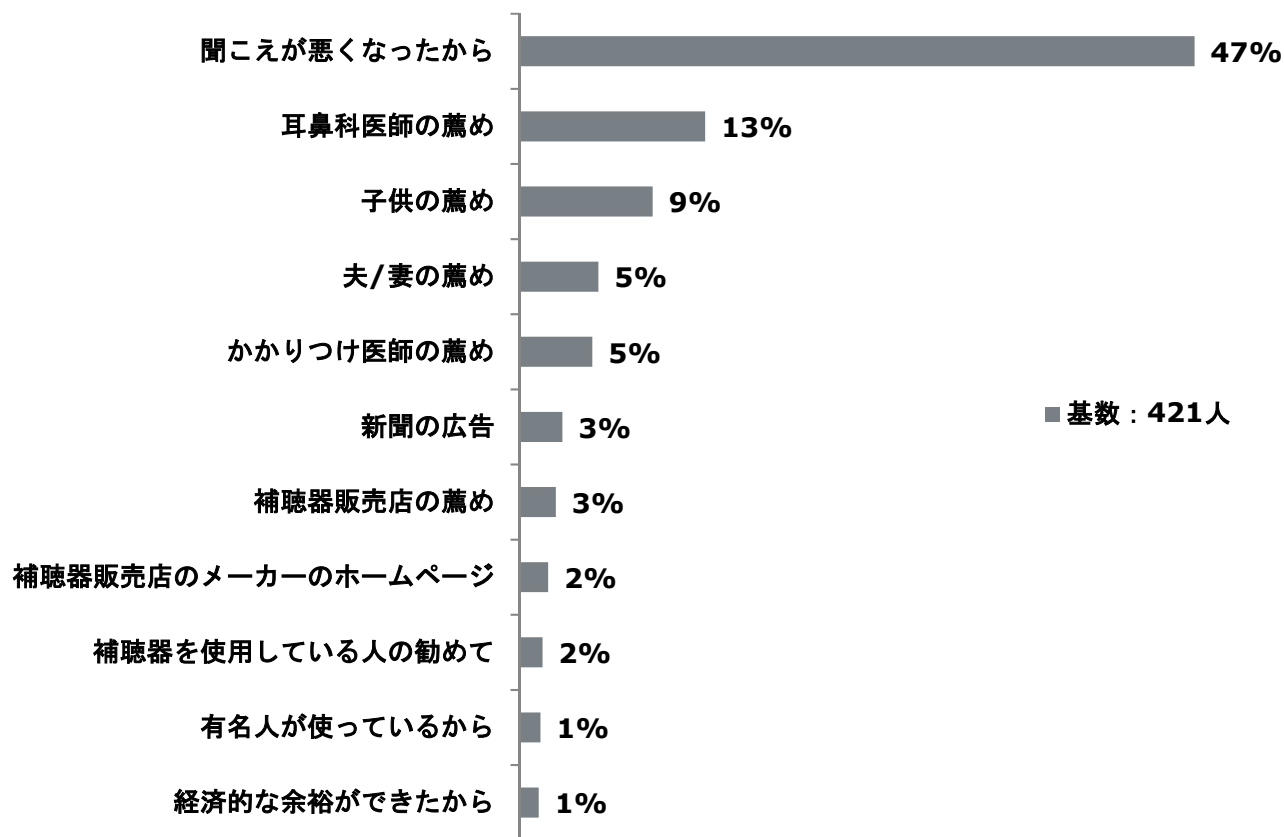
補聴器非所有者：補聴器を購入することを想像してください。
 その時の購入動機は何でしょうか？

補聴器所有者：あなたが初めて補聴器を購入した時のことを
 思い出してください。購入の動機は何でしたか？



補聴器を購入する最も強い動機は聞こえが より悪くなった時

補聴器購入を最終的に決断した動機は何ですか？
以下の中から1つだけ選んでください。





Stefan Ruf lic. rer. pol.

Anovum GmbH
Sumatrastrasse 25
CH-8006 Zürich

Telefon +41 (0)44 576 76 77
Mobil +41 (0)78 717 88 01
Email stefan.ruf@anovum.com

www.anovum.com



Christian Egger lic. phil.

Anovum GmbH
Sumatrastrasse 25
CH-8006 Zürich

Telefon +41 (0)44 576 76 78
Mobil +41 (0)76 318 57 51
E-Mail christian.egger@anovum.com

www.anovum.com



Dr. Stefan Zimmer ▪ Secretary General
European Hearing Instrument Manufacturers Association
Herriotstrasse 1 ▪ 60528 Frankfurt am Main ▪ Germany
sz@ehima.com ▪ +49-69-664 26 34 10 ▪ www.ehima.com





付属データ



人口動態 (1): 補聴器使用率と人口

表：各表は合計が100%になる*

| | 総数 | 聴取困難 | 補聴器使用率 % (基数=聴覚障がい者) | 健聴者 | 難聴であるが補聴器は所有していない | 補聴器所有者 |
|---------------------------|-------|-------|-------------------------|-------|-------------------|--------|
| 性別 | | | | | | |
| 男 | 6'644 | 10.6% | 13.1% | 48.9% | 46.0% | 41.1% |
| 女 | 7'066 | 12.0% | 15.5% | 51.1% | 54.0% | 58.9% |
| 年齢 | | | | | | |
| 1歳 - 14歳 | 1'743 | 0.6% | 60.8% | 14.3% | 0.3% | 2.6% |
| 15歳 - 24歳 | 1'320 | 3.6% | 8.7% | 10.5% | 3.2% | 1.8% |
| 25歳 - 34歳 | 1'426 | 2.8% | 21.1% | 11.4% | 2.4% | 3.8% |
| 35歳 - 44歳 | 1'798 | 3.8% | 7.2% | 14.2% | 4.8% | 2.2% |
| 45歳 - 54歳 | 1'887 | 7.0% | 6.5% | 14.4% | 9.2% | 3.8% |
| 55歳 - 64歳 | 1'646 | 8.9% | 3.7% | 12.3% | 10.6% | 2.4% |
| 65歳 - 74歳 | 1'913 | 17.6% | 8.0% | 13.0% | 23.2% | 12.0% |
| 74歳以上 | 1'977 | 39.2% | 20.6% | 9.9% | 46.2% | 71.3% |
| 家族構成 | | | | | | |
| 一人で暮らしている | 1'267 | 15.2% | 14.6% | 8.8% | 12.4% | 12.6% |
| 夫婦のみで暮らしている | 2'832 | 14.4% | 13.5% | 19.9% | 26.5% | 24.7% |
| 夫婦と子供で暮らしている | 5'062 | 5.8% | 12.2% | 39.2% | 19.3% | 15.9% |
| 母親または父親と子供とで暮らしている | 2'299 | 13.7% | 14.9% | 16.3% | 20.2% | 21.0% |
| 夫婦と子供および/または孫と暮らしている | 323 | 12.7% | 24.6% | 2.3% | 2.3% | 4.5% |
| 祖父または祖母と子供および/または孫と暮らしている | 49 | 9.5% | 0.0% | 0.4% | 0.4% | 0.0% |
| 老人ホーム、介護施設、病院で暮らしている | 432 | 27.0% | 20.1% | 2.6% | 7.0% | 10.4% |
| その他 | 1'447 | 12.7% | 13.2% | 10.4% | 12.0% | 10.8% |



人口動態 (2) : 補聴器使用率と人口

表：各表は合計が100%になる*1

| 身分 | 総数 | 聴取困難 | 補聴器使用率 % (基数：聴覚障がい者) | 健聴者 | 難聴であるが補聴器は所有していない | 補聴器所有者 |
|----------|-------|-------|-------------------------|-------|-------------------|--------|
| 身分 | | | | | | |
| 世帯主 | 5'348 | 16.8% | 14.8% | 36.6% | 57.4% | 59.5% |
| 世帯主の配偶者 | 3'214 | 10.6% | 10.8% | 23.6% | 22.8% | 16.5% |
| 世帯主の子供 | 4'083 | 2.0% | 12.3% | 32.9% | 5.3% | 4.4% |
| 世帯主の親 | 631 | 31.9% | 19.7% | 3.5% | 12.1% | 17.7% |
| その他 | 431 | 8.3% | 12.1% | 3.3% | 2.4% | 1.9% |
| 仕事 | | | | | | |
| 常勤者 | 4'408 | 6.3% | 7.4% | 40.0% | 19.2% | 9.4% |
| パートタイマー | 1'737 | 8.0% | 7.4% | 15.5% | 9.7% | 4.8% |
| 無職 | 2'227 | 13.4% | 13.7% | 18.6% | 19.4% | 18.8% |
| 年金受給者 | 2'143 | 31.6% | 19.7% | 14.2% | 40.9% | 61.2% |
| 早期退職者 | 84 | 14.4% | 0.0% | 0.7% | 0.9% | 0.0% |
| 定年退職者 | 553 | 21.6% | 9.6% | 4.2% | 8.1% | 5.3% |
| 学生 | 731 | 3.1% | 4.7% | 6.9% | 1.6% | 0.5% |
| 最終学歴 | | | | | | |
| 中学校卒業 | 991 | 28.8% | 18.0% | 6.8% | 17.7% | 23.6% |
| 高等学校卒業 | 3'899 | 13.2% | 15.0% | 32.8% | 32.9% | 35.2% |
| 専門学校卒業 | 1'067 | 10.4% | 14.5% | 9.2% | 7.2% | 7.4% |
| 短期大学卒業 | 936 | 10.0% | 11.9% | 8.1% | 6.2% | 5.1% |
| 大学卒業 | 3'432 | 9.1% | 8.1% | 30.2% | 21.5% | 11.6% |
| 大学院卒業 | 350 | 8.3% | 13.4% | 3.1% | 1.9% | 1.8% |
| その他 | 296 | 29.8% | 16.0% | 2.0% | 5.6% | 6.5% |
| 回答を希望しない | 913 | 12.4% | 17.0% | 7.7% | 7.1% | 8.8% |

サンプル数と無作為に抽出したサンプル数との誤差は経験則に従っている

読み取り方法：サンプル件数が500人でその件数が15%の比重を占める場合、間隔差は15%の±3.1の値が実数値と考えられる。つまり、控えめな推定値（95%の信頼レベル）としては11.9%と18.1%となる。

| サンプル数 | 無作為サンプル数誤差 | |
|--------|---------------|---------------|
| | 実数の間隔差 | |
| | 比率レベル：50%/50% | 比率レベル：15%/85% |
| 50 | + - 13.9 | + - 9.9 |
| 100 | + - 9.8 | + - 7.0 |
| 250 | + - 6.2 | + - 4.4 |
| 500 | + - 4.4 | + - 3.1 |
| 1000 | + - 3.1 | + - 2.2 |
| 5,000 | + - 1.4 | + - 1.0 |
| 10,000 | + - 1.0 | + - 0.7 |